
男女共同参画に関する 県民意識調査報告書

令和2年3月

長野県県民文化部
人権・男女共同参画課

目 次

I	調査概要	…	1
II	調査結果		
	1 調査項目別結果		
		(調査票)	
	【1】 用語や制度の認知度について	(問1, 2)	… 5
	【2】 世の中の男女平等感について	(問3)	… 17
	【3】 性別役割分担意識について	(問4, 5)	… 27
	【4】 地域活動参加状況について	(問6, 7, 8)	… 40
	【5】 政策・方針決定について	(問9, 10, 11, 12)	… 44
	【6】 ワーク・ライフ・バランスについて	(問13, 14)	… 53
	【7】 男女間の暴力への対策について	(問15)	… 61
	【8】 男女共同参画社会の実現について	(問16)	… 62
	2 ご意見・ご要望		… 74
III	調査票	…	90

I 男女共同参画に関する県民意識調査の概要

1 目的

令和3年度を初年度とする「第5次長野県男女共同参画計画」を策定する基礎資料を得るとともに、男女共同参画社会づくりを推進するための現状を把握するため、長野県男女共同参画社会づくり条例(平成14年長野県条例第59号)第22条の規定に基づき、男女共同参画に関する県民の意識調査を実施する。

2 実施主体

長野県

3 調査の設計

- (1) 調査地域 長野県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女 2,000人
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送法調査
- (5) 調査時期 令和元年11月5日～12月16日

4 調査項目

- (1) 用語や制度の認知度について
- (2) 世の中の男女平等感について
- (3) 性別役割分担意識について
- (4) 地域活動参加状況について
- (5) 政策・方針決定について
- (6) ワーク・ライフ・バランスについて
- (7) 男女間の暴力への対策について
- (8) 男女共同参画社会の実現について

5 回収結果

回収数(率) 1,059人(53.0%)

6 調査対象者の抽出法

層化三段無作為抽出法

県内の縮図となるよう、下記(1)～(3)の段階を経て対象者を無作為に抽出した。

- (1) 県内を東北中南信の4地域に分け(層化)、各層に調査対象者を比例配分(※1)する。各層の人数をそれぞれ市部・町部・村部毎に比例配分し、市部は全19市を対象、町部・村部に関しては配分された人数を1地点あたり人数(※2)で割ることにより、地点数(町数、村数)を決める。乱数表を用いてスタート番号を決め、一定の間隔(※3)で対象町村を選定。(下線部=以下「一定のルールにて」と表記)

本調査では、以下47市町村を対象とする。

- 東信 上田市、小諸市、佐久市、東御市、小海町、軽井沢町、御代田町、立科町、南相木村
- 南信 岡谷市、飯田市、諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、茅野市、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、飯島町、高森町、阿南町、南箕輪村、宮田村、下條村、豊丘村
- 中信 松本市、大町市、塩尻市、安曇野市、上松町、木曾町、木祖村、山形村、筑北村、松川村

北信 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、
山ノ内町、飯綱町、高山村、木島平村

(2) 47市町村それぞれの対象投票区を一定のルールにて選定する。

(3) 投票区より、対象者を一定のルールにて選定する。

(※1) 本調査では、選挙人名簿を用いているので選挙人名簿登録者人数の比例配分とする。

(※2) 本調査では、町部の1地点あたりの人数を15人、村部を10人とする。

(※3) 町部・村部それぞれの有権者人数の合計を地点数で割った数字。

(4) 調査対象者数

区分		市部	町部	村部	総数
東信	有権者数	272,759	55,021	10,927	338,707
	調査対象者数	315	60	15	390
南信	有権者数	294,937	99,738	54,419	449,094
	調査対象者数	330	120	60	510
中信	有権者数	358,622	25,486	43,185	427,293
	調査対象者数	410	30	50	490
北信	有権者数	463,811	49,486	16,873	530,188
	調査対象者数	530	60	20	610
計	有権者数	1,390,129	229,749	125,404	1,745,282
	調査対象者数	1,585	270	145	2,000

(有権者数は、令和元年9月1日現在の市町村別選挙人名簿登録者数)

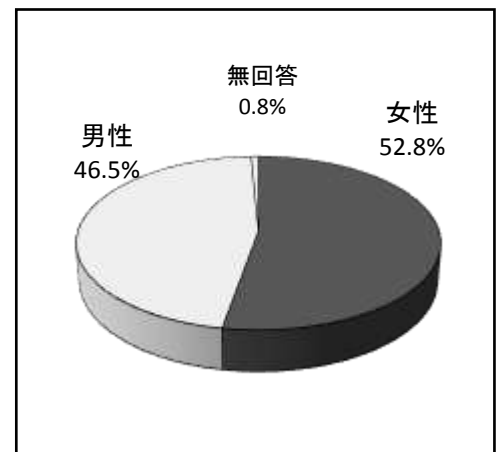
7 回答者の属性

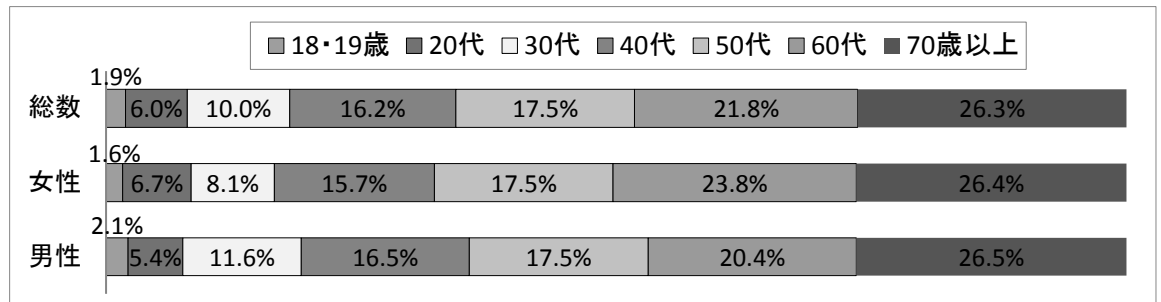
(1) 回答者数 (人)

女性	男性	その他	総数
559	492	8	1,059

(2) 年齢構成 (人)

区分	女性	男性	性別 無回答	総数
18・19歳	12	8	0	20
20代	30	33	1	64
30代	65	40	1	106
40代	92	77	3	172
50代	98	86	1	185
60代	114	117	0	231
70歳以上	148	130	0	278
無回答	0	1	2	3
計	559	492	8	1,059

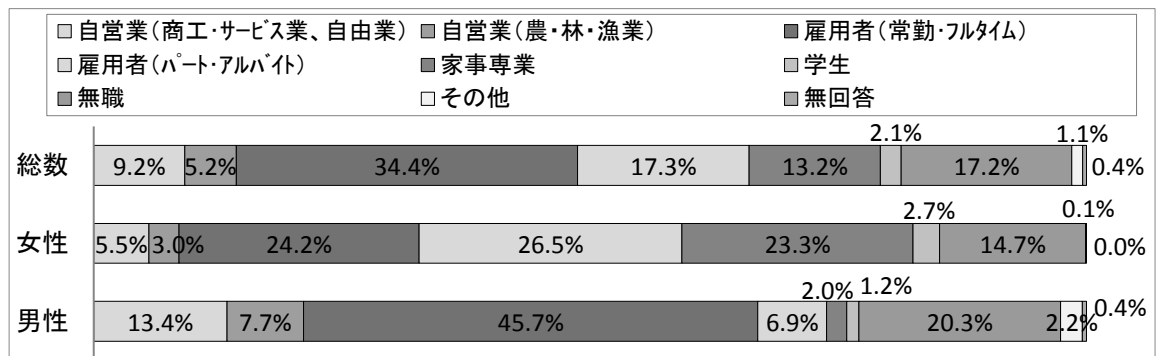




(3) 回答者の職業

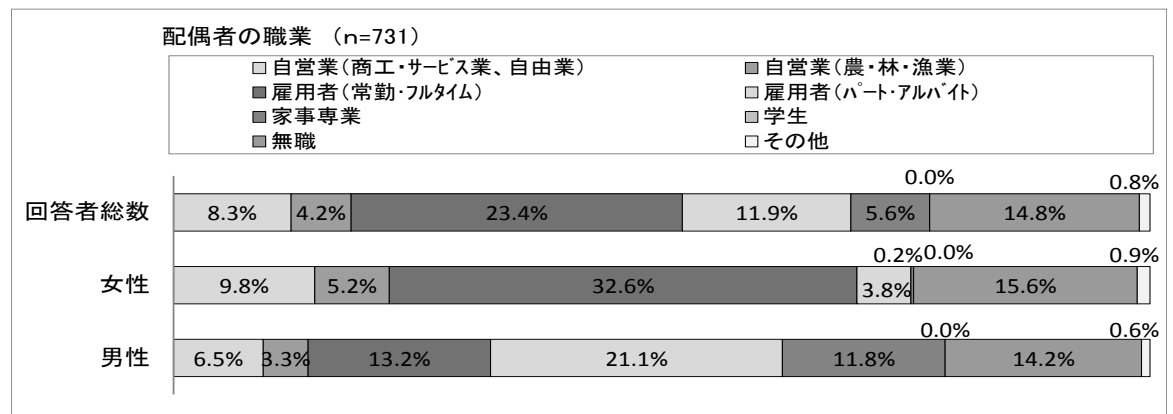
(人)

区分	女性							男性							性別無回答	合計
	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代		
自営業(商工・サービス業、自由業)	1	5	5	3	8	9	31	1	5	5	16	19	20	66	0	97
自営業(農・林・漁業)	0	1	1	0	7	8	17	1	1	1	1	8	26	38	0	55
雇用者(常勤・フルタイム)	19	24	39	44	8	1	135	22	29	66	59	45	4	225	4	364
雇用者(パート・アルバイト)	5	21	33	38	40	11	148	2	2	4	4	17	5	34	1	183
家事専業	2	12	14	10	40	52	130	10	0	0	0	0	0	10	0	140
学生	14	0	0	0	0	1	15	6	0	0	0	0	0	6	1	22
無職	1	1	0	3	11	66	82	0	2	0	6	24	68	100	0	182
その他	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4	5	11	0	12
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	4
合計	42	65	92	98	114	148	559	42	40	77	86	117	130	492	8	1,059



(4) 配偶者の職業

配偶者の職業	回答者の性別		総数
	女性	男性	
自営業(商工・サービス・自由業)	55	32	88
自営業(農・林・漁業)	29	16	45
雇用者(常勤・フルタイム)	182	65	248
雇用者(パート・アルバイト)	21	104	126
家事専業	1	58	59
学生	0	0	0
無職	87	70	157
その他	5	3	8
無回答	179	144	328
合計	559	492	1,059



8 その他

- 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。なお、調査の設問には、単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- 本報告書で結果を引用した調査は次のとおり。

長野県調査

(調査時期)	(標本数)	(有効回答数)
26年度調査	平成26年11月 2,000人	1,008人
21年度調査	平成21年10月 1,000人	512人
17年度調査	平成17年8月 1,000人	495人
15年度調査	平成15年7月 1,000人	533人
13年度調査	平成13年12月 1,000人	608人
11年度調査	平成11年11月 2,000人	1,174人

国調査

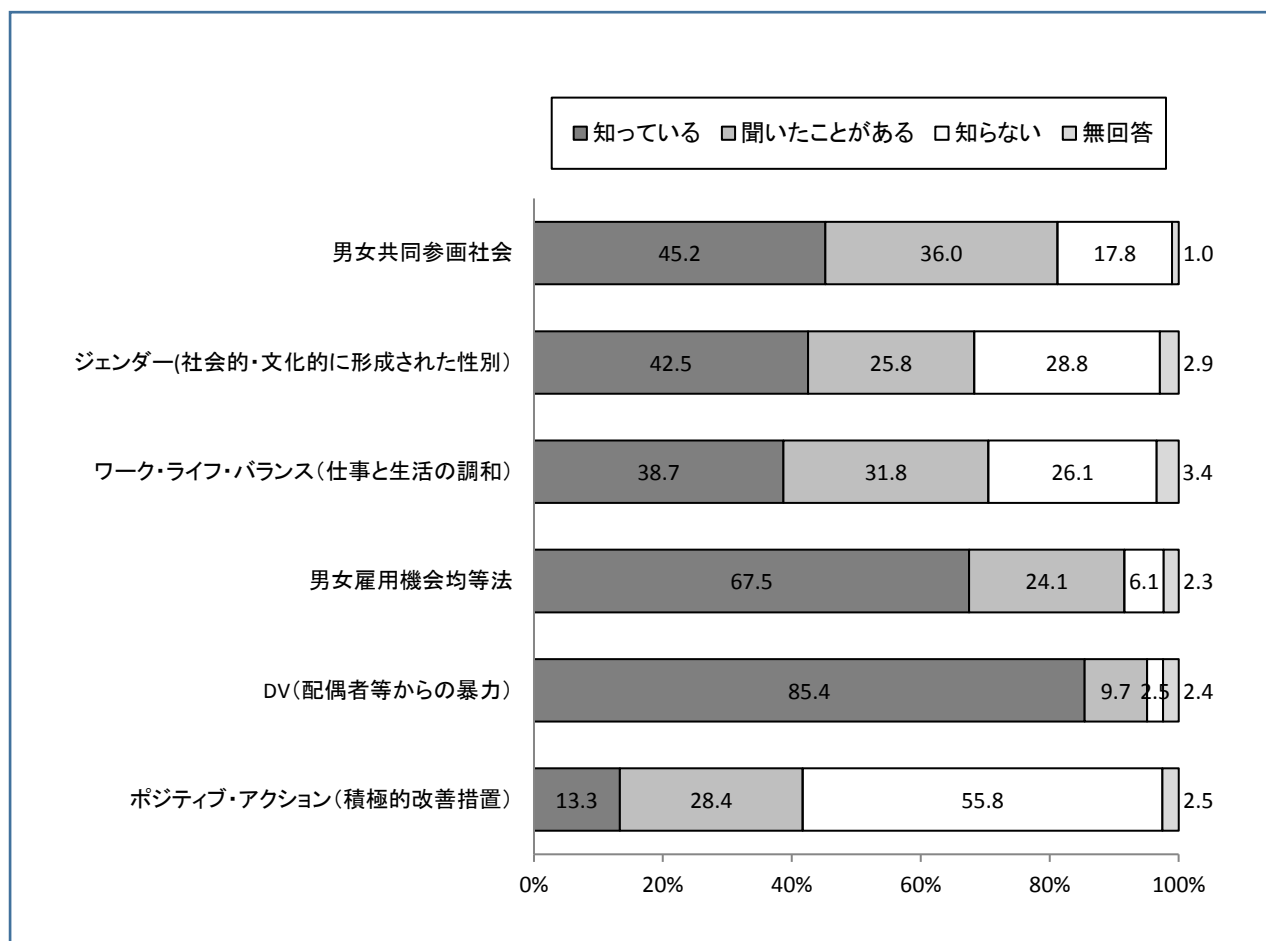
元年度全国調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」令和元年9月

1 調査項目別結果

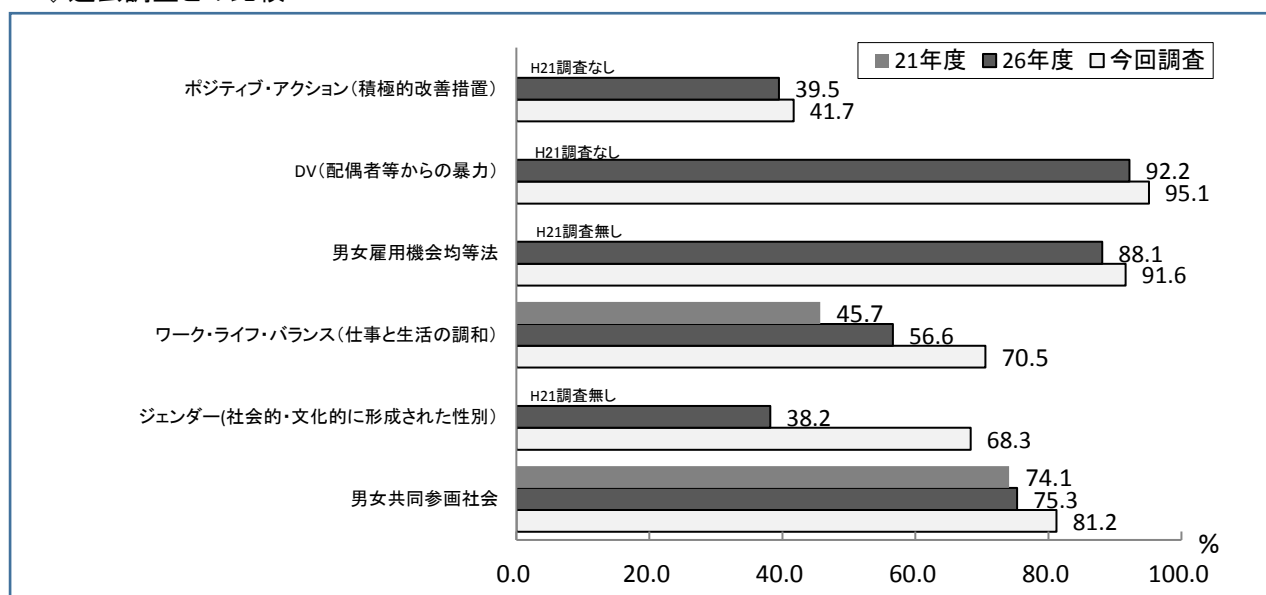
【1】用語や制度の認知度について

問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は、「DV」で95.1%、「男女雇用機会均等法」で91.6%、「男女共同参画社会」で81.2%、「ワーク・ライフ・バランス」で70.5%、「ジェンダー」で68.3%、「ポジティブ・アクション」で41.7%となっている。



◇過去調査との比較

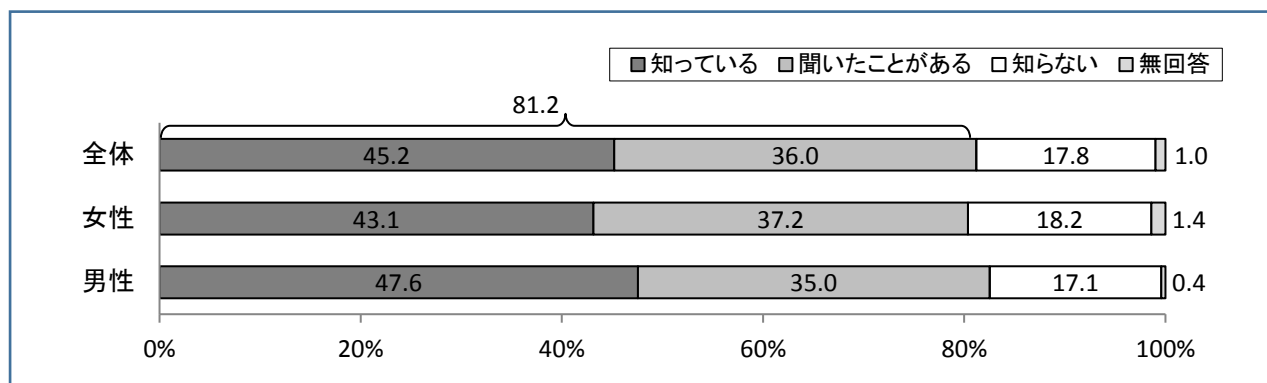


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

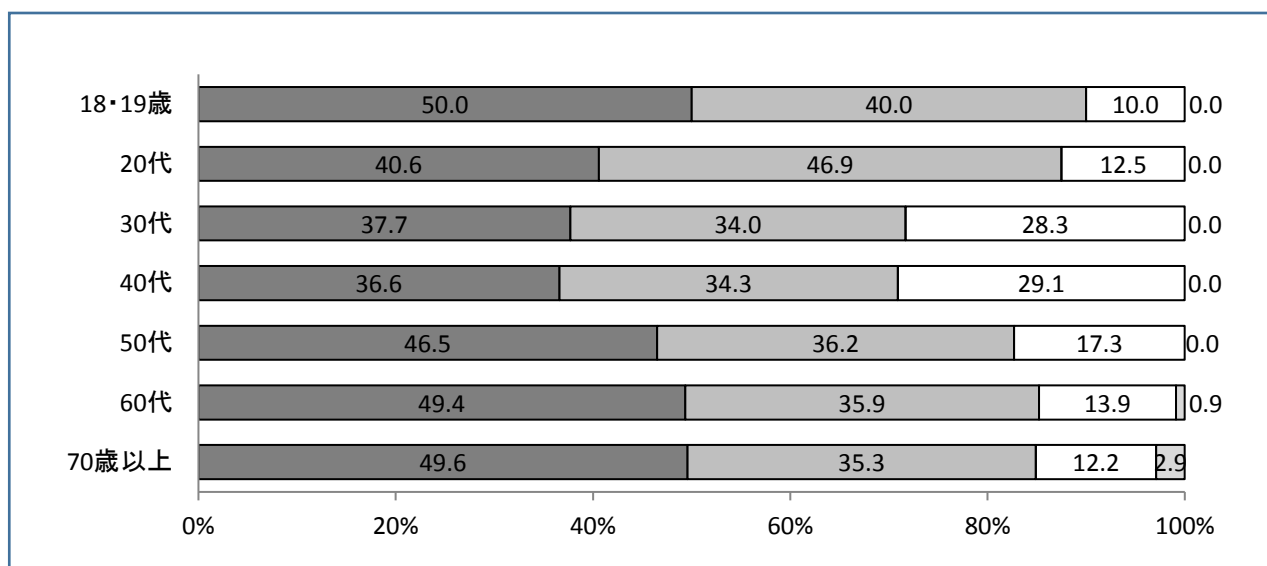
(1)男女共同参画社会

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は81.2%となっている。
(参考：26年度調査74.1% 元年度全国調査64.3%)
- 年代別では、30代・40代で「知っている」または「聞いたことがある」という回答が、他の年代より低くなっている。

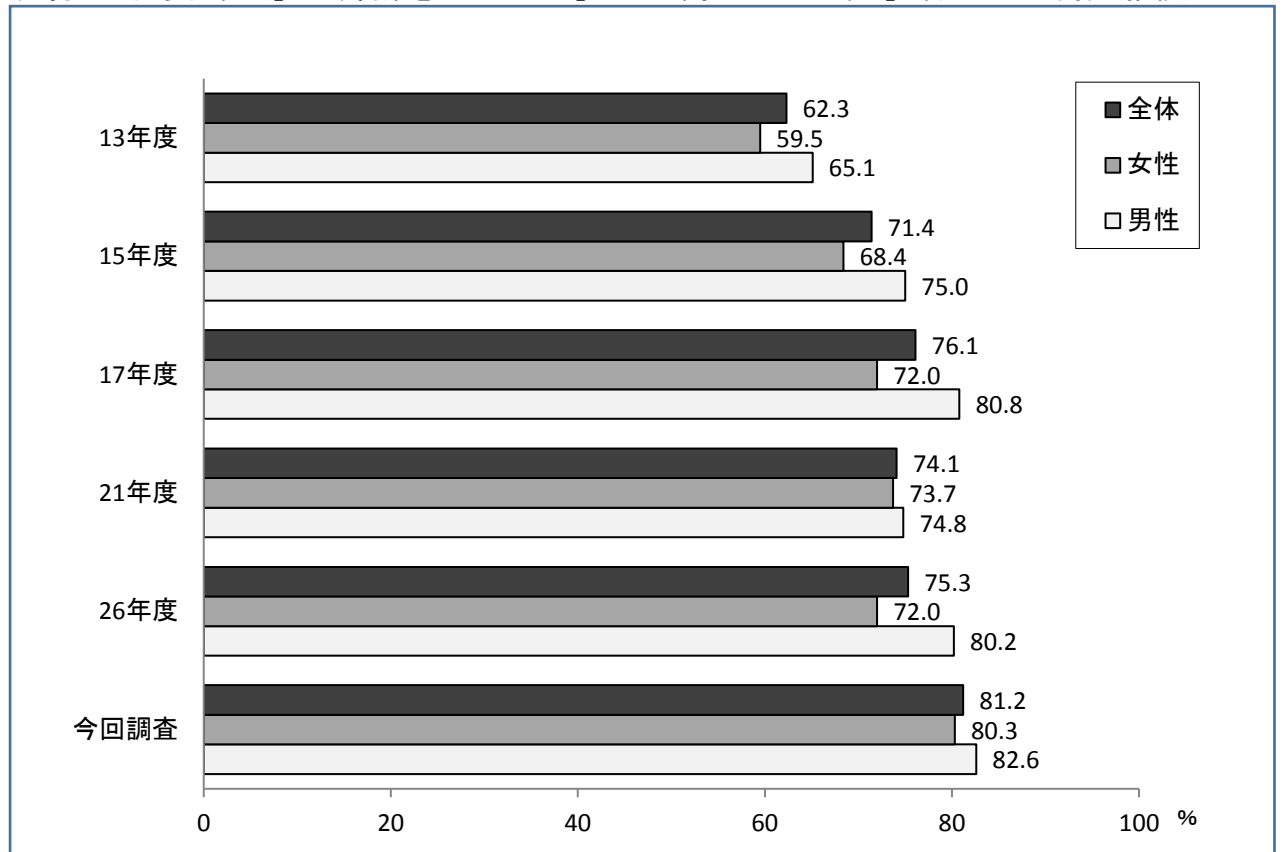
《 性別 》



《 年代別 》



◇「男女共同参画社会」という言葉を「知っている」または「聞いたことがある」と答えた人の割合(推移)

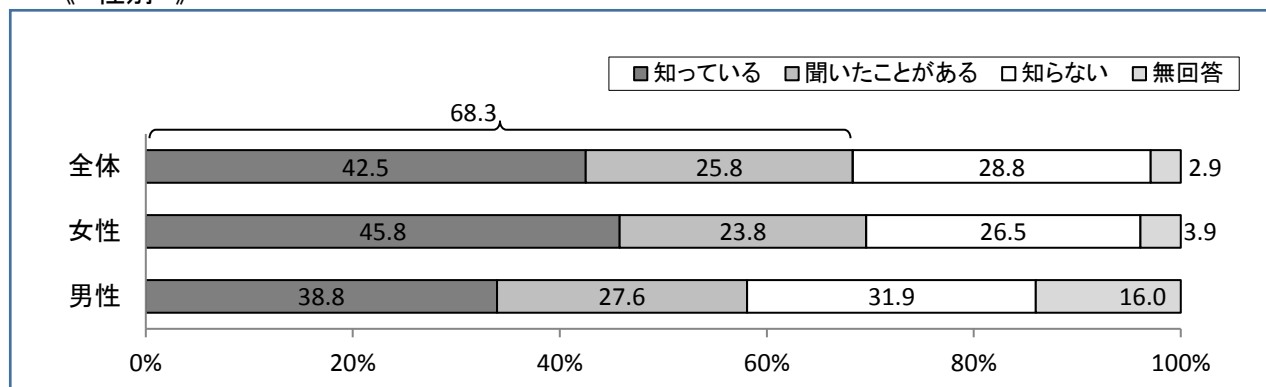


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

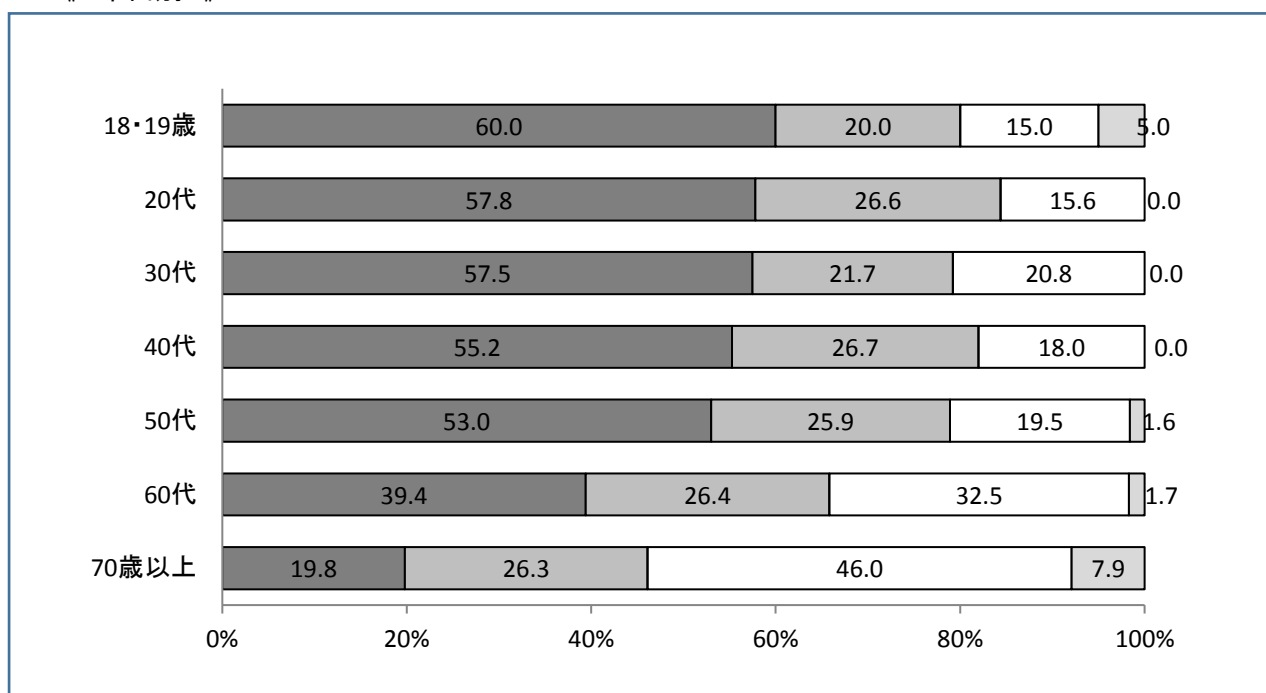
(2)ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は68.3%となっている。
(参考：26年度調査38.2% 元年度全国調査55.8%)
- 年代別では、「知っている」または「聞いたことがある」という回答は、20代で84.4%と他の年代より高く、60代・70歳以上で低くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

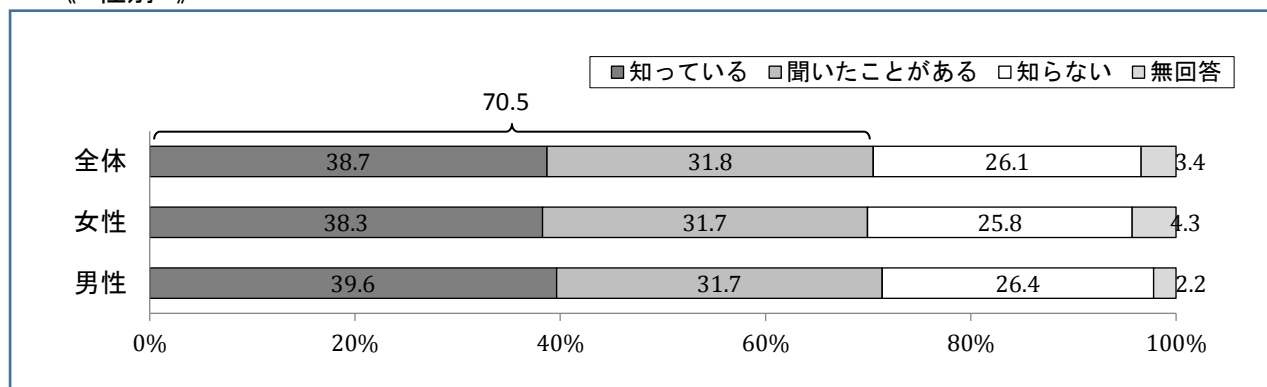


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

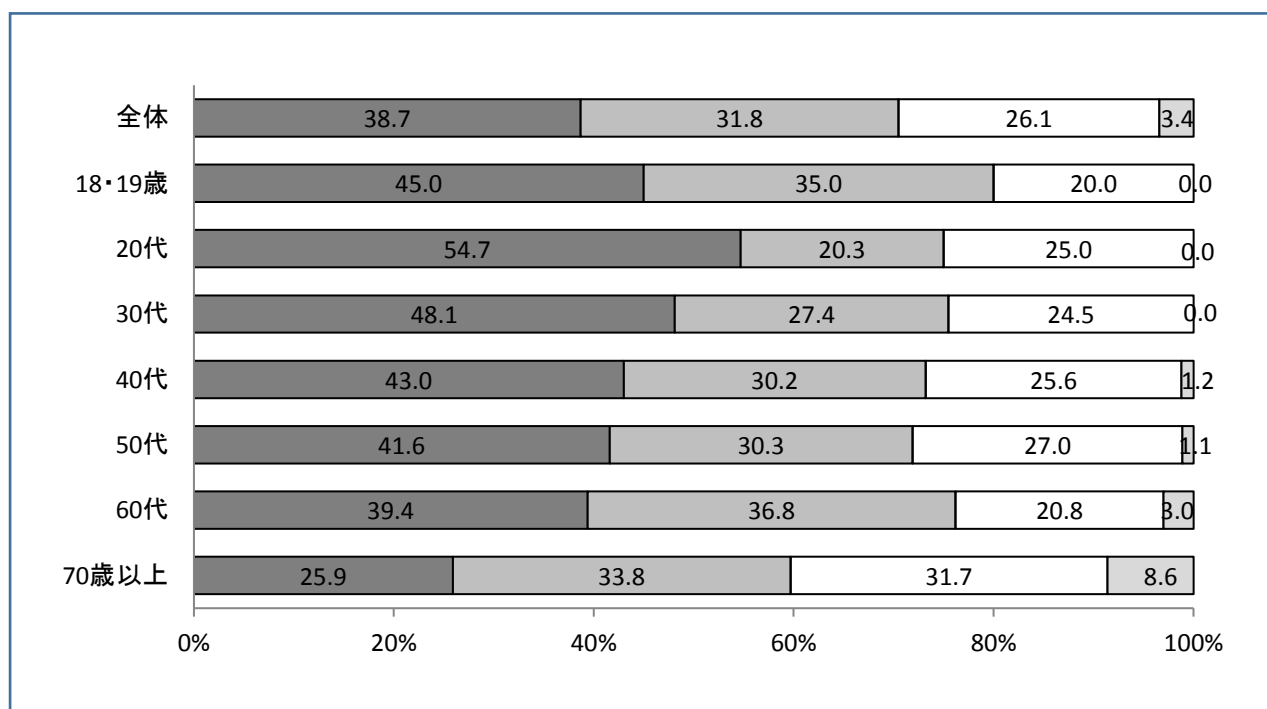
(3) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は 70.5%となっている。
(参考：26年度調査 56.6% 元年度全国調査 43.1%)
- 「知っている」または「聞いたことがある」という回答は、男性が女性より 1.3 ポイント高く、年代別では、70歳以上は他の年代より低くなっている。

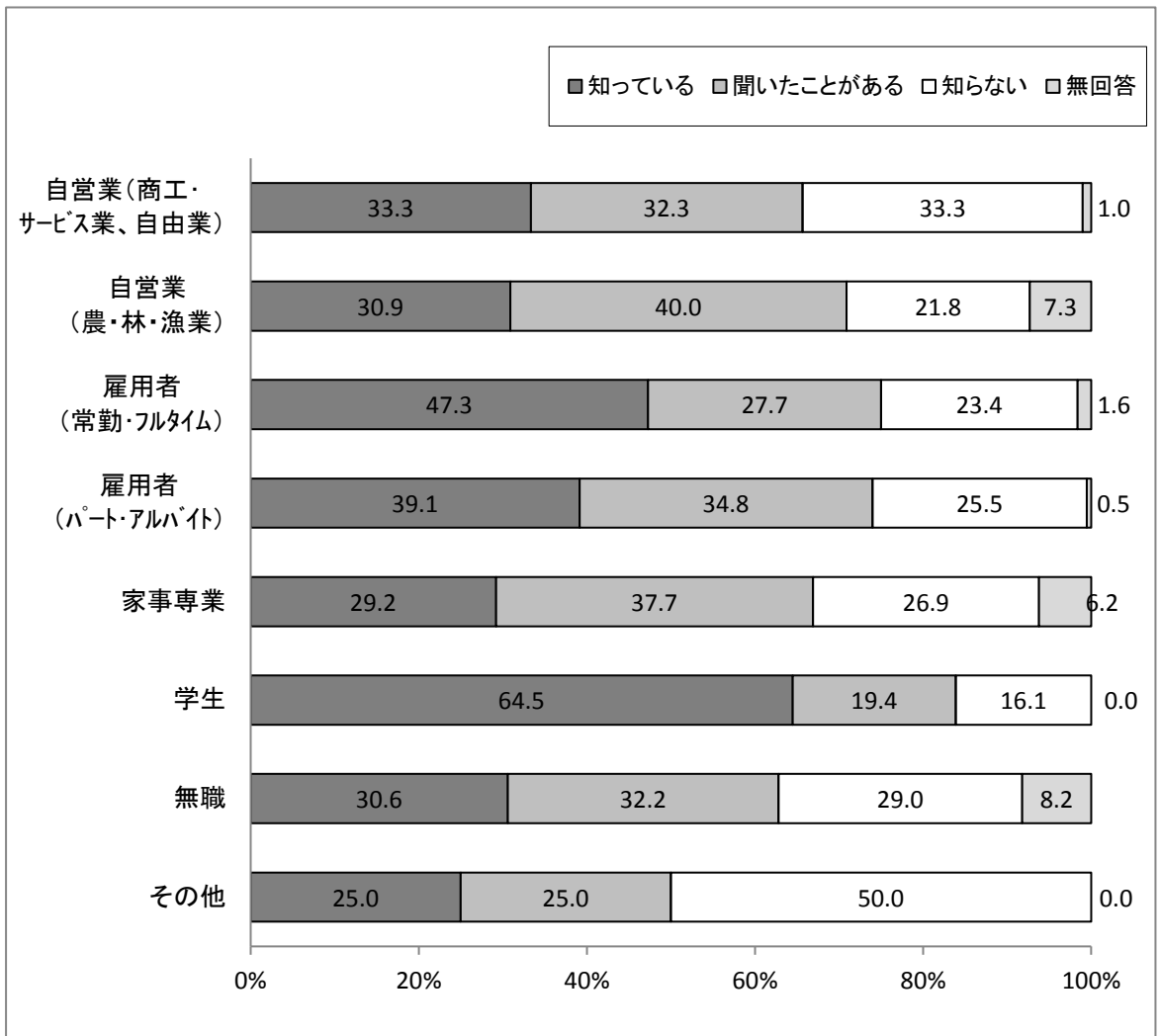
《 性別 》



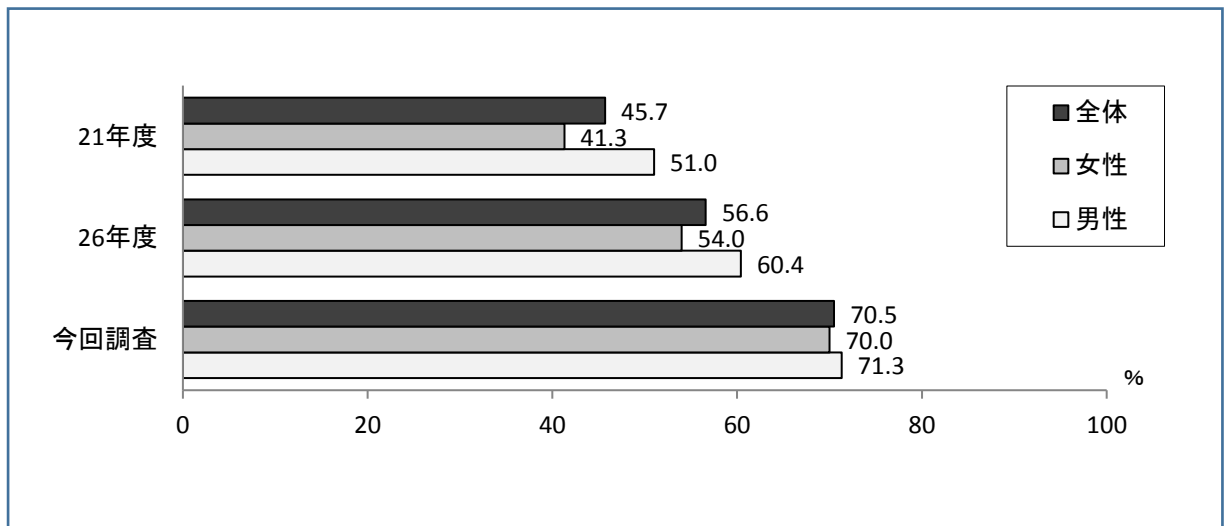
《 年代別 》



《 職業別 》 (n=1,055)



◇ 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「知っている」または「聞いたことがある」と答えた人の割合(推移)

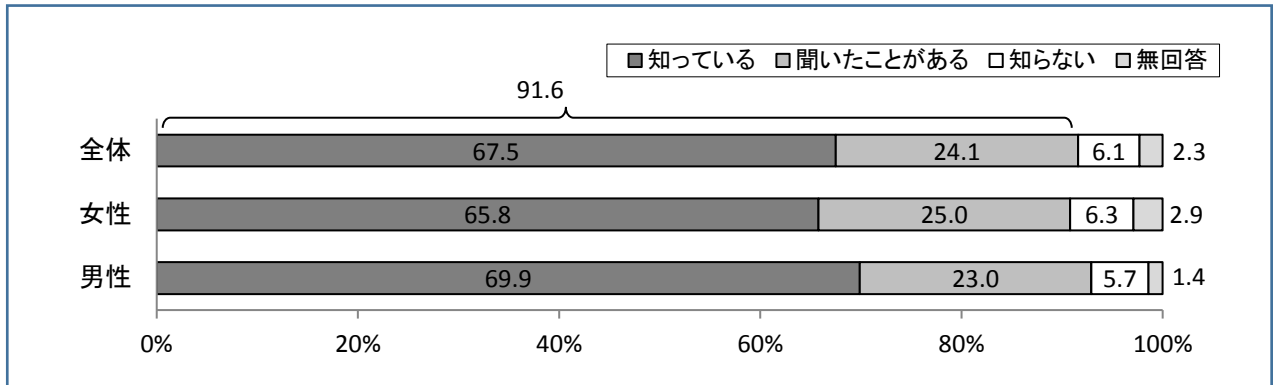


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

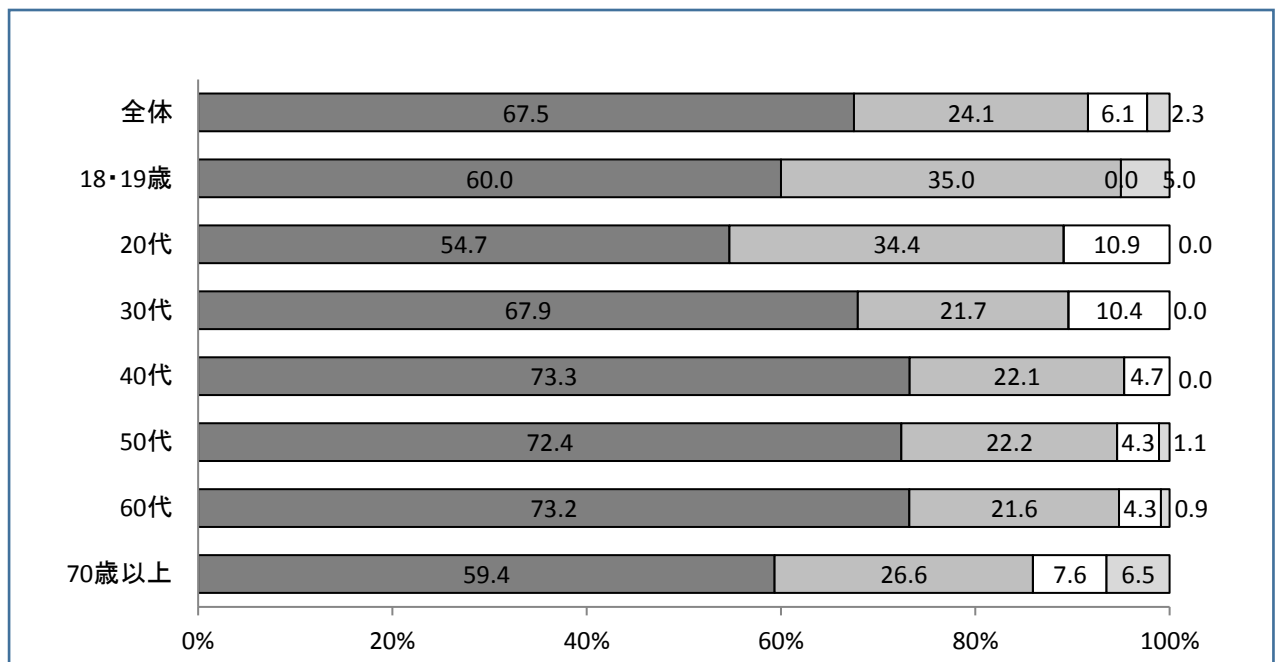
(4) 男女雇用機会均等法

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は91.6%となっている。
(参考：26年度調査88.1% 元年度全国調査79.3%)
- 「知っている」または「聞いたことがある」という回答は、男性が女性より2.1ポイント高く、年代別では、18・19歳、20代と70歳以上は他の年代より低くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

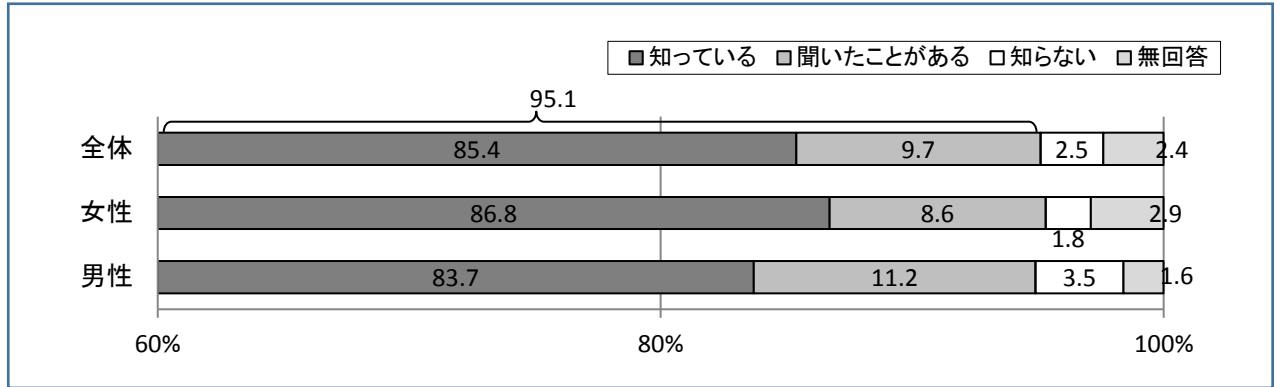


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

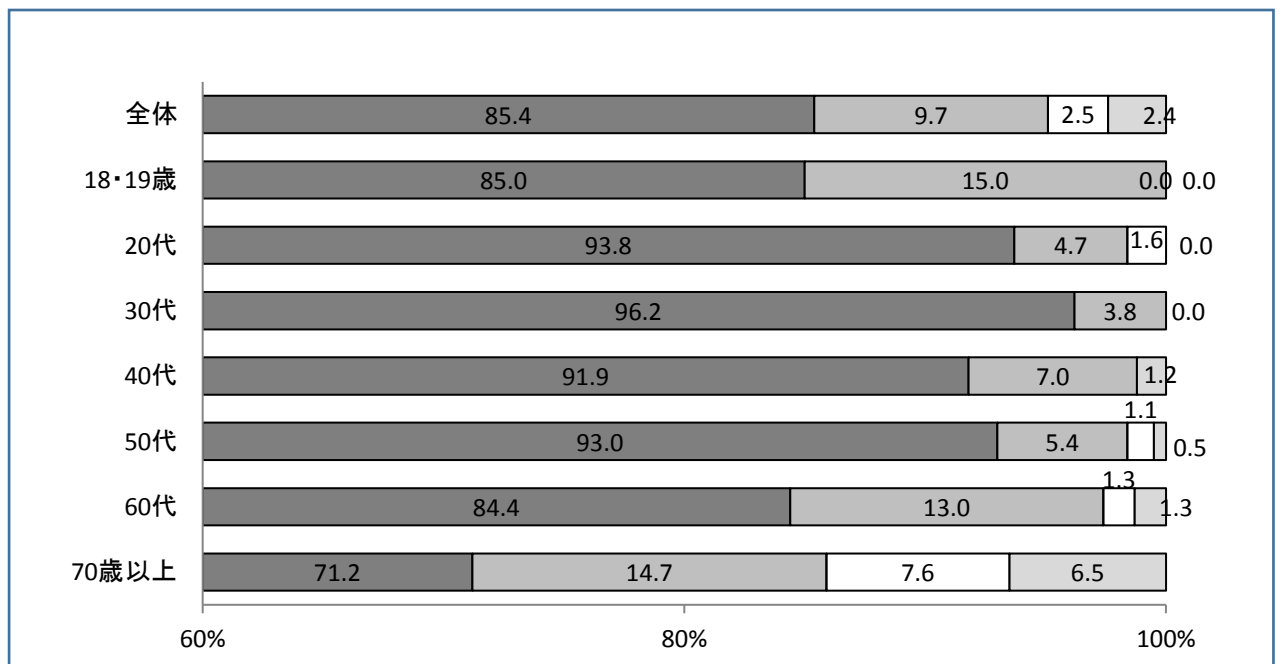
(5) DV (配偶者等からの暴力)

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は95.1%となっている。
(参考：26年度調査92.2% 元年度全国調査81.5%)
- 「知っている」または「聞いたことがある」という回答は、女性が男性より0.5ポイント高く、年代別では、70歳以上は他の年代より低くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

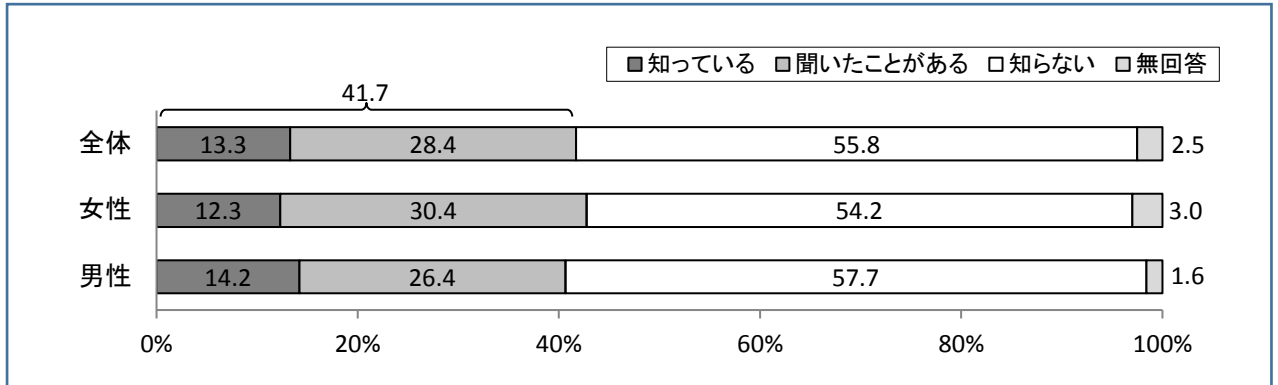


問1 次の言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

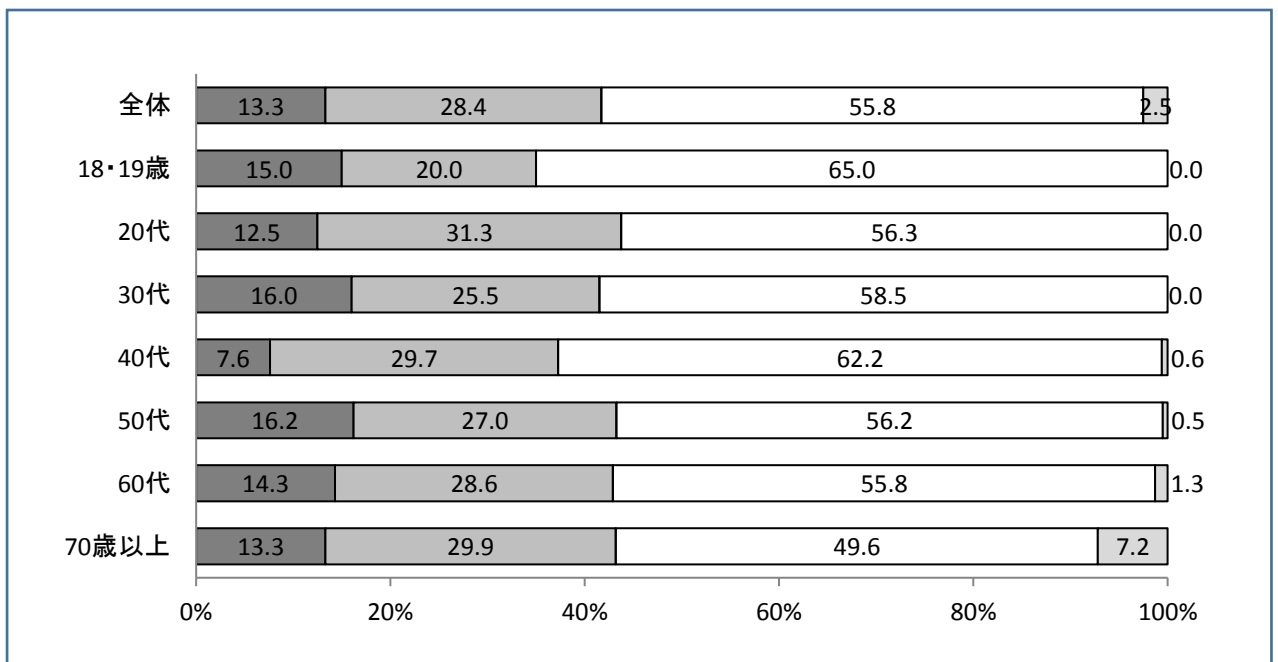
(6) ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

- 「知っている」または「聞いたことがある」割合は41.7%となっている。
(参考：26年度調査39.5% 元年度全国調査18.3%)
- 「知っている」または「聞いたことがある」という回答は、女性が男性より2.1ポイント高く、年代別では、40代は他の年代より低くなっている。

《 性別 》



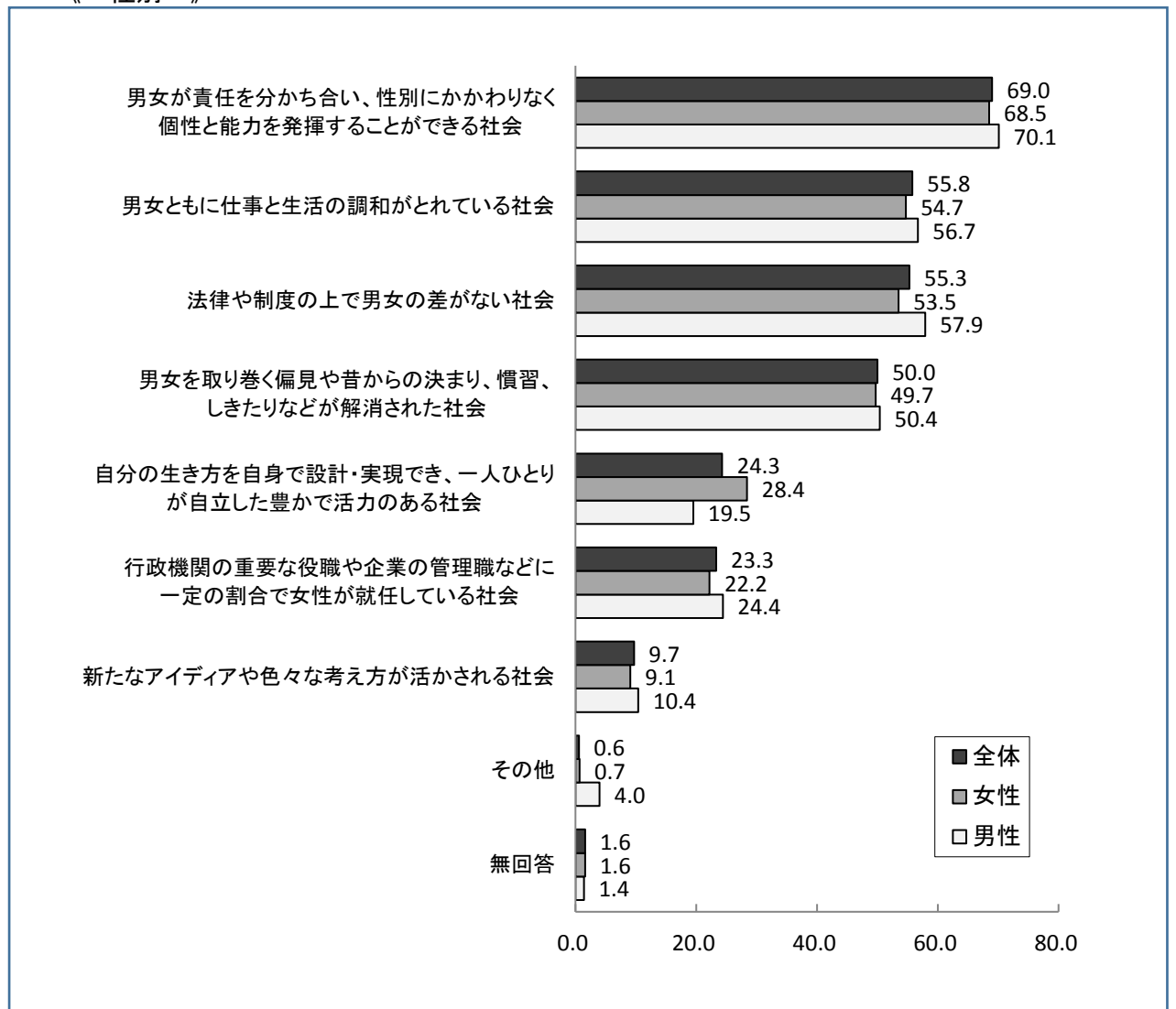
《 年代別 》



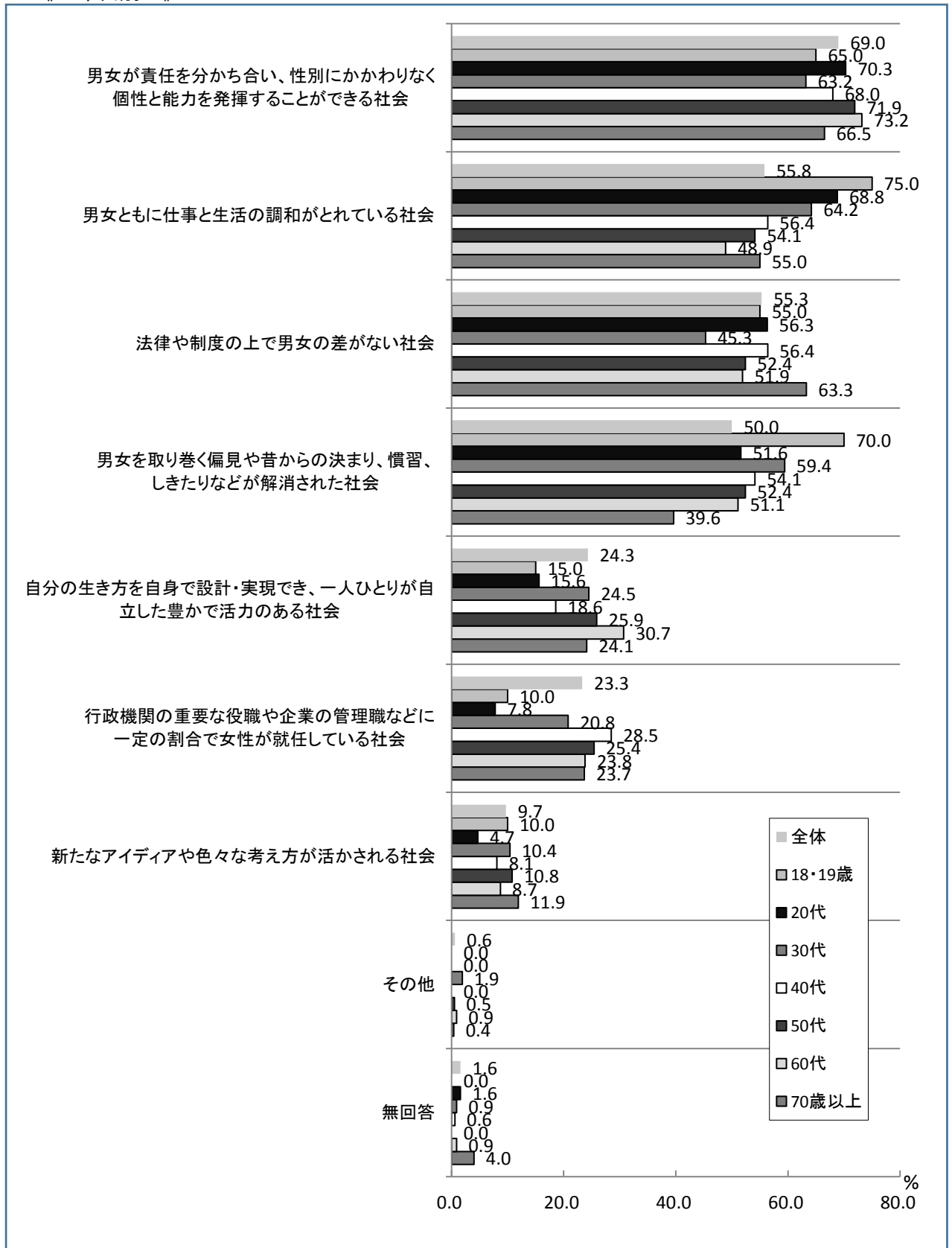
問2 あなたが考える「男女共同参画社会」はどのような社会ですか。お考えに近いものを3つまで選んでください。

- 「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」が69.0%、「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が55.8%、「法律や制度の上で男女の差がない社会」が55.3%となっている。
- 年代別では、「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」がどの年代でも高いが、18・19歳と30代は、「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が最も高くなっている。

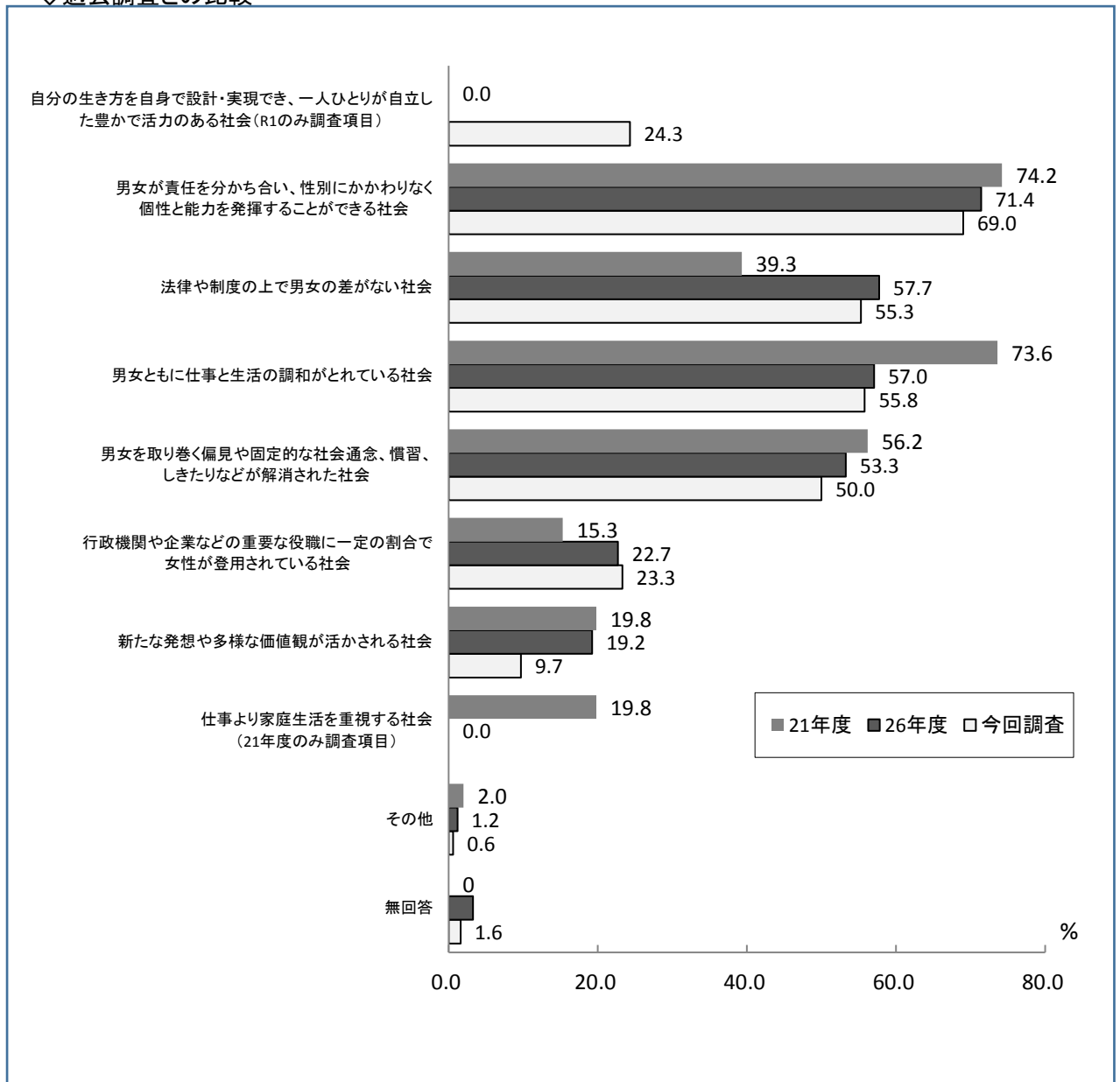
《 性別 》



《 年代別 》



◇過去調査との比較

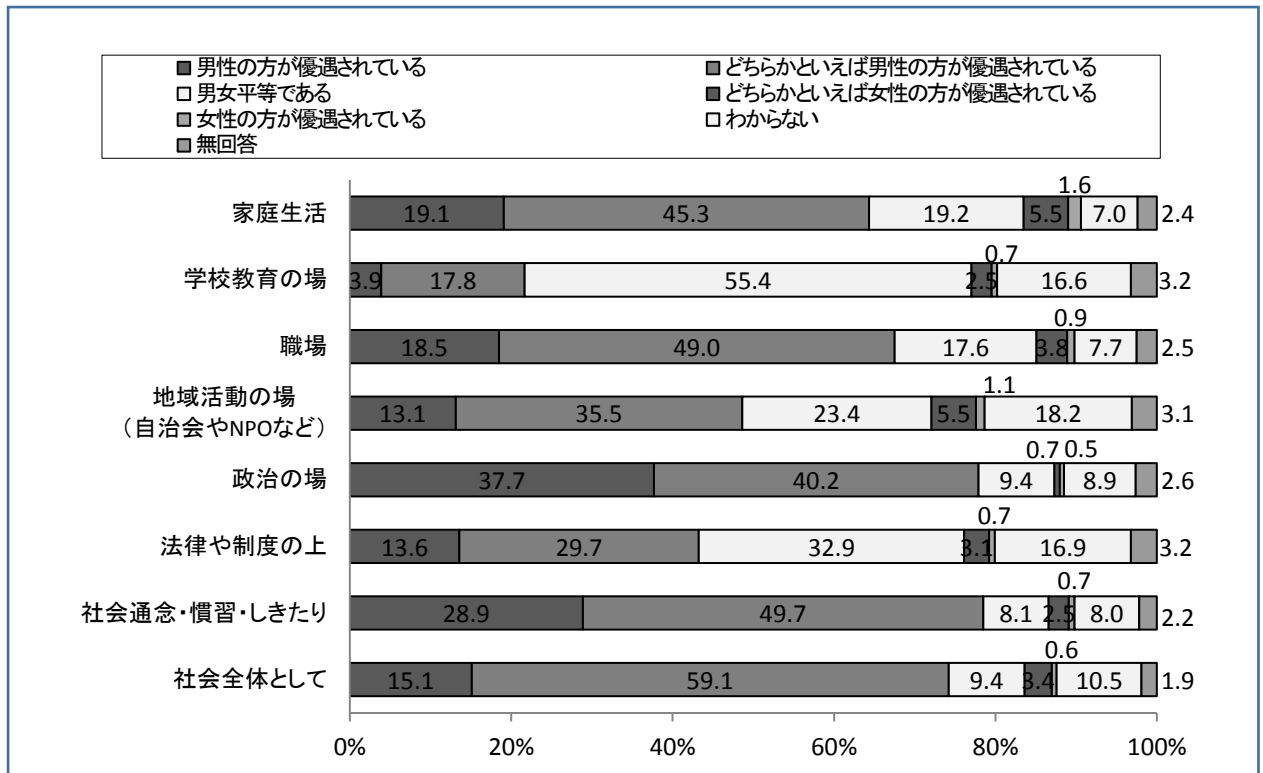


【2】世の中の男女平等感について

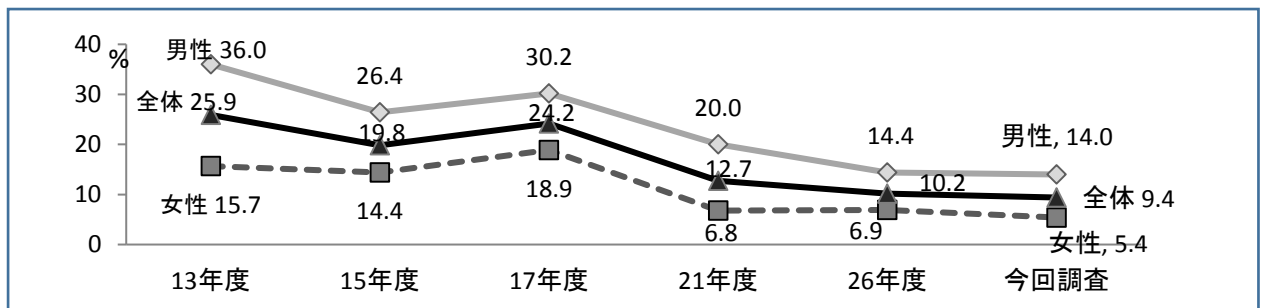
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

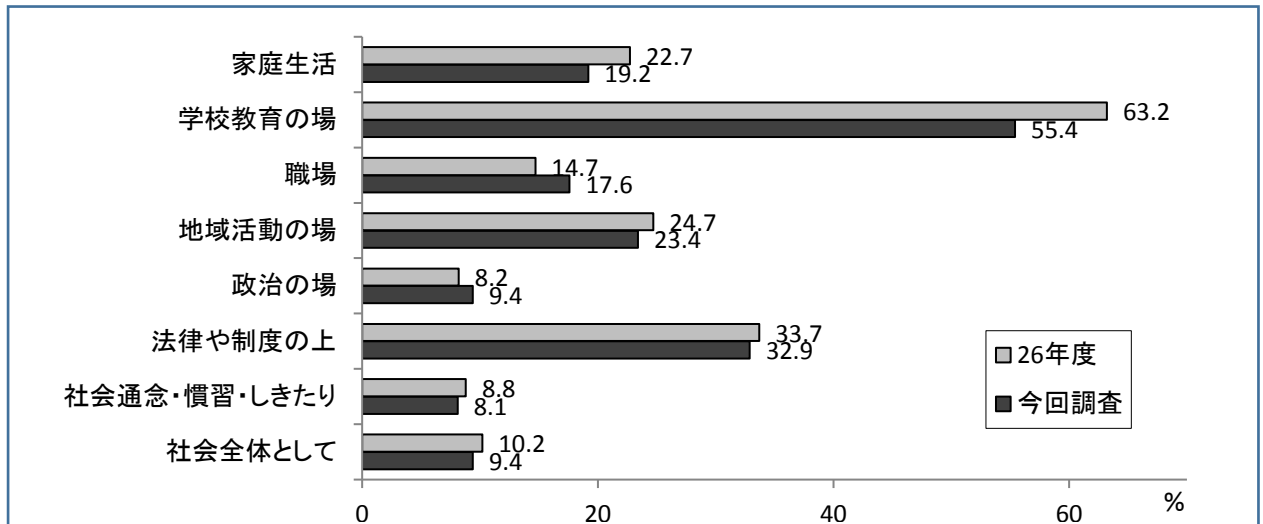
- 「男女平等」と回答した割合は、「学校教育の場」で55.4%、「法律や制度の上」で32.9%、「地域活動の場」で23.4%、「家庭生活」で19.2%、「職場」で17.6%、「社会全体として」・「政治の場」で9.4%、「社会通念・慣習・しきたり」で8.1%となっている。



◇ 「社会全体」を「平等」と回答した人の割合（推移）



◇ 「男女平等」と回答した人の割合の前回調査（26年度）との比較

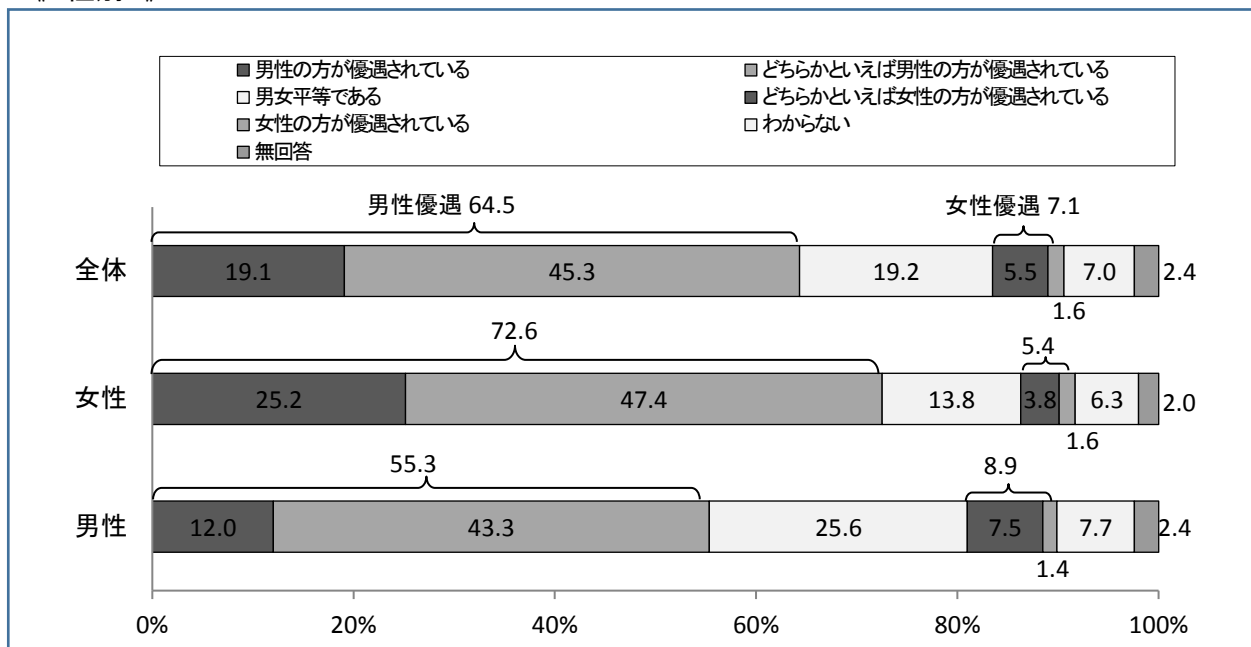


問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

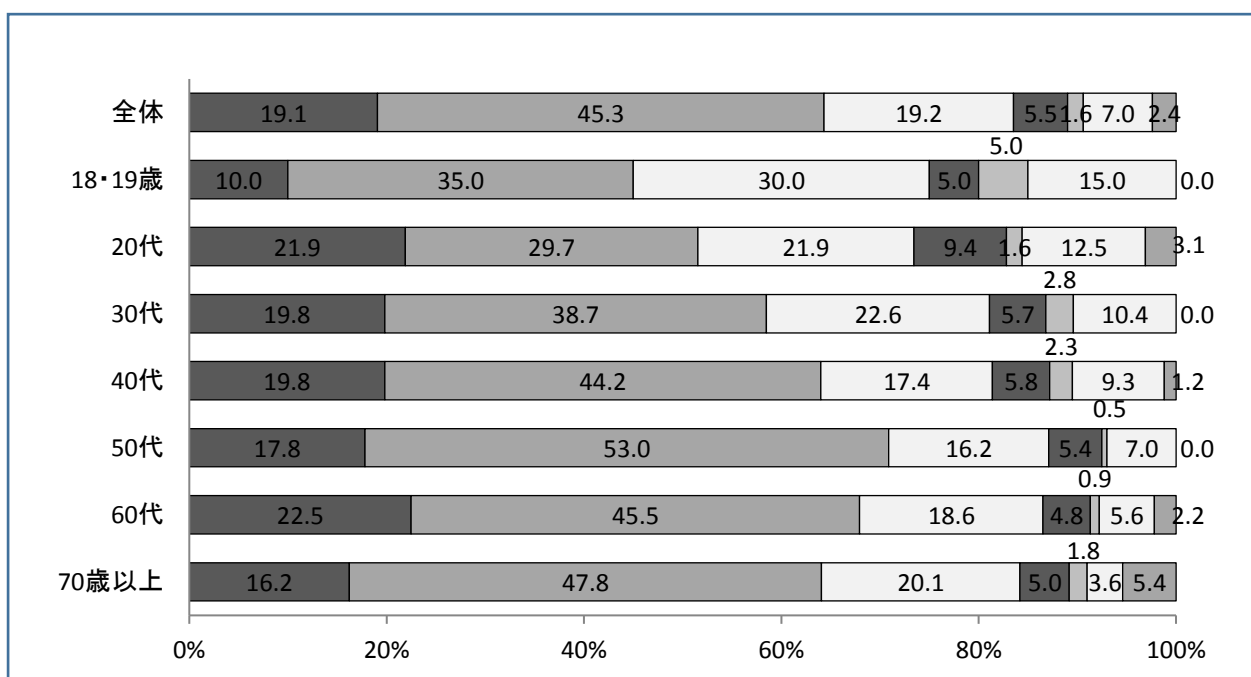
(1) 家庭生活

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は64.5%となっている。(参考：26年度調査61.1% 元年度全国調査44.9%)
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性72.6%、男性55.3%で、17.3ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



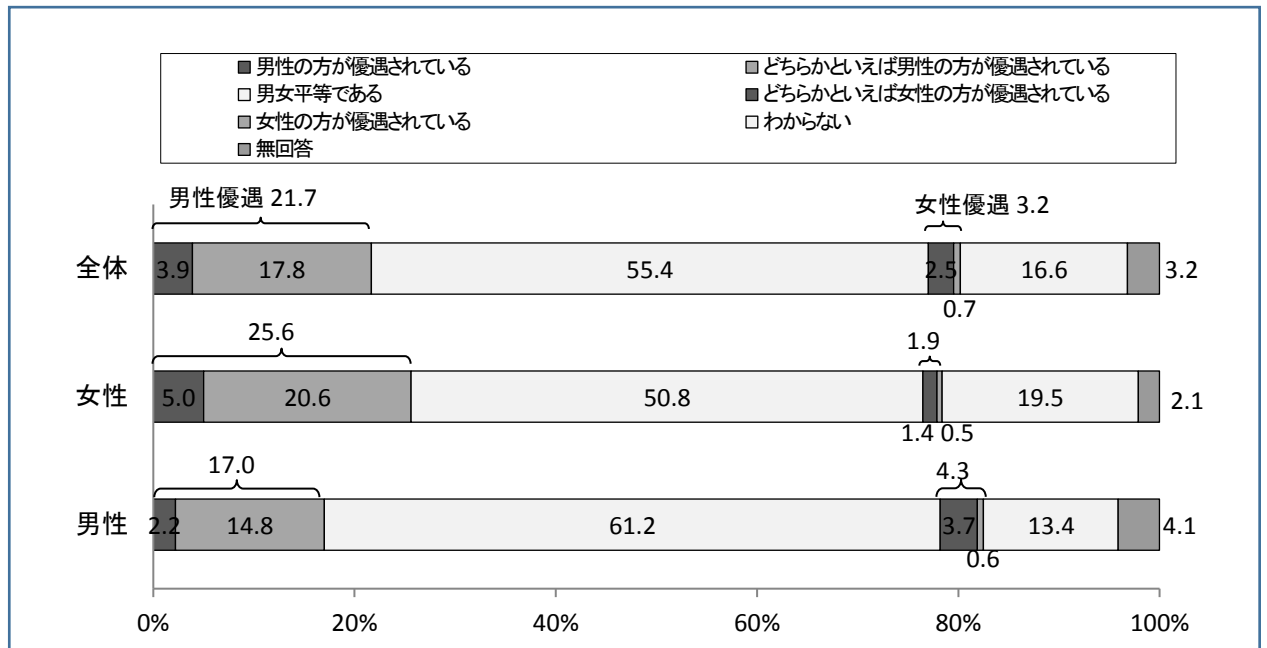
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

(2) 学校教育の場

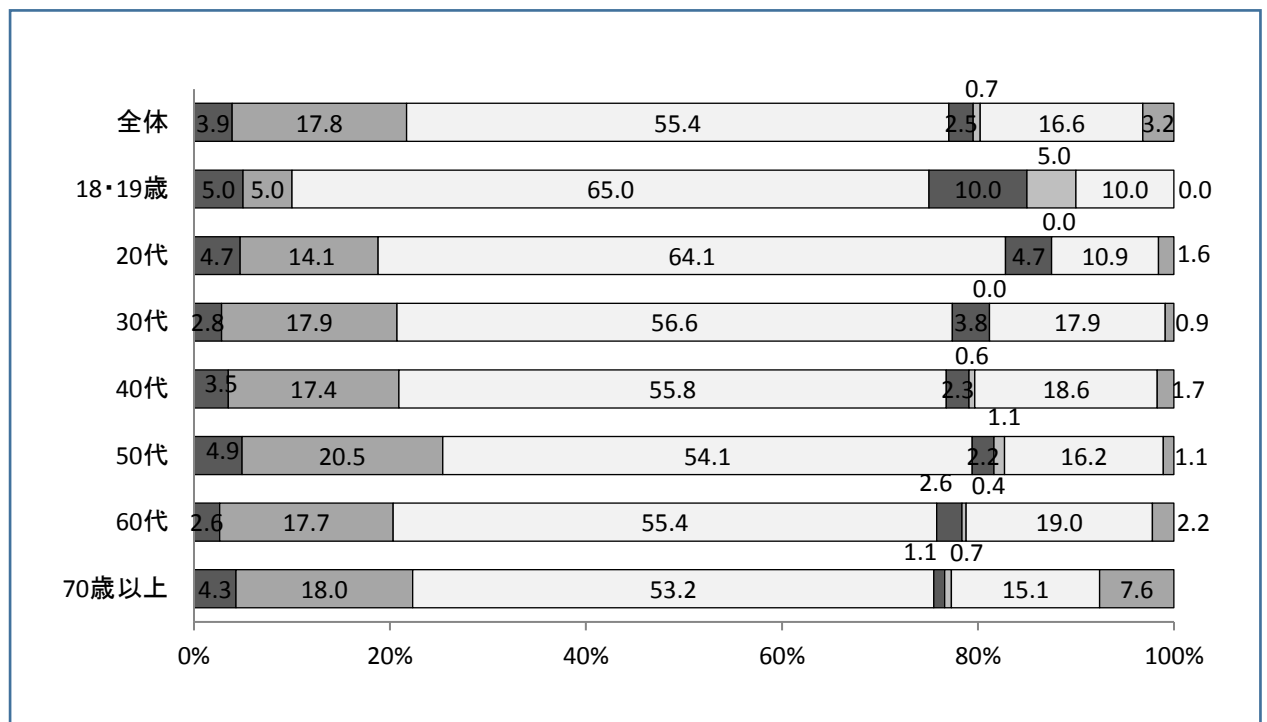
● 「男女平等である」割合が55.4%で、他の分野に比べ高くなっている。

(参考：26年度調査 63.2% 元年度全国調査 61.2%)

《 性別 》



《 年代別 》

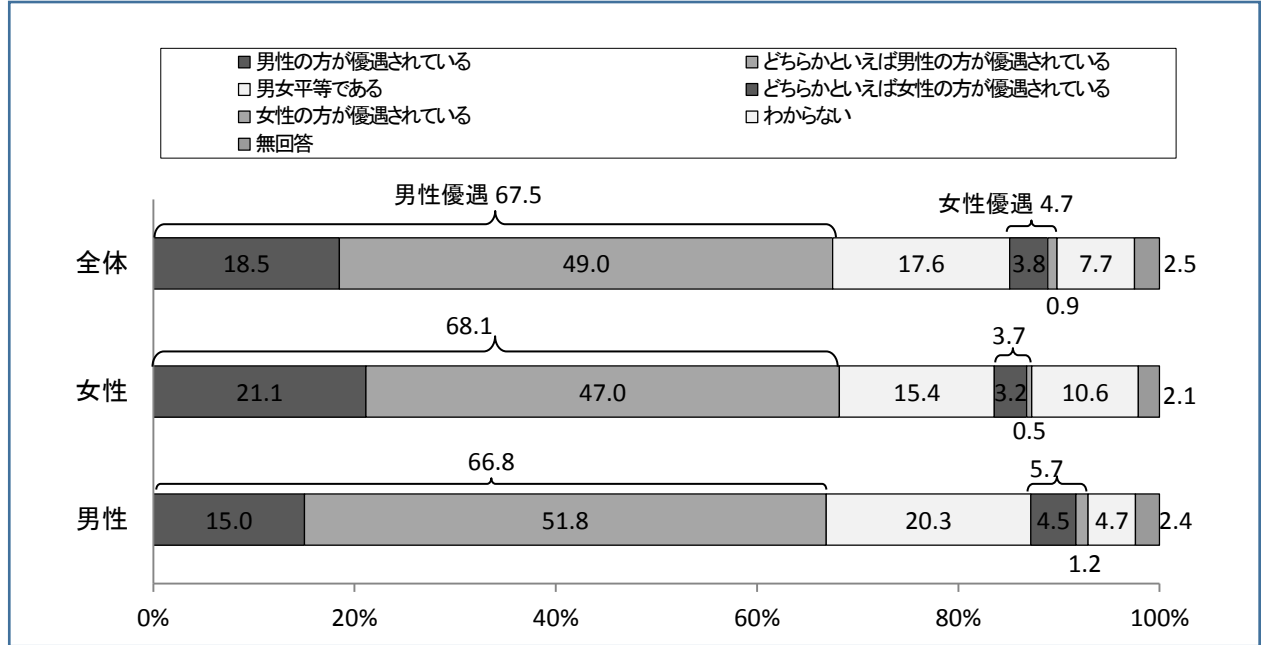


問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

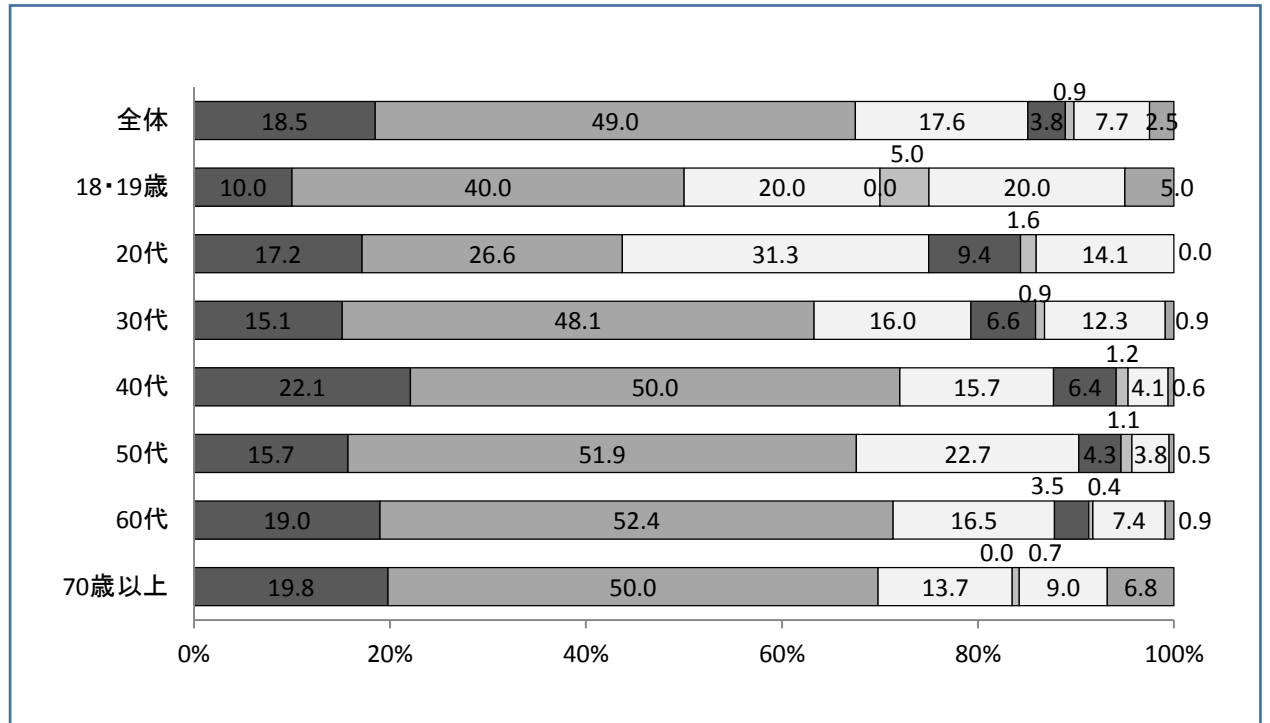
(3) 職場

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は67.5%となっている。(参考：26年度調査 63.2% 元年度全国調査 53.5%)
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性68.1%、男性66.8%で、1.3ポイントの差となっている。

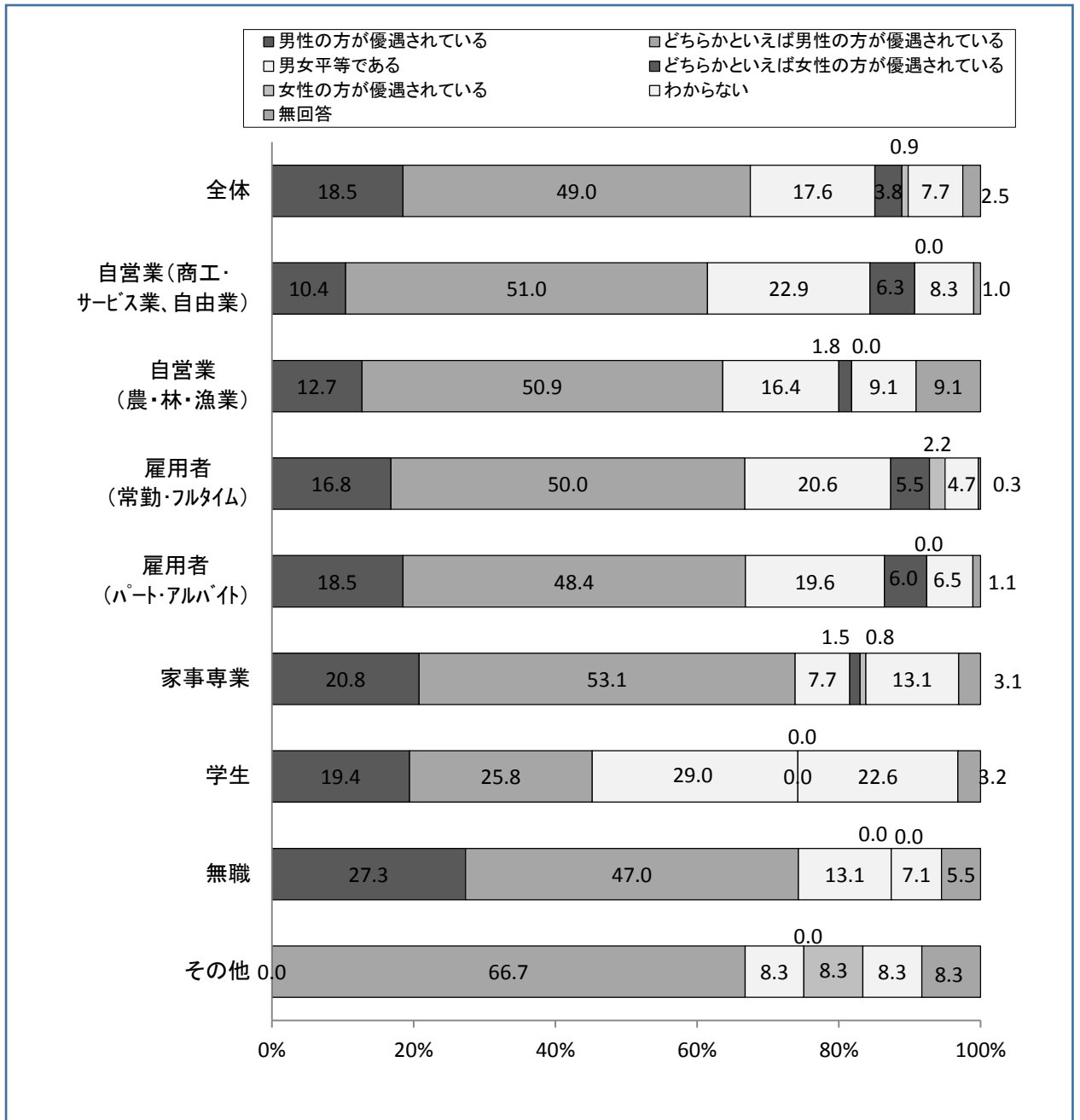
《 性別 》



《 年代別 》



《 職業別 》



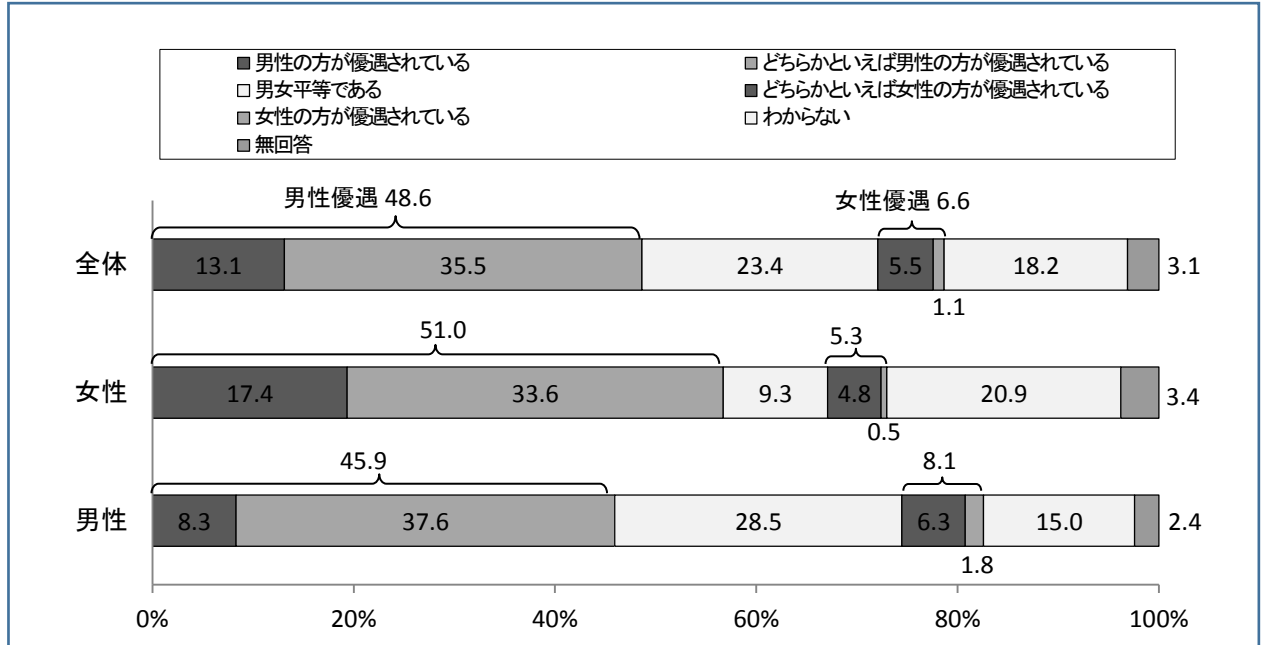
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

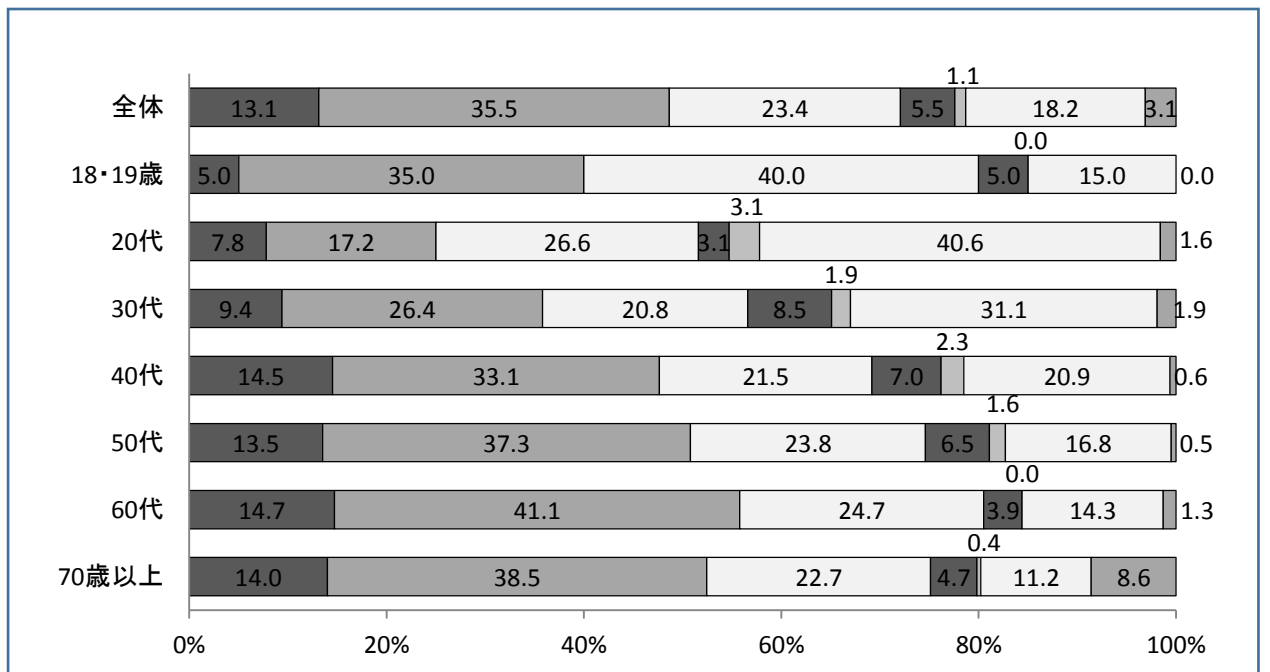
(4) 地域活動の場（自治会やNPOなど）

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は48.6%となっている。（参考：26年度調査52.9% 元年度全国調査34.7%）
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性51.0%、男性45.9%で、5.1ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

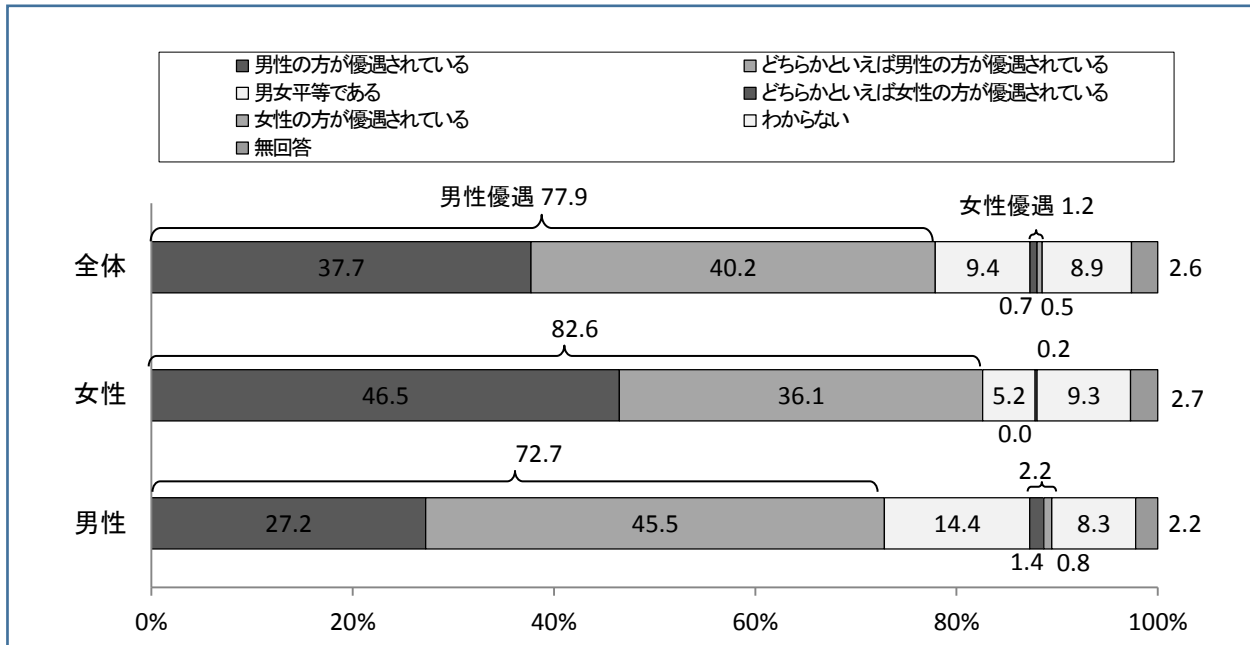
あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

(5) 政治の場

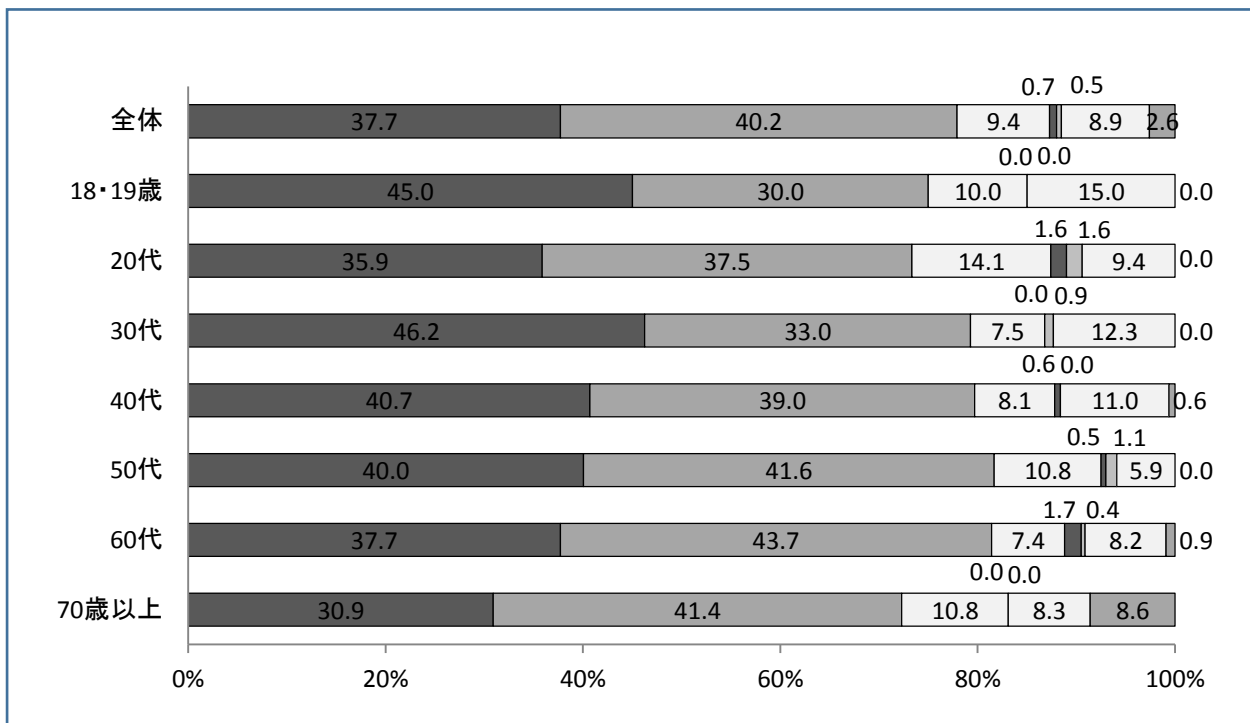
●「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は77.9%となっている。(参考：26年度調査80.2% 元年度全国調査79.0%)

●「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性82.6%、男性72.7%で、9.9ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



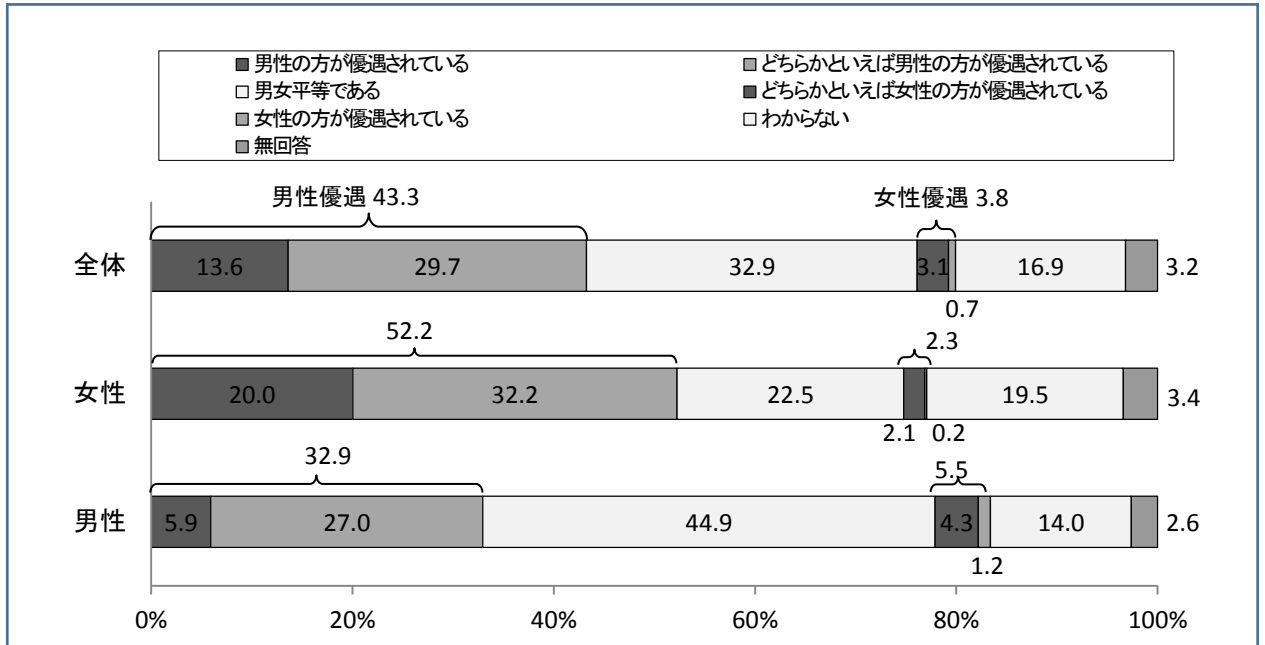
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

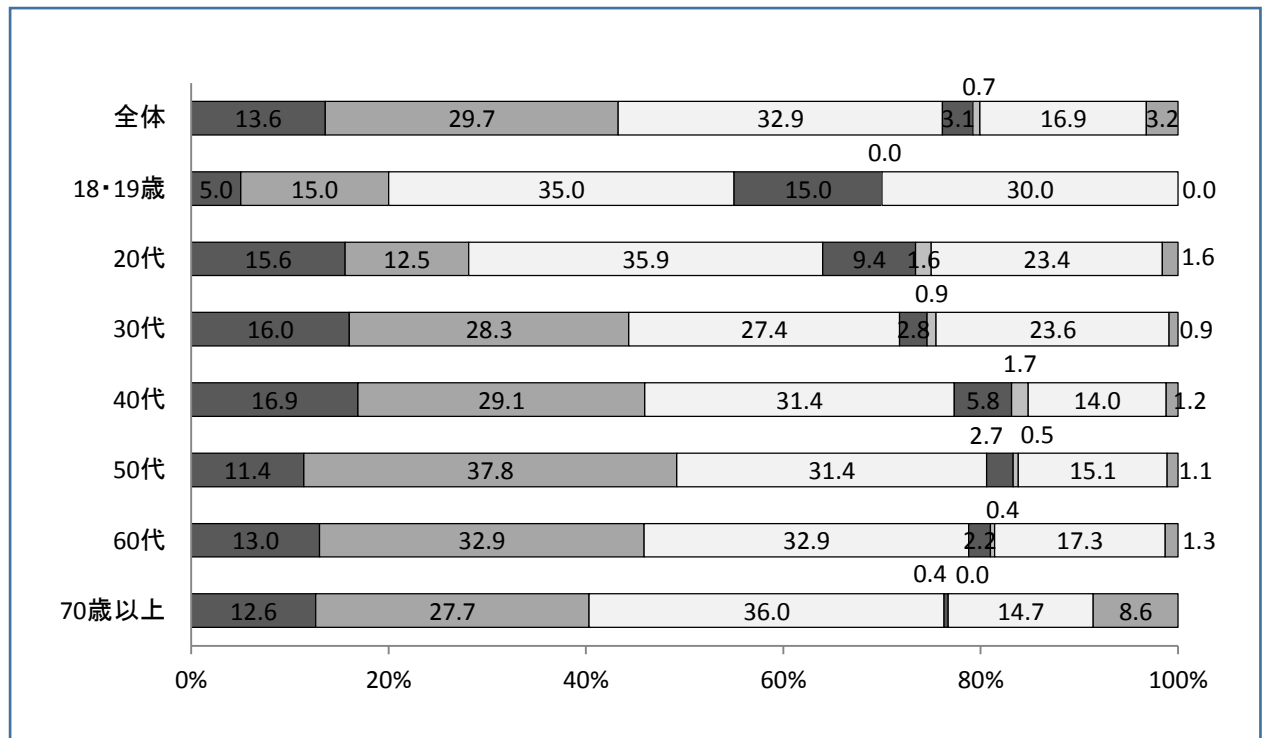
(6) 法律や制度の上

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は43.3%となっている。(参考: 26年度調査 43.7% 元年度全国調査 46.9%)
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性52.2%、男性32.9%で、19.3ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



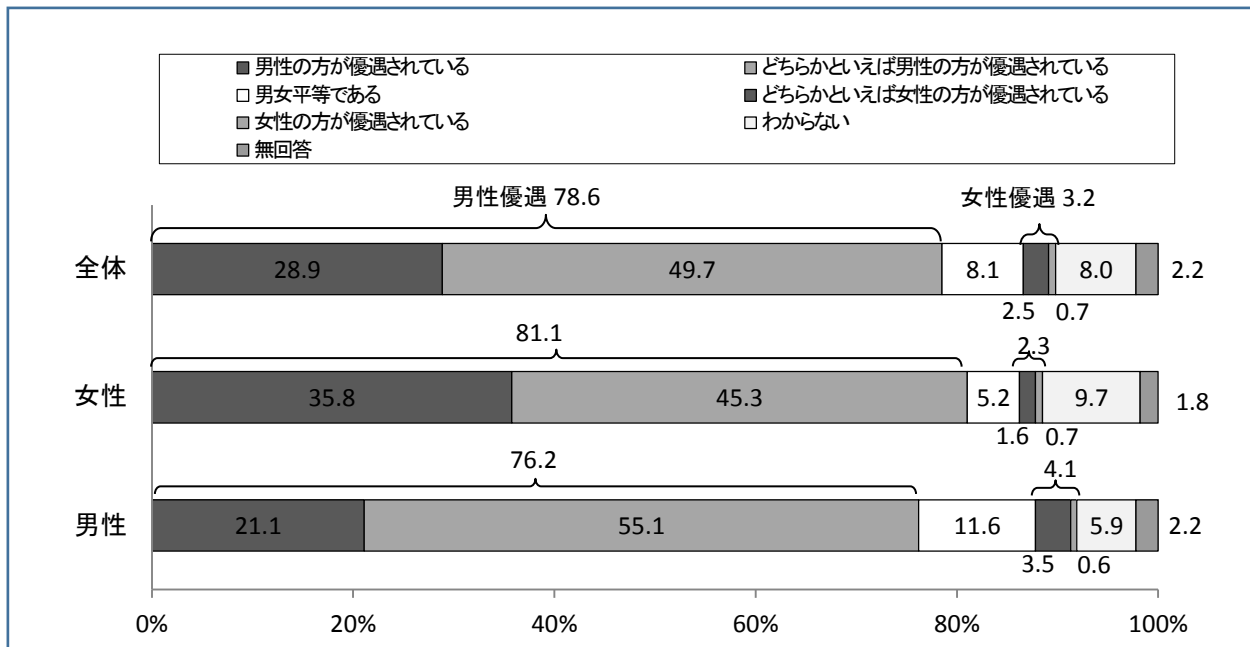
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

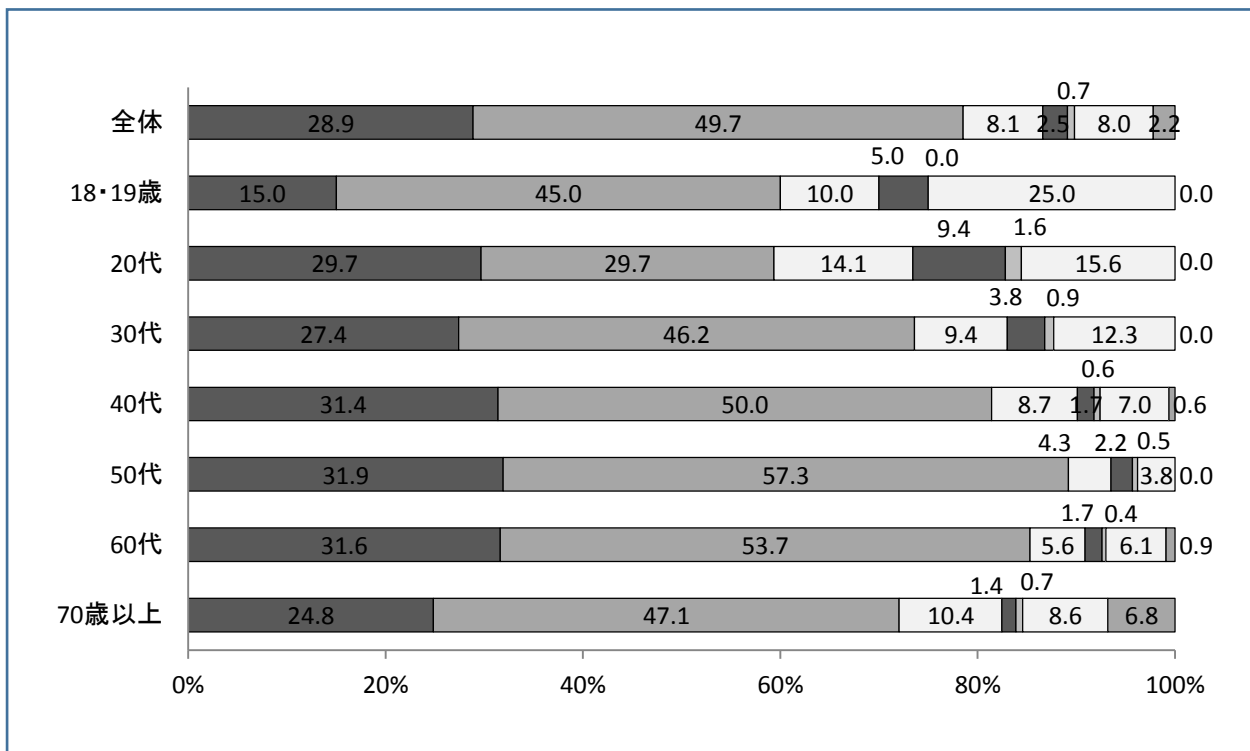
(7) 社会通念・慣習・しきたり

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は割合は78.6%となっている。(参考:26年度調査76.7% 元年度全国調査70.1%)
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性81.1%、男性76.2%となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



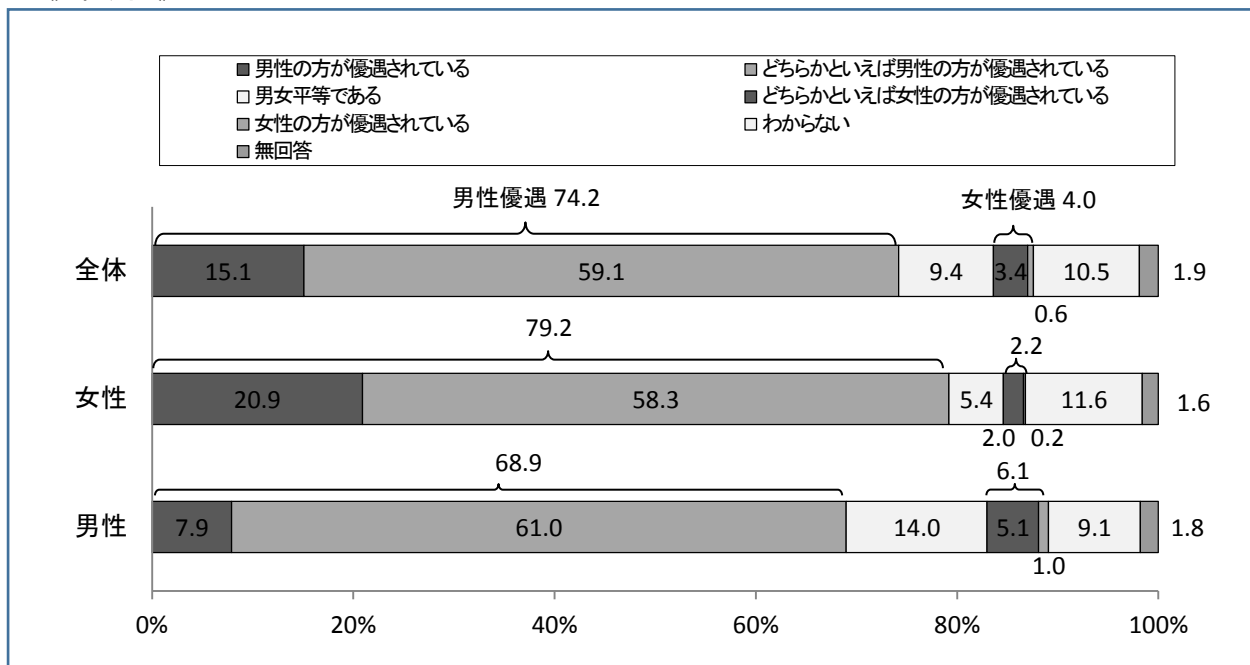
問3 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

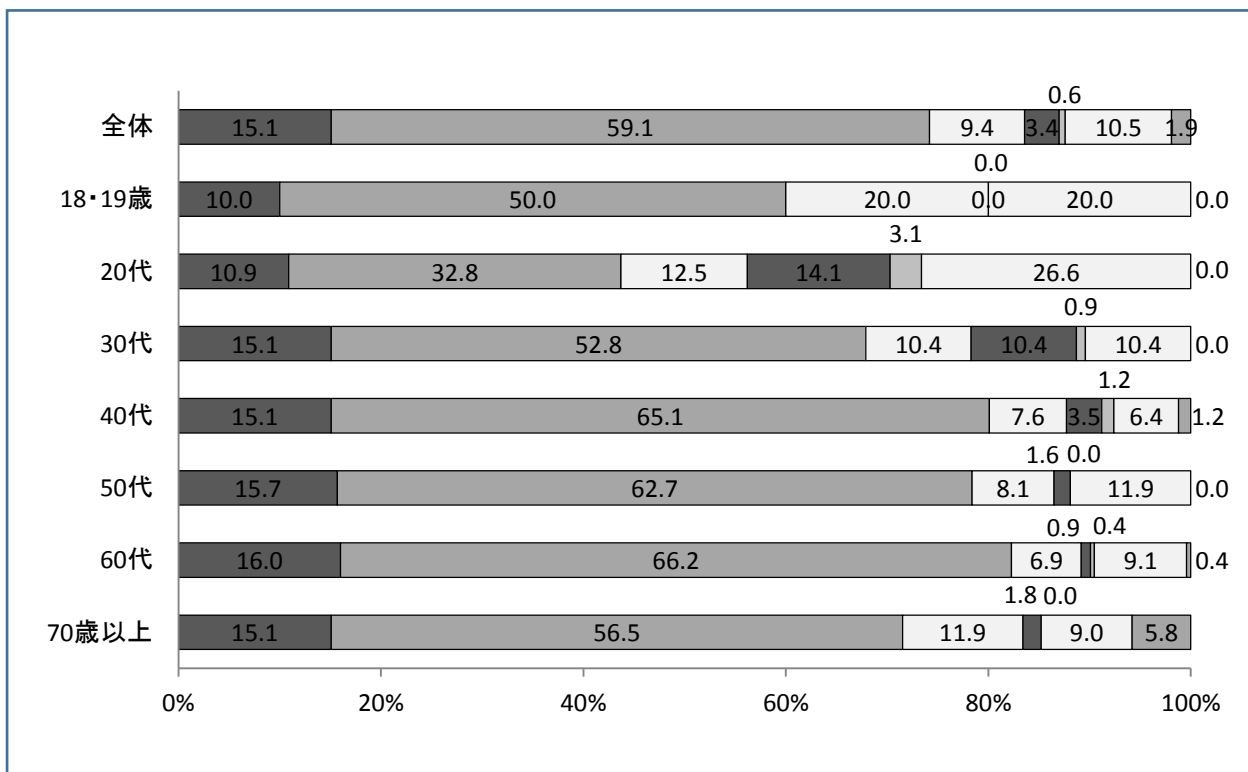
(8) 社会全体として

- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は74.2%となっている。(参考: 26年度調査 75.1% 元年度全国調査 74.1%)
- 「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」割合は女性79.2%、男性68.9%で、10.3ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

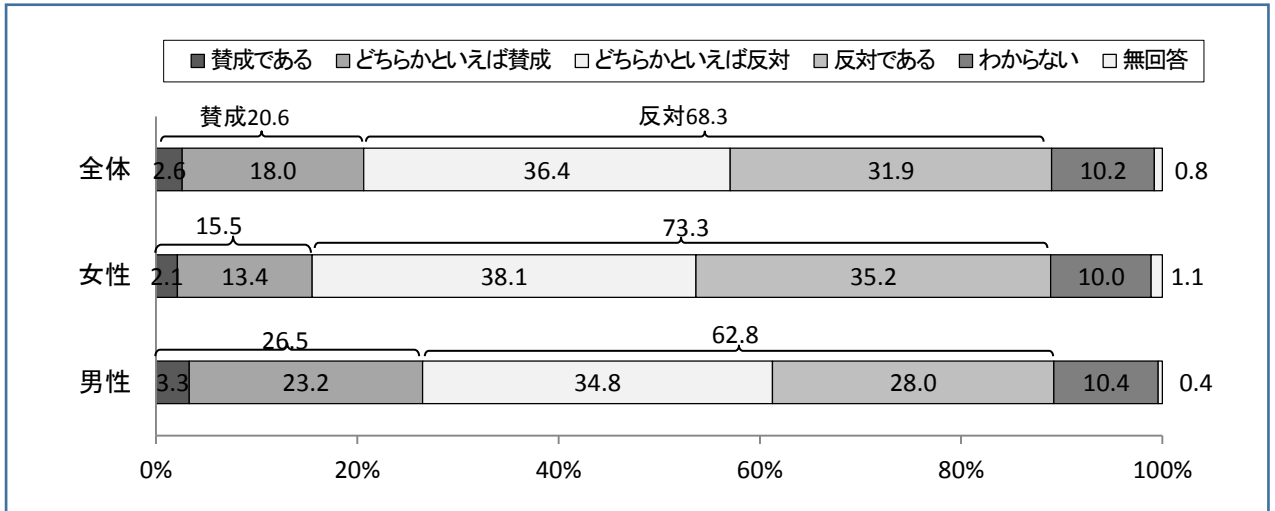


【3】性別役割分担意識について

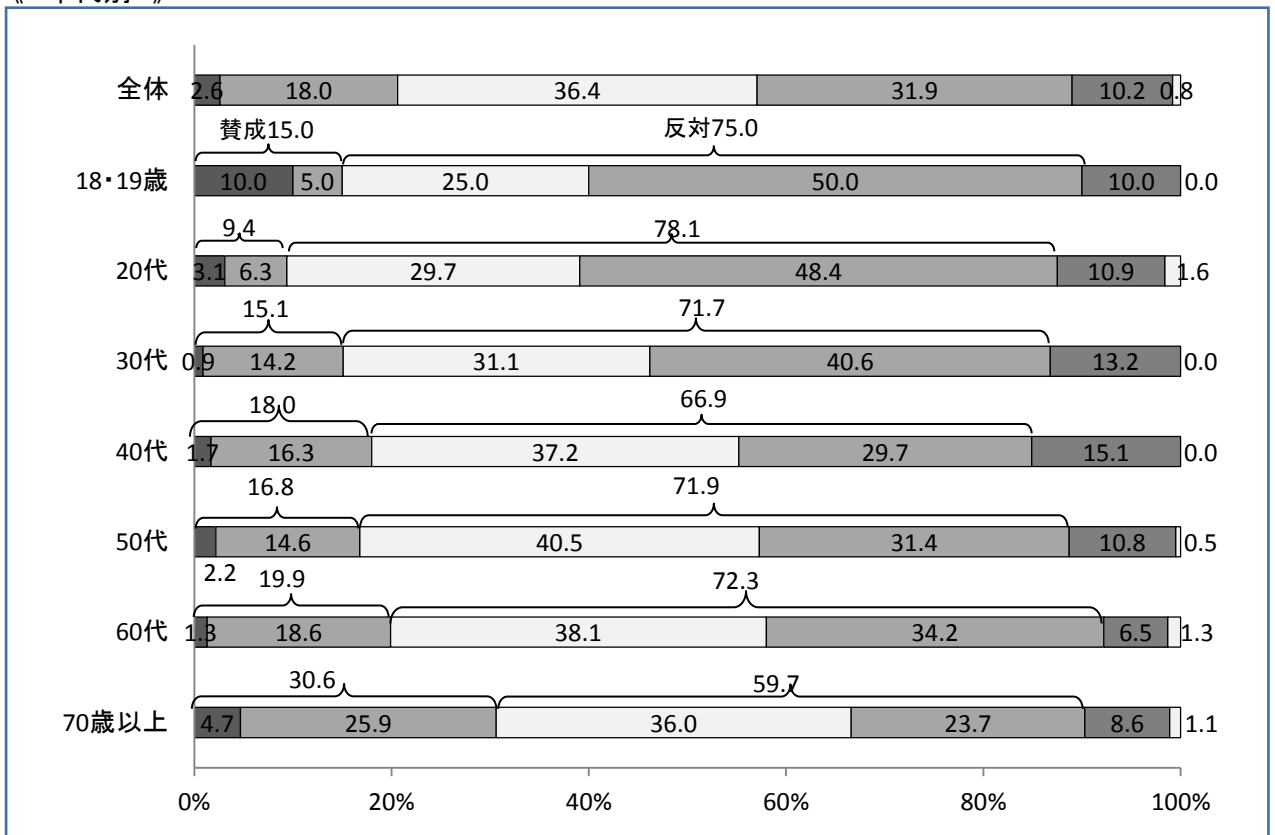
問4 「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、あなたは
どう思いますか。お考えに近いものを1つ選んでください。

- 「反対である」または「どちらかといえば反対」とする割合は、68.3%となっている。
(参考：26年度調査 55.4% 元年度全国調査 59.8%)
- 「反対である」または「どちらかといえば反対」とする割合は、女性 73.3%、男性 62.8%で、
10.5ポイントの差となっている。(参考：26年度調査 女性 63.6%、男性 45.7%)
- 年代別では、70歳以上が他の年代と異なり、「賛成」または「どちらかといえば賛成」の割合が、
3割合を上回っている。

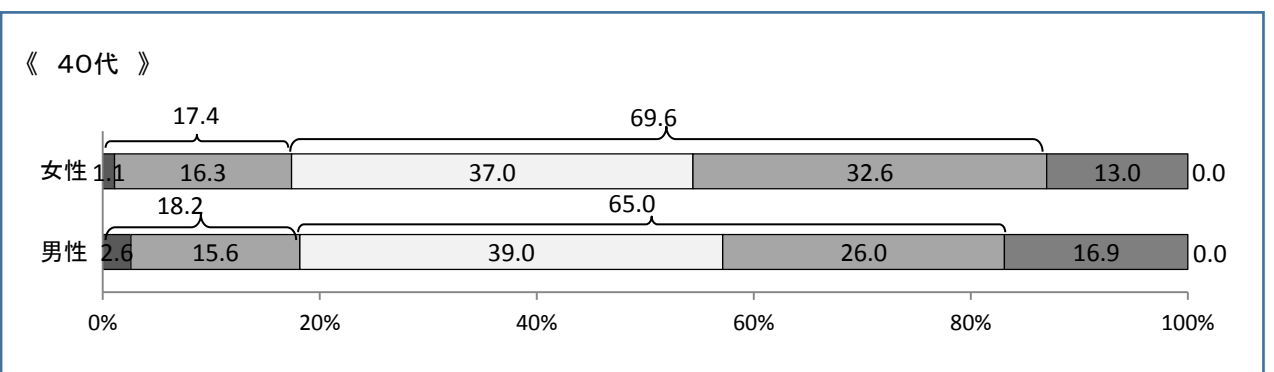
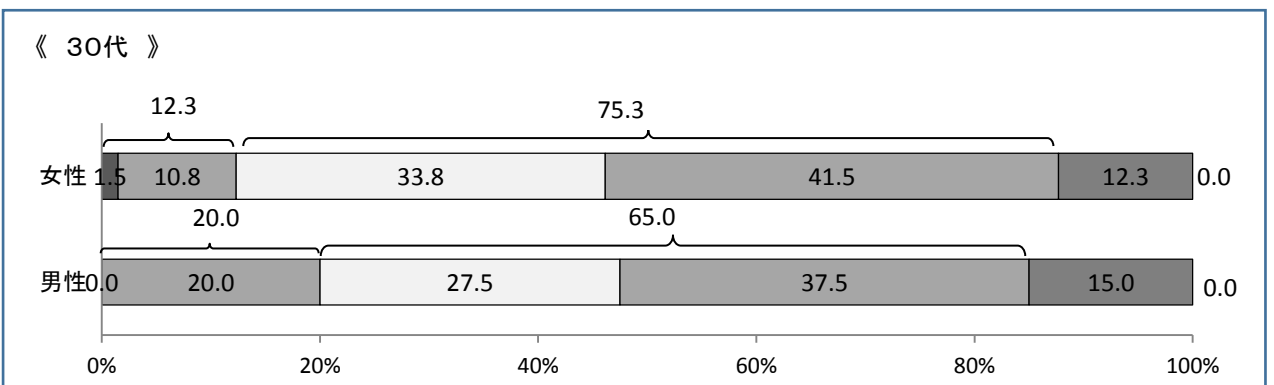
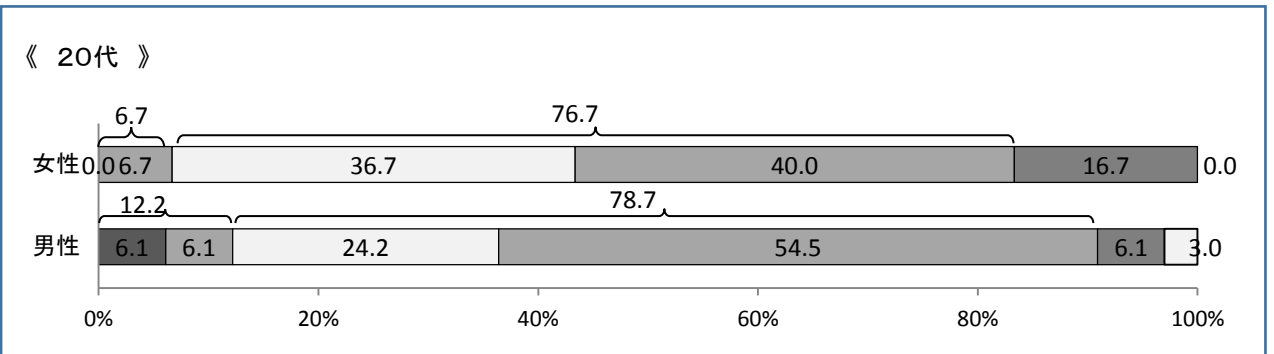
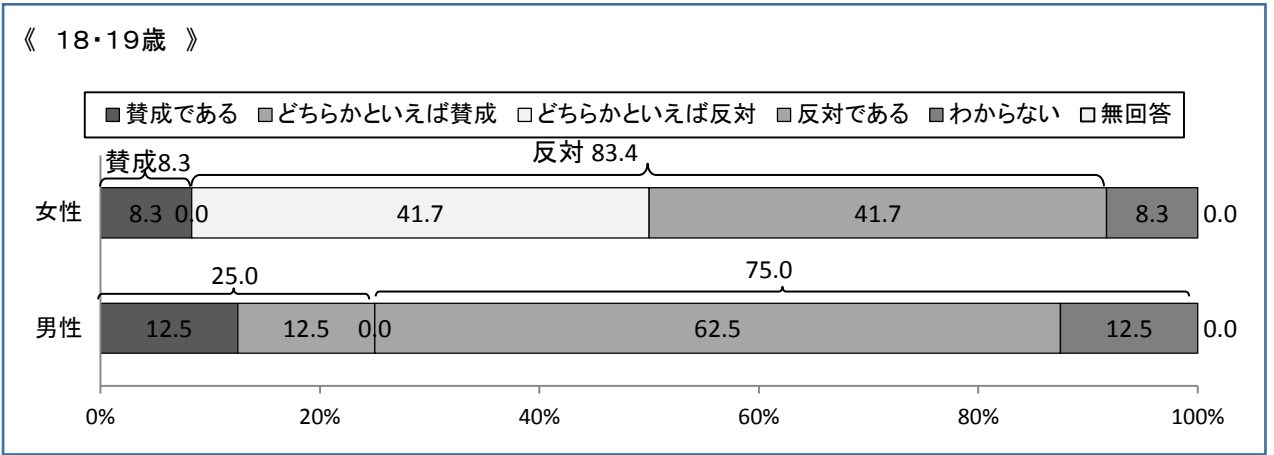
《 性別 》



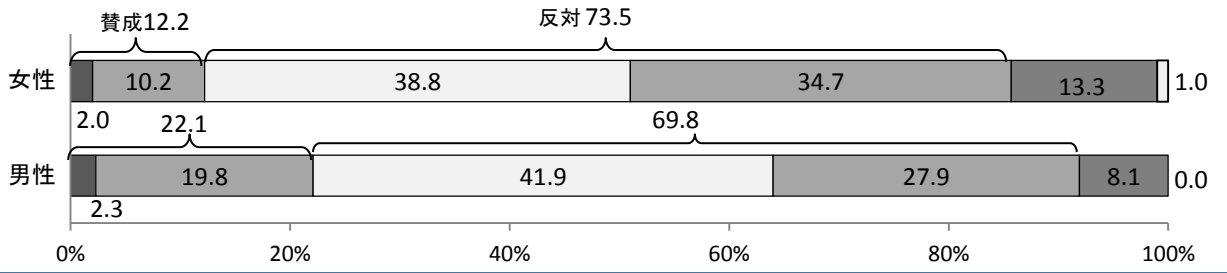
《 年代別 》



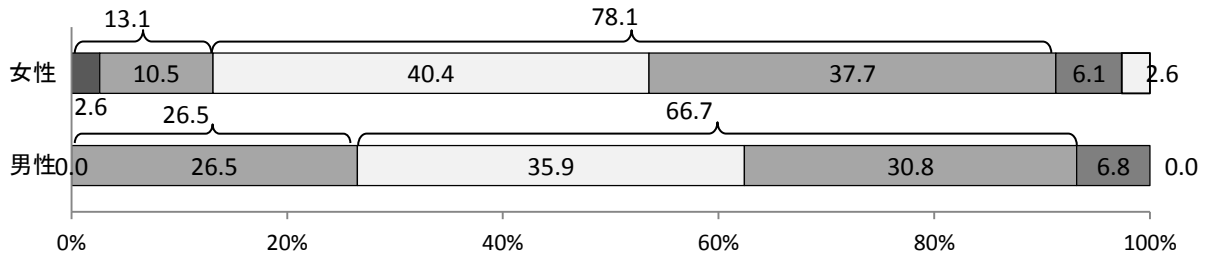
《 性別・年代別 》



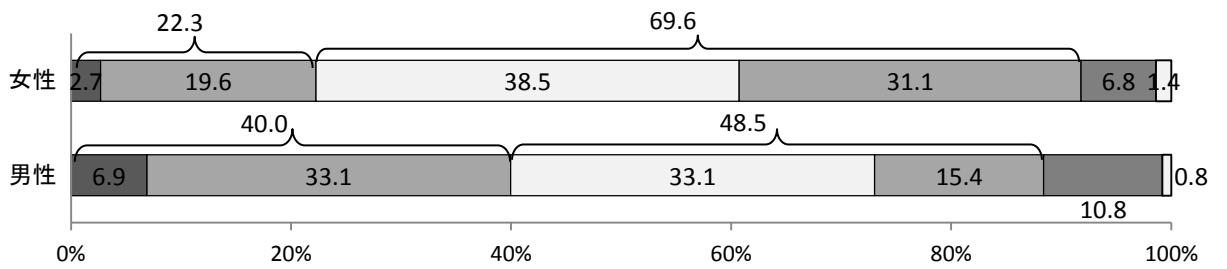
《 50代 》



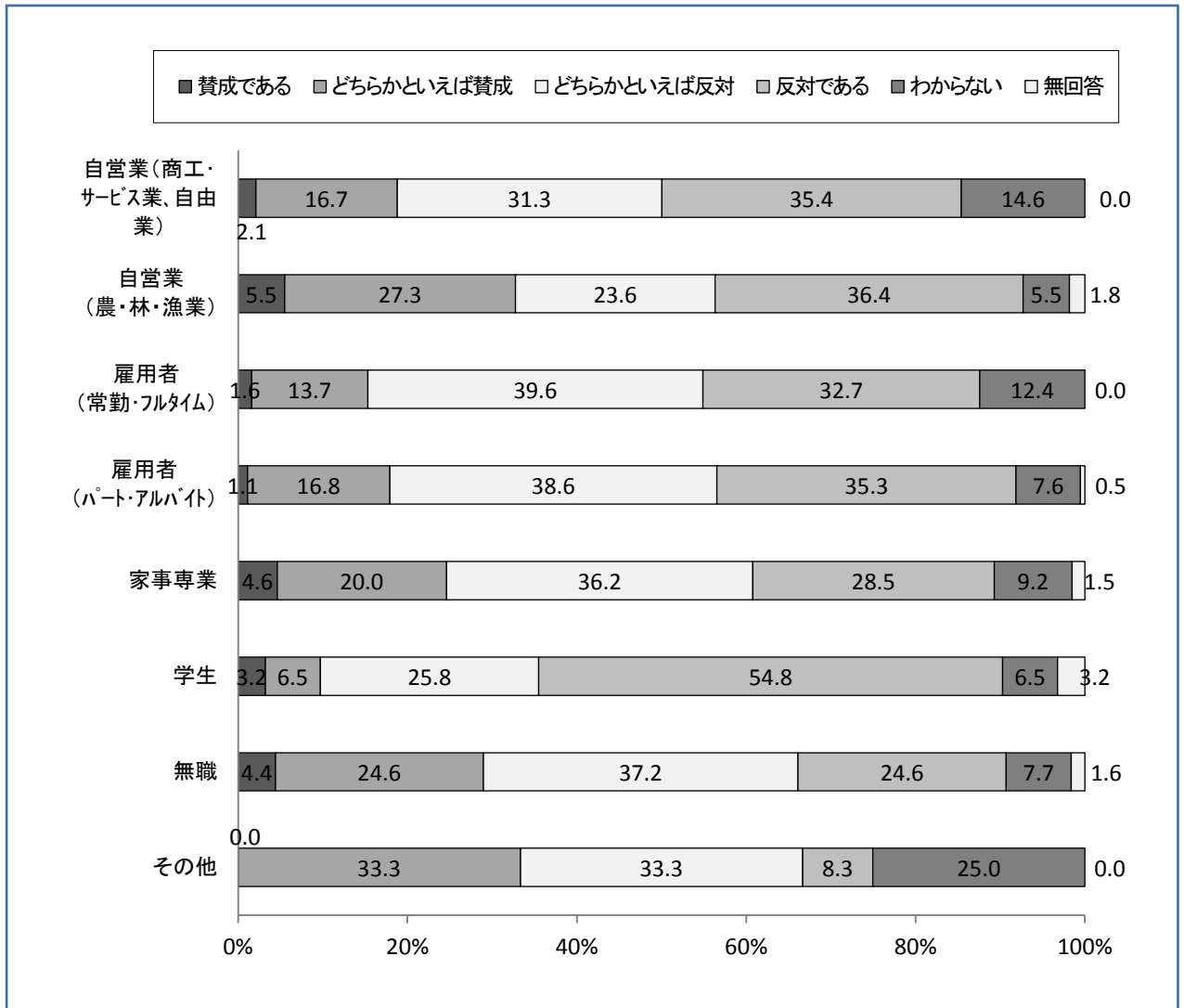
《 60代 》



《 70歲以上 》

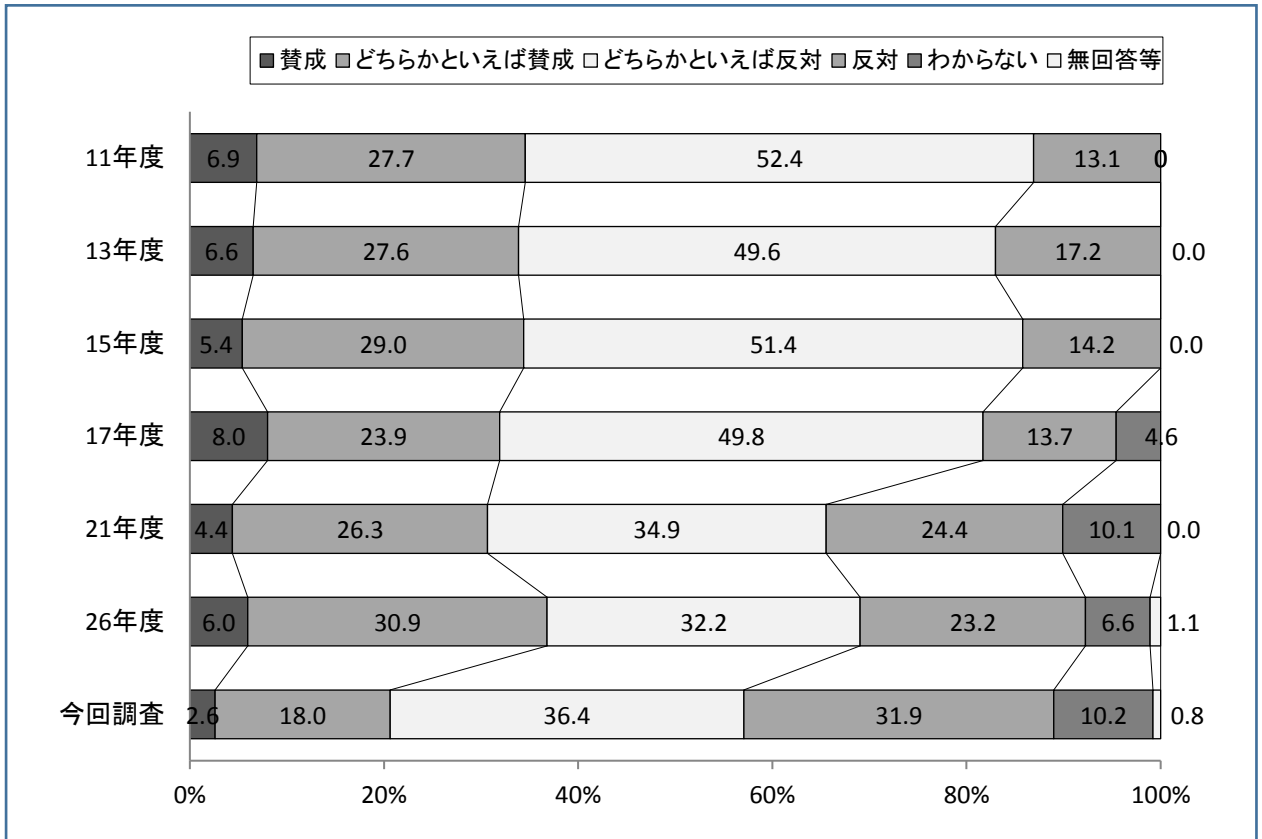


《 職業別 》 (n=1,055)



◇「男は仕事、女は家庭」という考え方についての推移

●「賛成」または「どちらかといえば賛成」とする割合は 20.6%で、11年度調査以降、最も低くなっている。

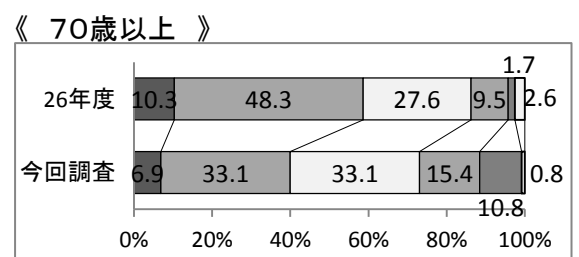
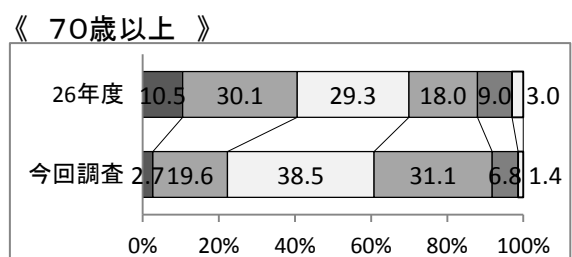
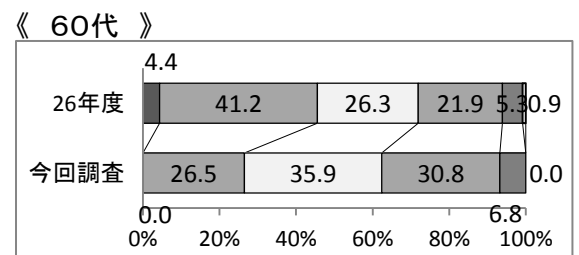
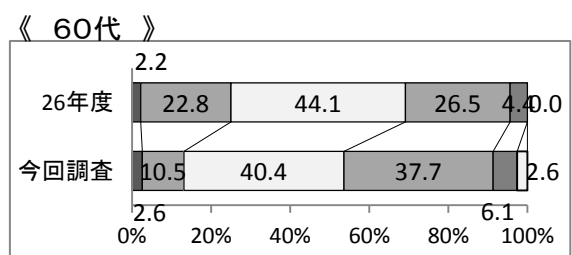
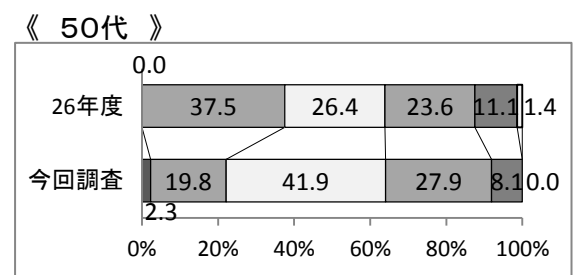
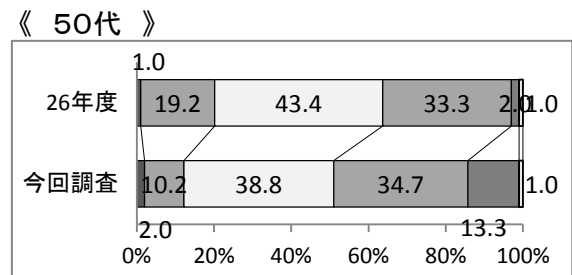
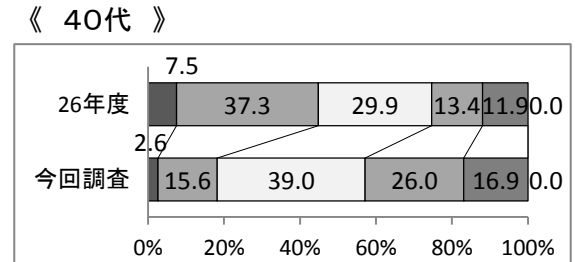
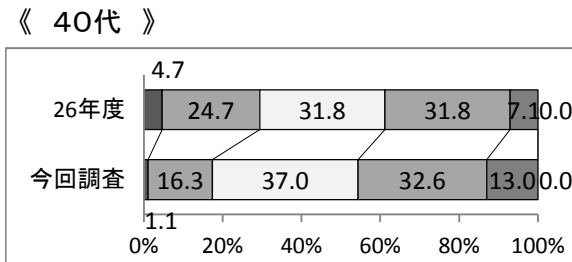
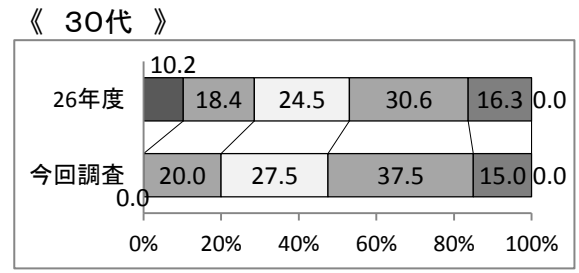
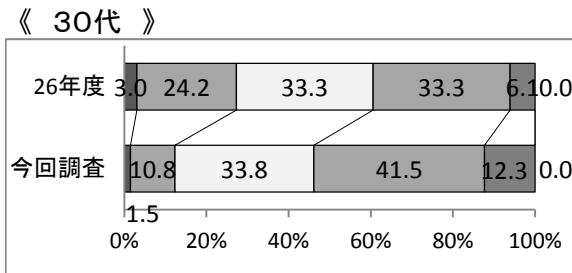
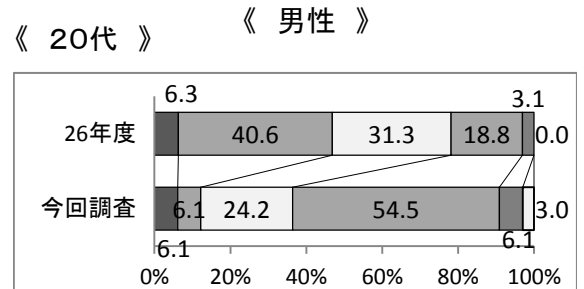
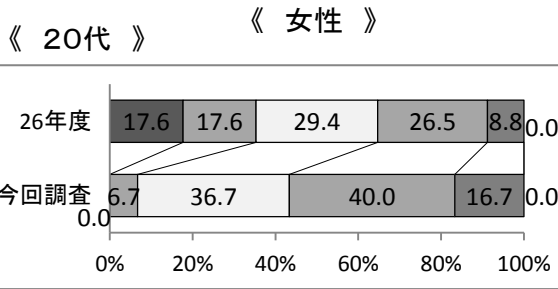


※選択肢の表示

平成 11～17 年度	賛成	仕方がない	あまり好ましくない	反対	わからない
平成 21・26 年度 ・今回調査	賛成である	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対である	わからない

◇前回調査との比較（性別、年代別）

■賛成である ■どちらかといえば賛成 □どちらかといえば反対 ■反対である ■わからない □無回答

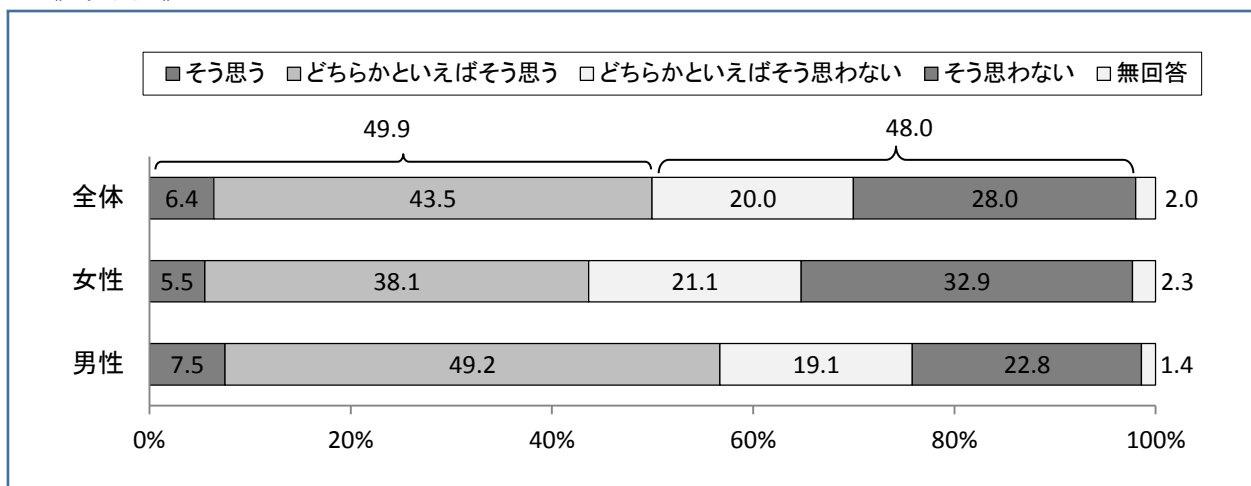


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

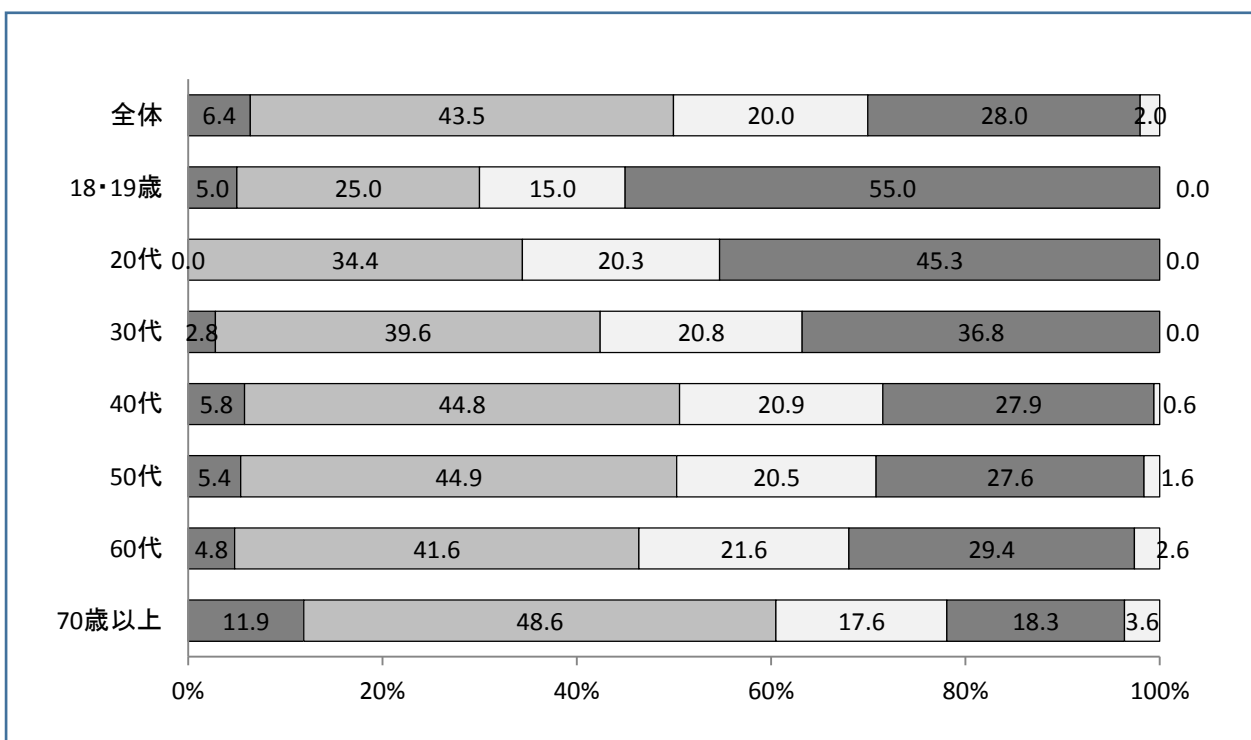
(1) 男性は外の仕事、女性は家事・子育て・介護に向いている

- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」とする割合は、48.0%となっている。（参考：26年度調査 35.7%）
- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」割合は、女性 54.0%、男性 41.9%で、12.1ポイントの差となっている。
- 年代別では、40代、50代と70代で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」割合が、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」割合を上回っている。

《 性別 》



《 年代別 》

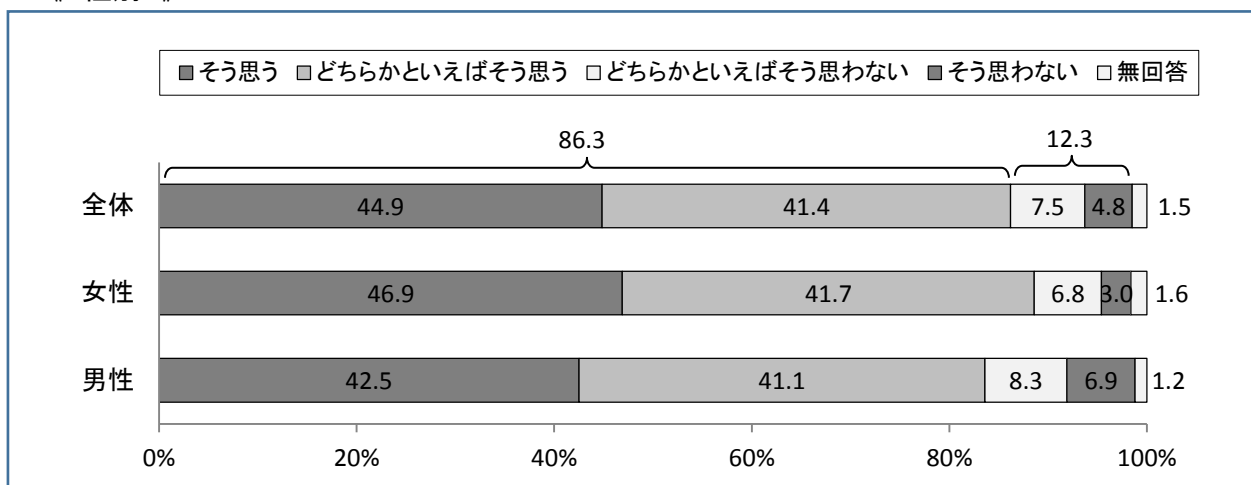


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

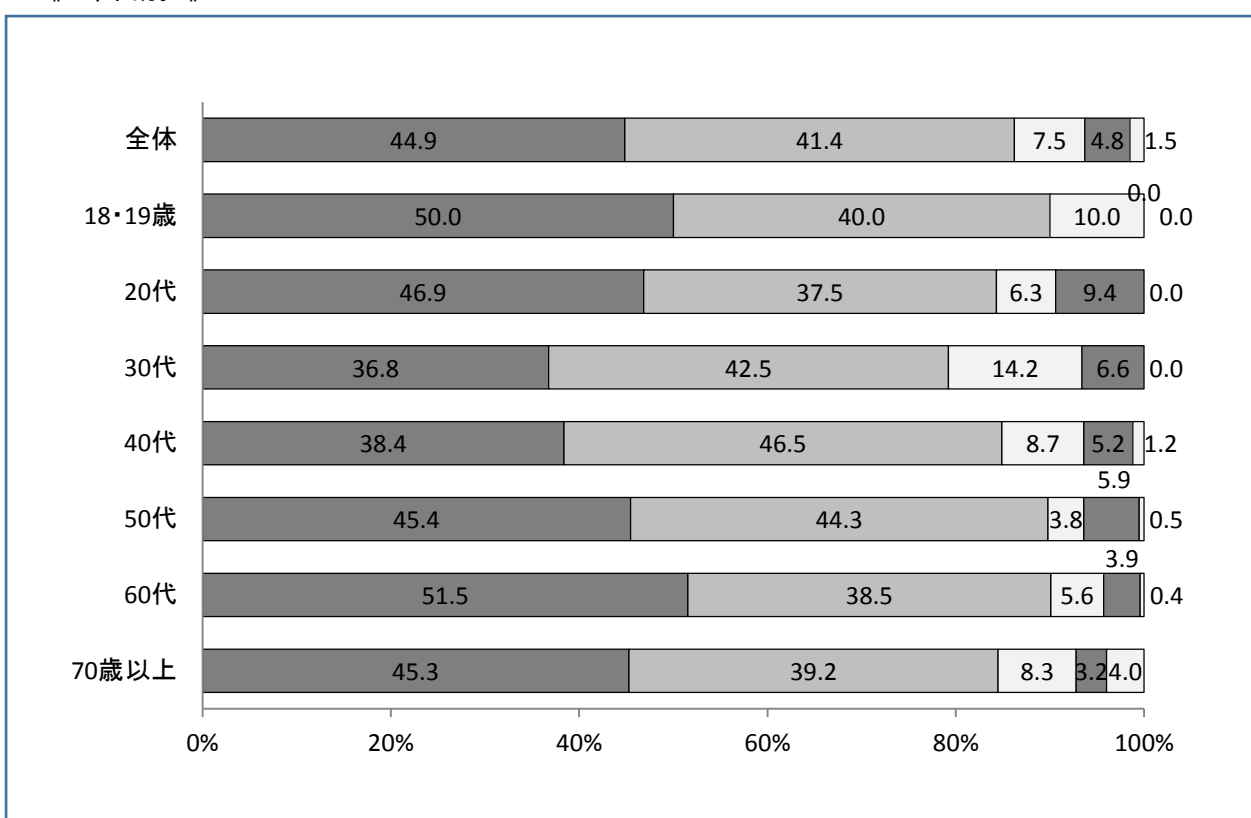
(2) 男女とも仕事を持った方がよい

- 「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とする割合は、86.3%となっている。
(参考：26年度調査 85.1%)
- 「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」割合は、女性 88.6%、男性 83.6%となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

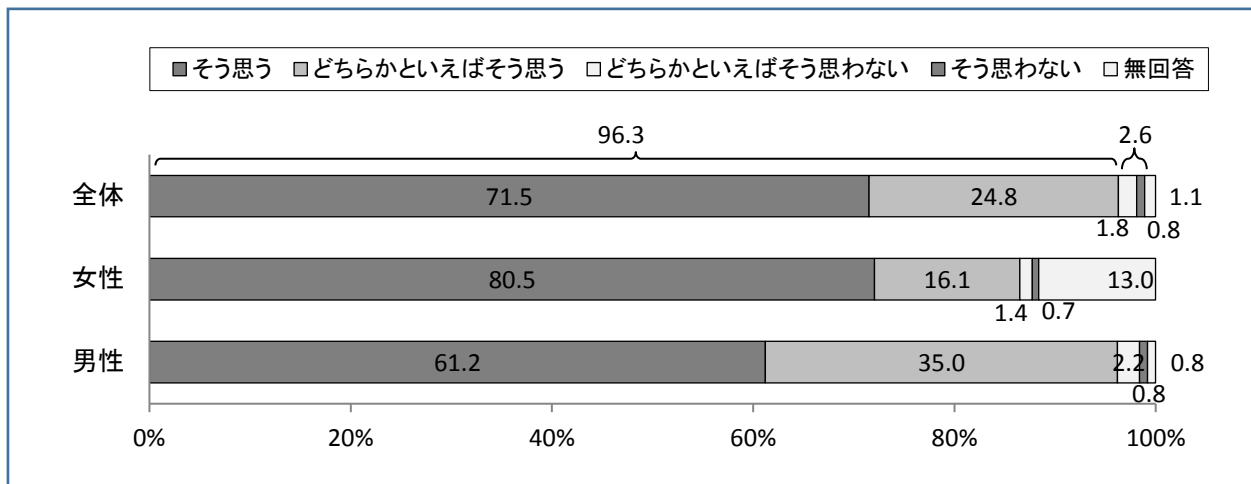


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

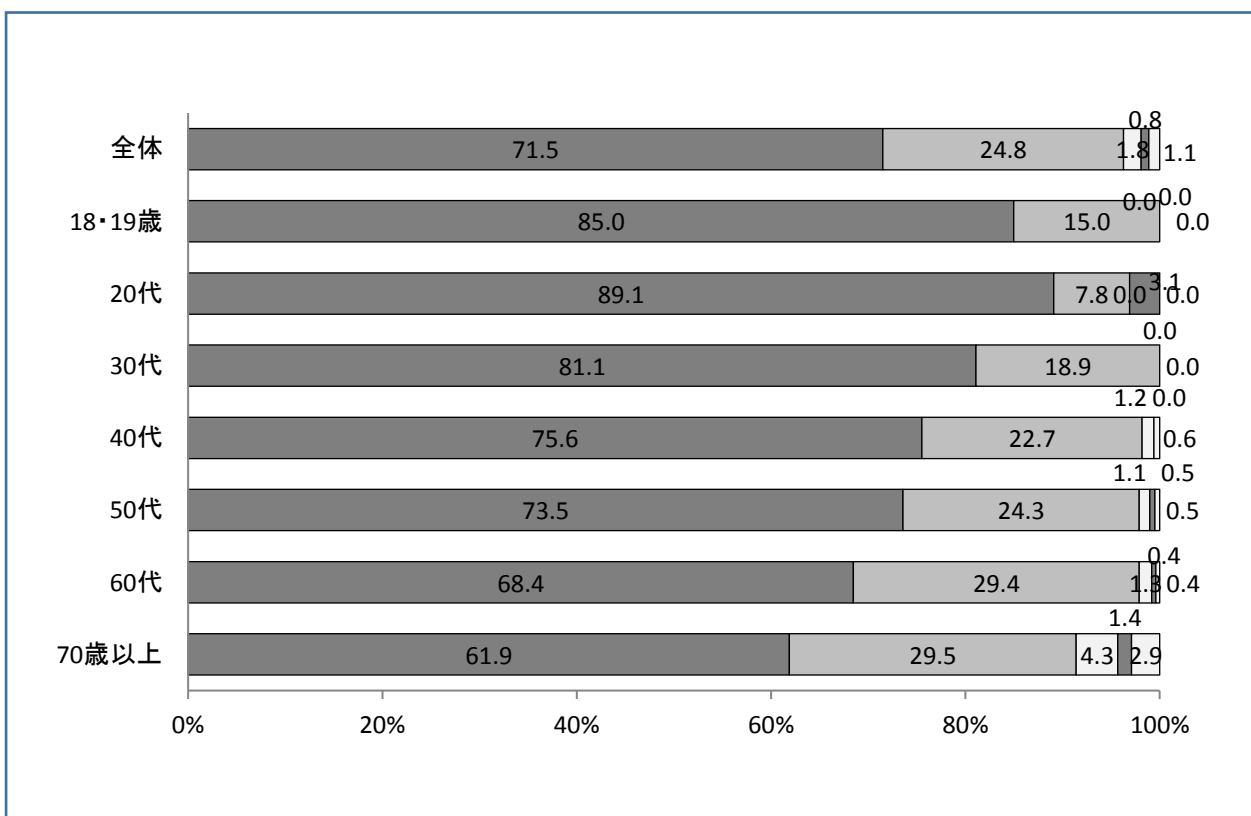
(3) 家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ

- 「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とする割合は、96.3%となっている。
(参考：26年度調査93.8%)
- 「そう思う」割合は、女性80.5%、男性61.2%で、19.3ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

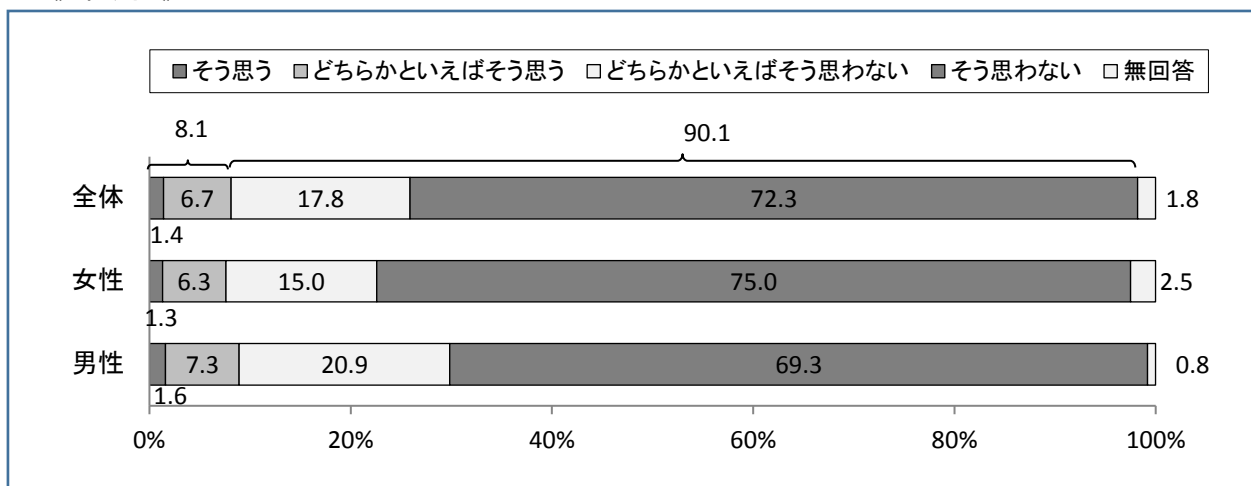


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

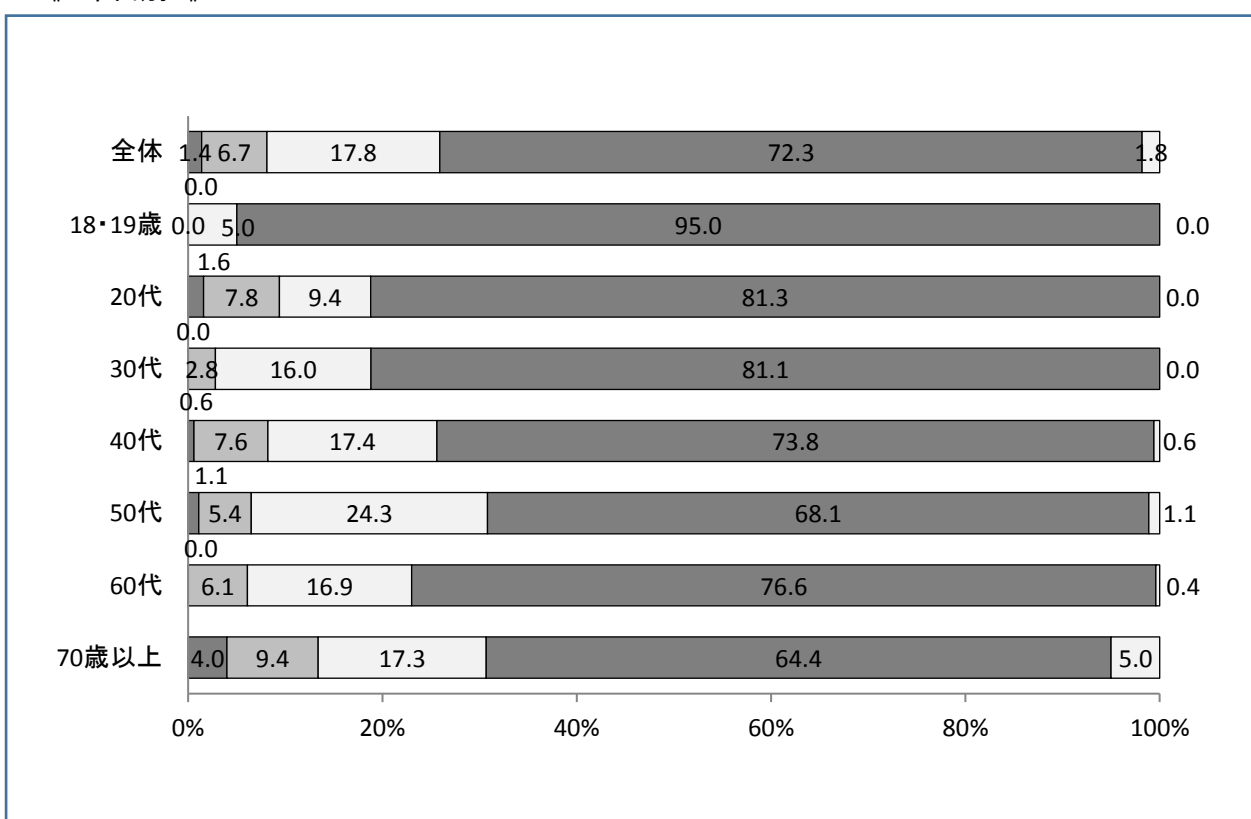
(4) 子どものしつけや教育は母親の責任である

- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」とする割合は、90.1%となっている。(参考：26年度調査84.9%)
- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」割合は、割合は、女性90.0%、男性90.2%となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

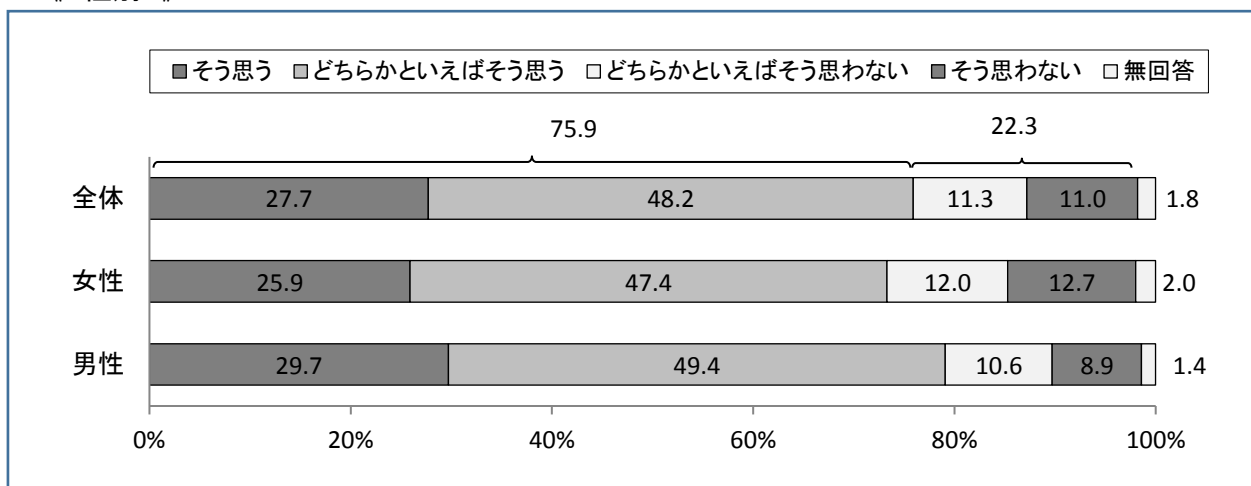


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

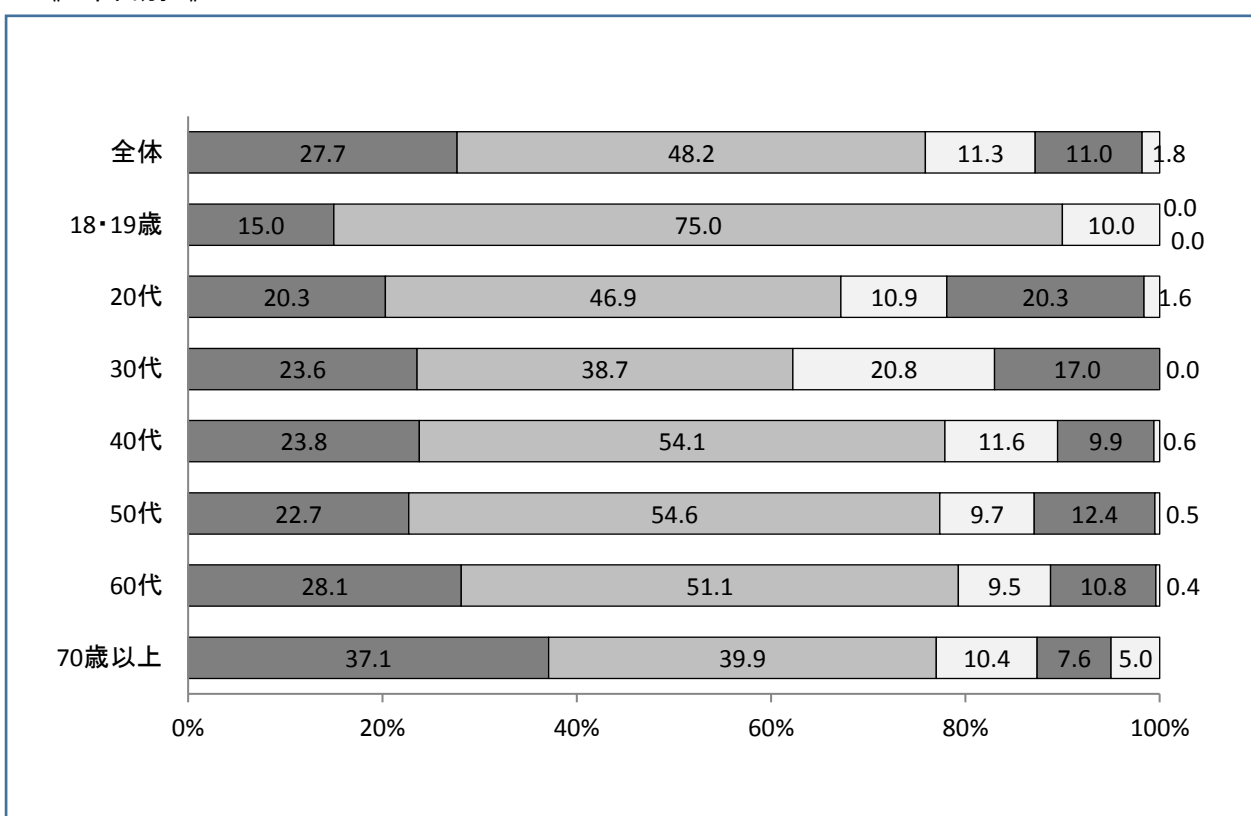
(5) 子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい

- 「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とする割合は、75.9%となっている。
(参考：26年度調査 83.5%)
- 「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」割合は、割合は、女性 73.3%、男性 79.1%
で、5.8ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

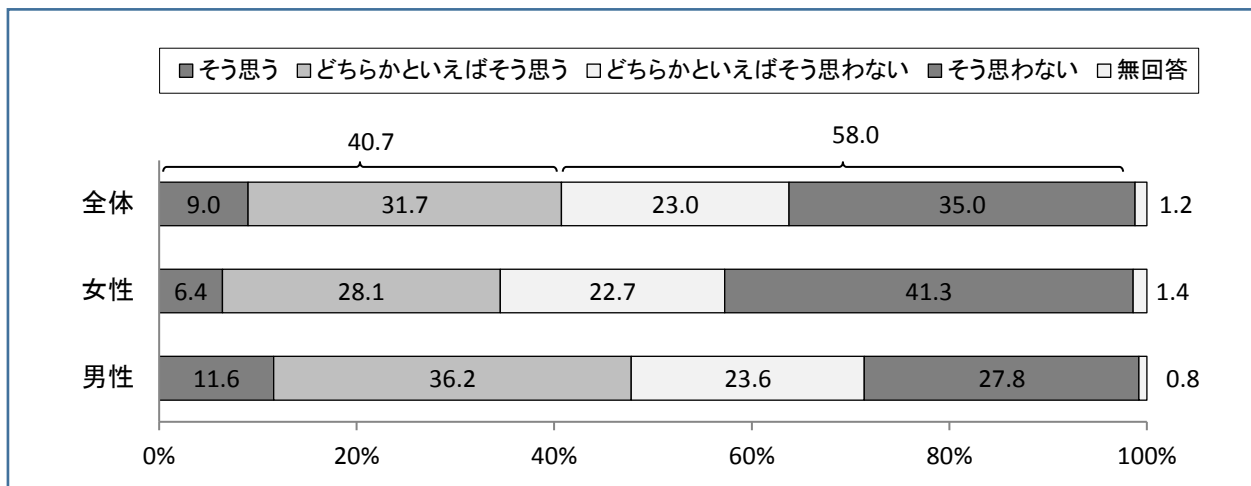


問5 次にあなたはどう思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

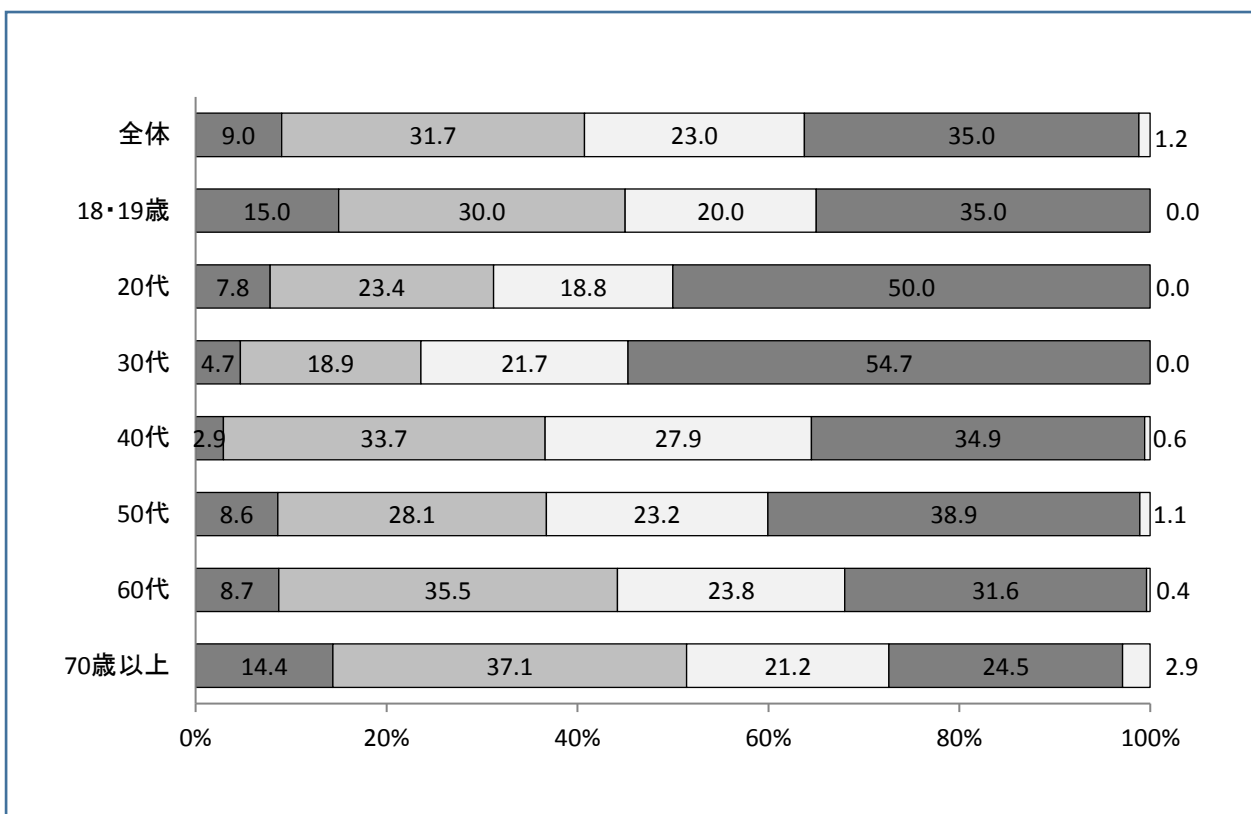
(6) 子どもは、女の子は優しく、男の子はたくましく育てた方がよい

- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」とする割合は、58.0%となっている。(参考：26年度調査41.0%)
- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」割合は、割合は、女性64.0%、男性51.4%で、12.6ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 年代別 》

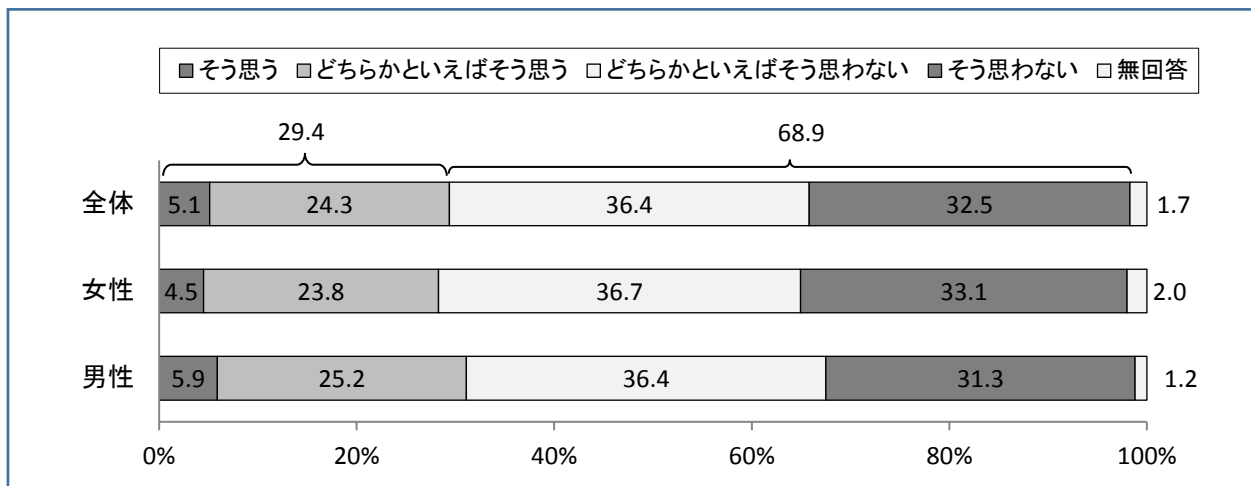


問5 次についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

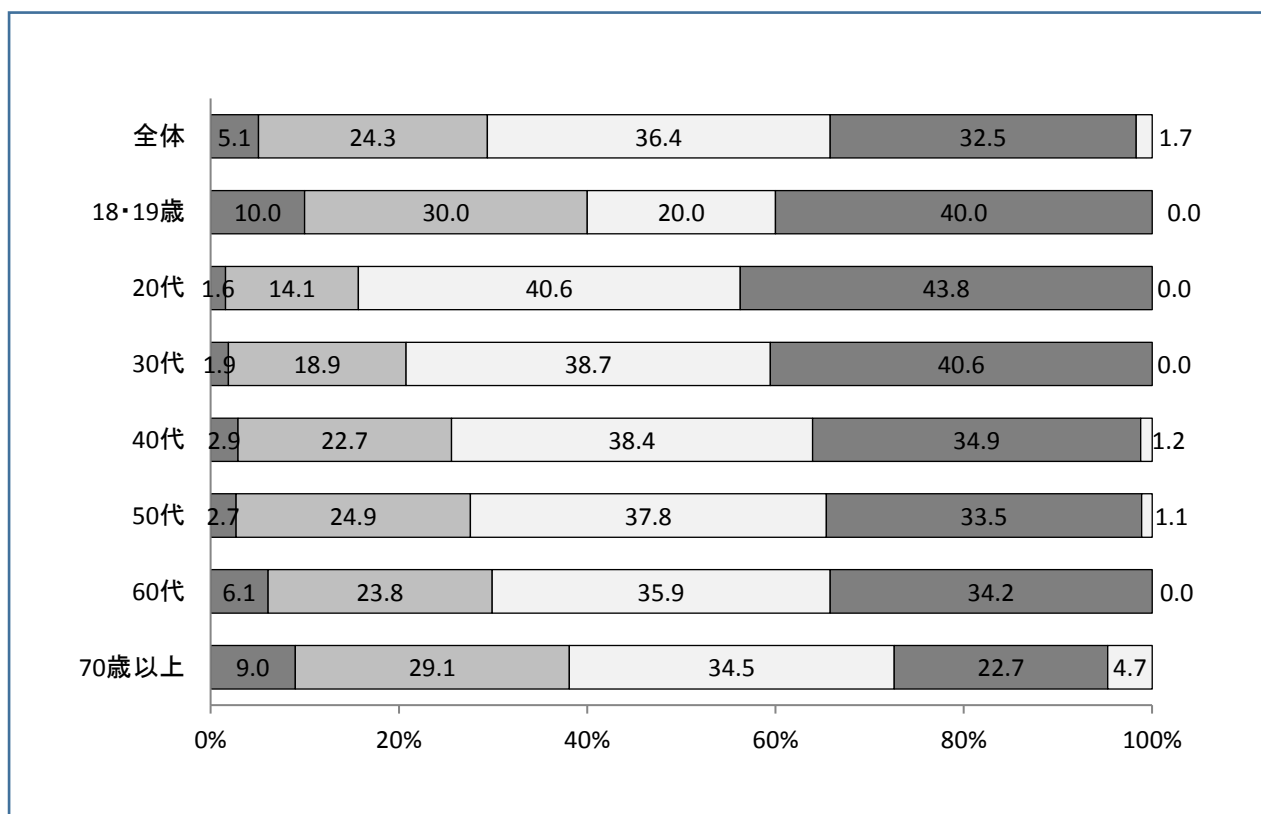
(7) しきたりや慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ

- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」とする割合は、68.9%となっている。（参考：26年度調査53.8%）
- 「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」割合は、割合は、女性69.8%、男性67.7%となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



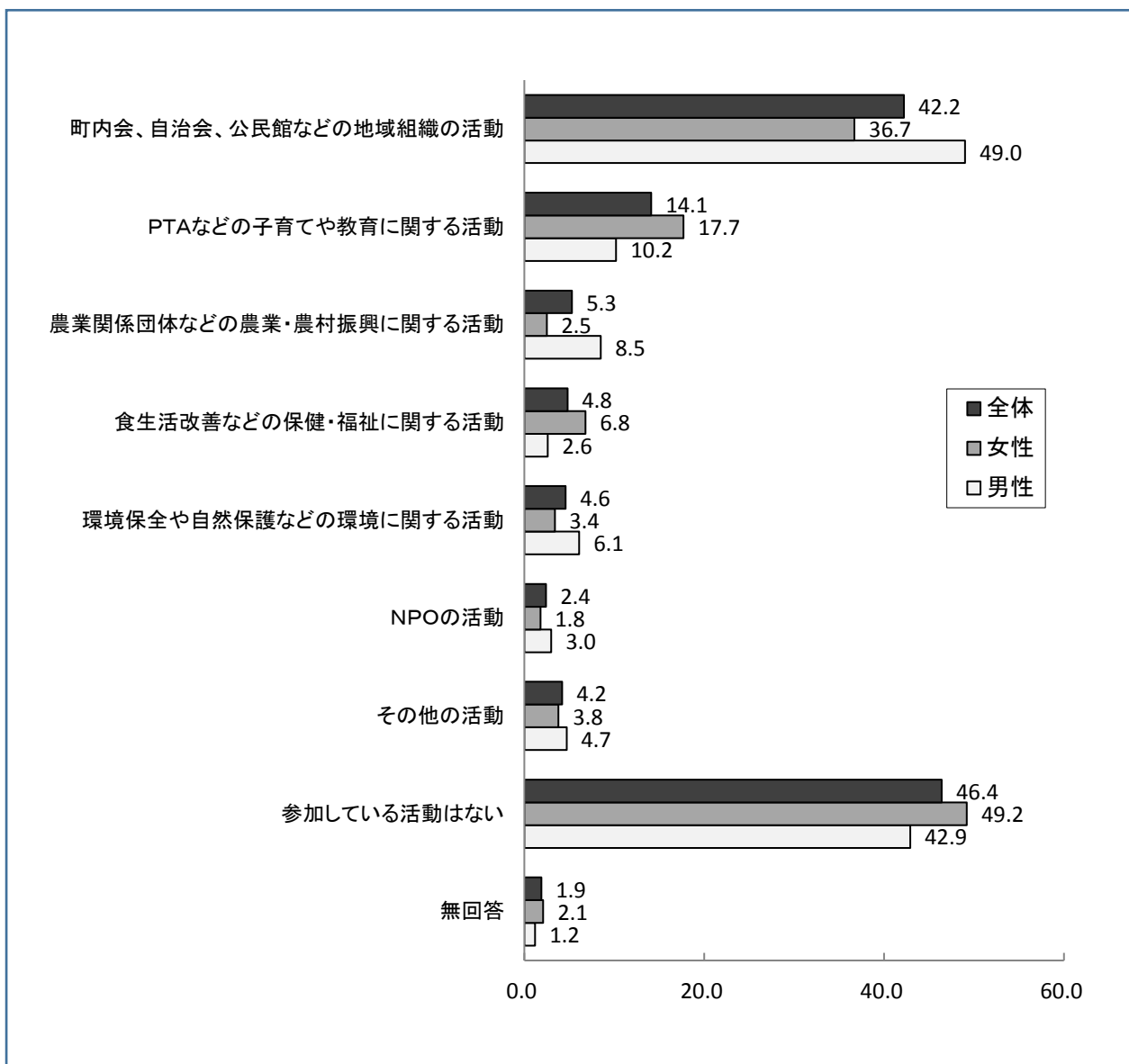
【4】地域活動参加状況について

問6 あなたが現在参加している活動について、おたずねします。

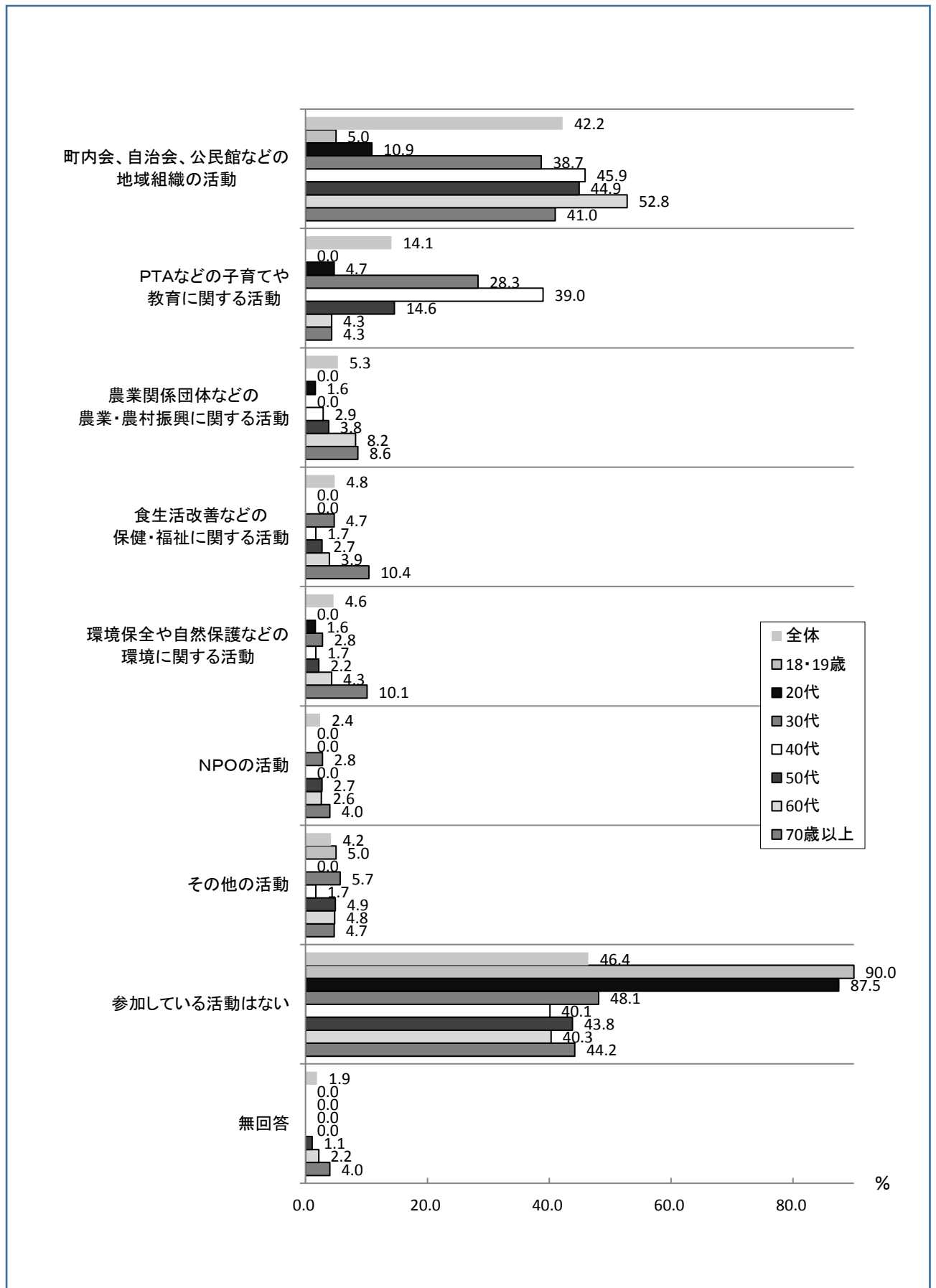
(1) 次の中から、あなたが参加している活動を全てあげてください。

- 「町内会、自治会、公民館などの地域組織の活動」に参加している割合は、男性 49.0%、女性 36.7%で、12.3 ポイントの差となっている。
- 「参加している活動はない」割合は、女性 49.2%、男性 42.9%で、6.3 ポイントの差となっている。
- 年代別では、「参加している活動はない」割合が18・19歳で90.0%と最も高く、次いで20代で87.5%となっている。
- 前回調査結果と比較してみると、大きな差異は見られない。

《 性別 》



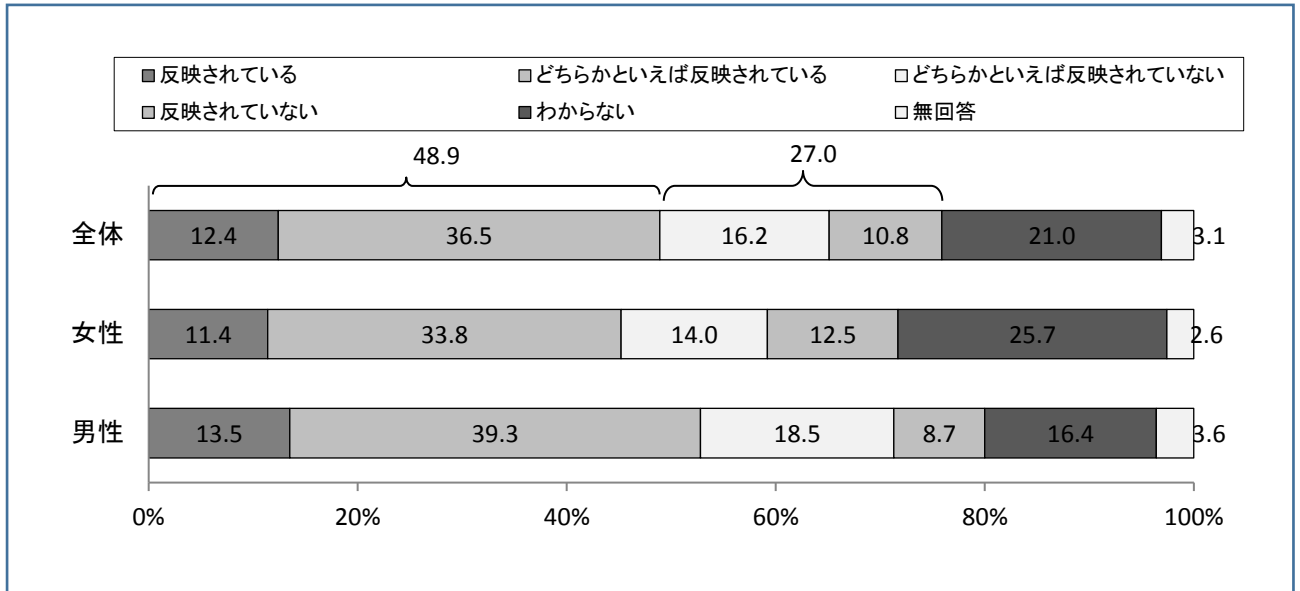
《 年代別 》



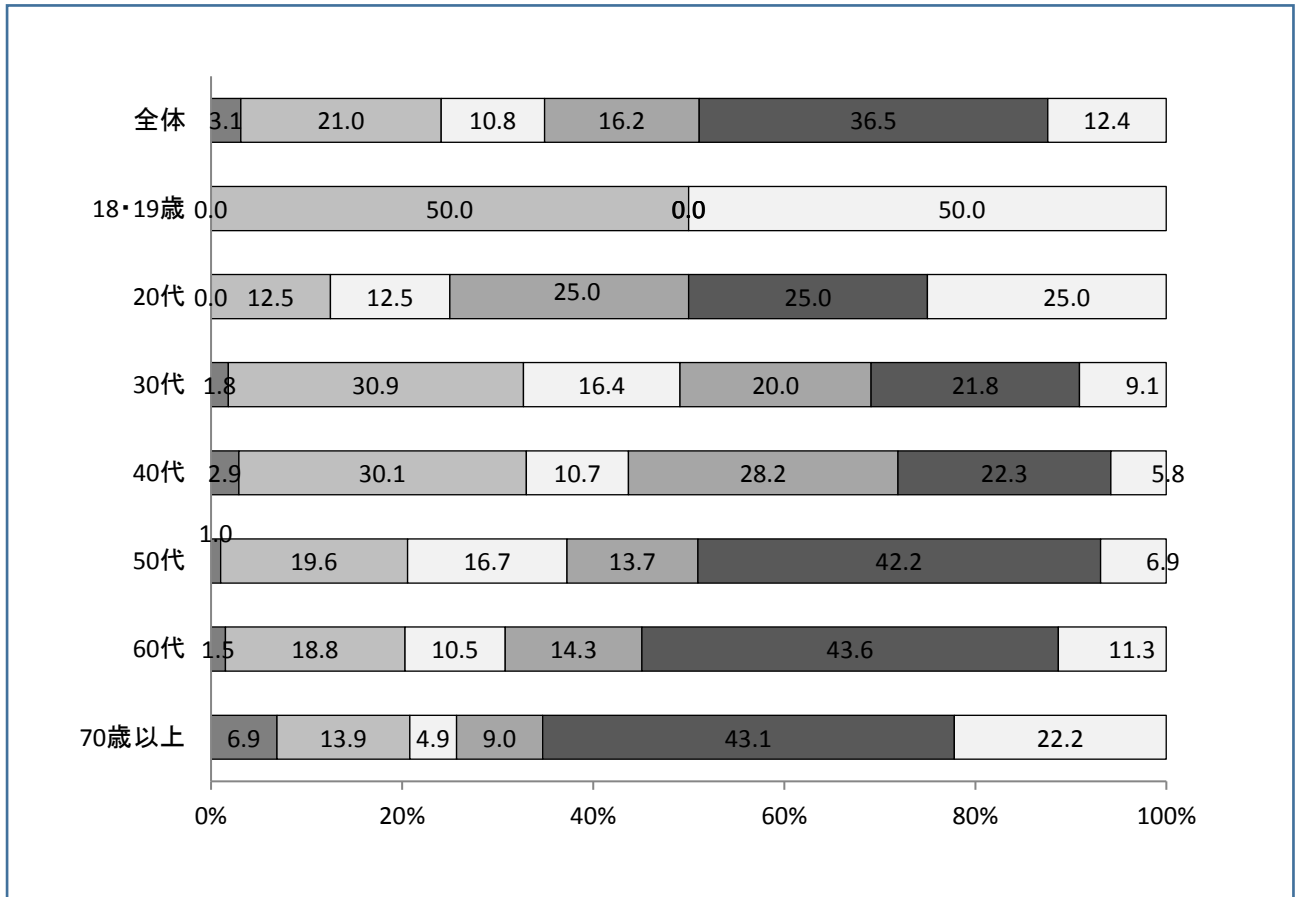
問7 問6で参加している活動を選んでいただいた方におたずねします。あなたが参加している団体の活動方針や政策に自分の意見は反映されていると思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものを1つ選んでください。(n=548)

- 「反映されている」または「どちらかといえば反映されている」とする割合は、48.9%となっている。
- 「反映されている」または「どちらかといえば反映されている」割合は、男性 52.8%、女性 45.2%で、7.6ポイントの差となっている。

《 性別 》



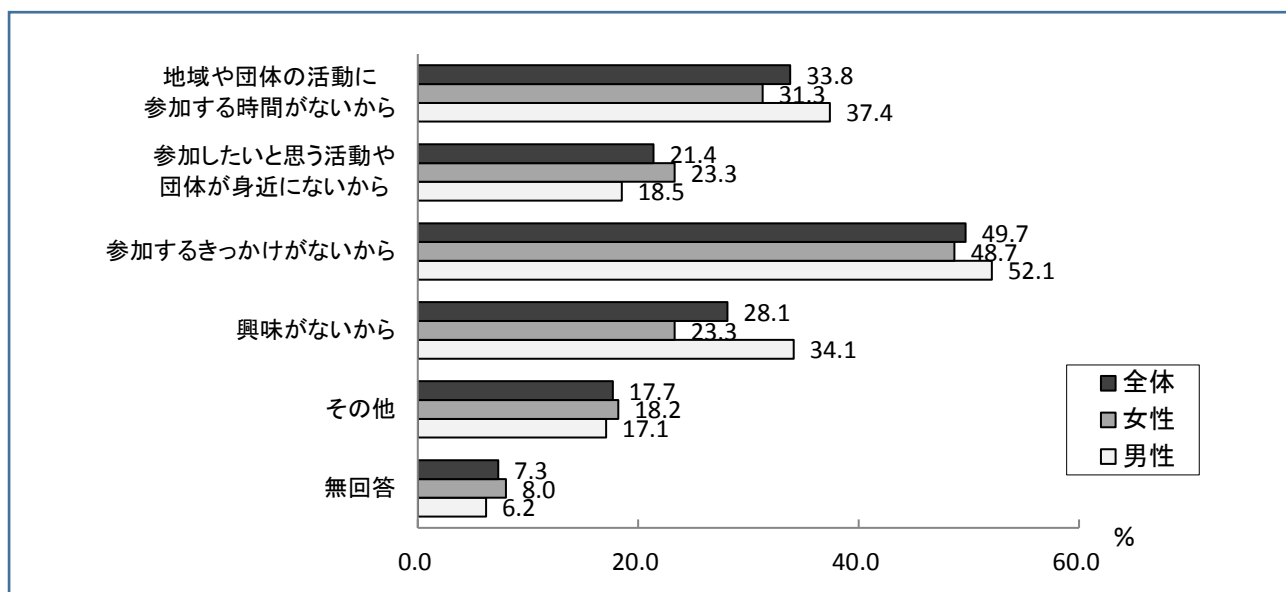
《 性別 》



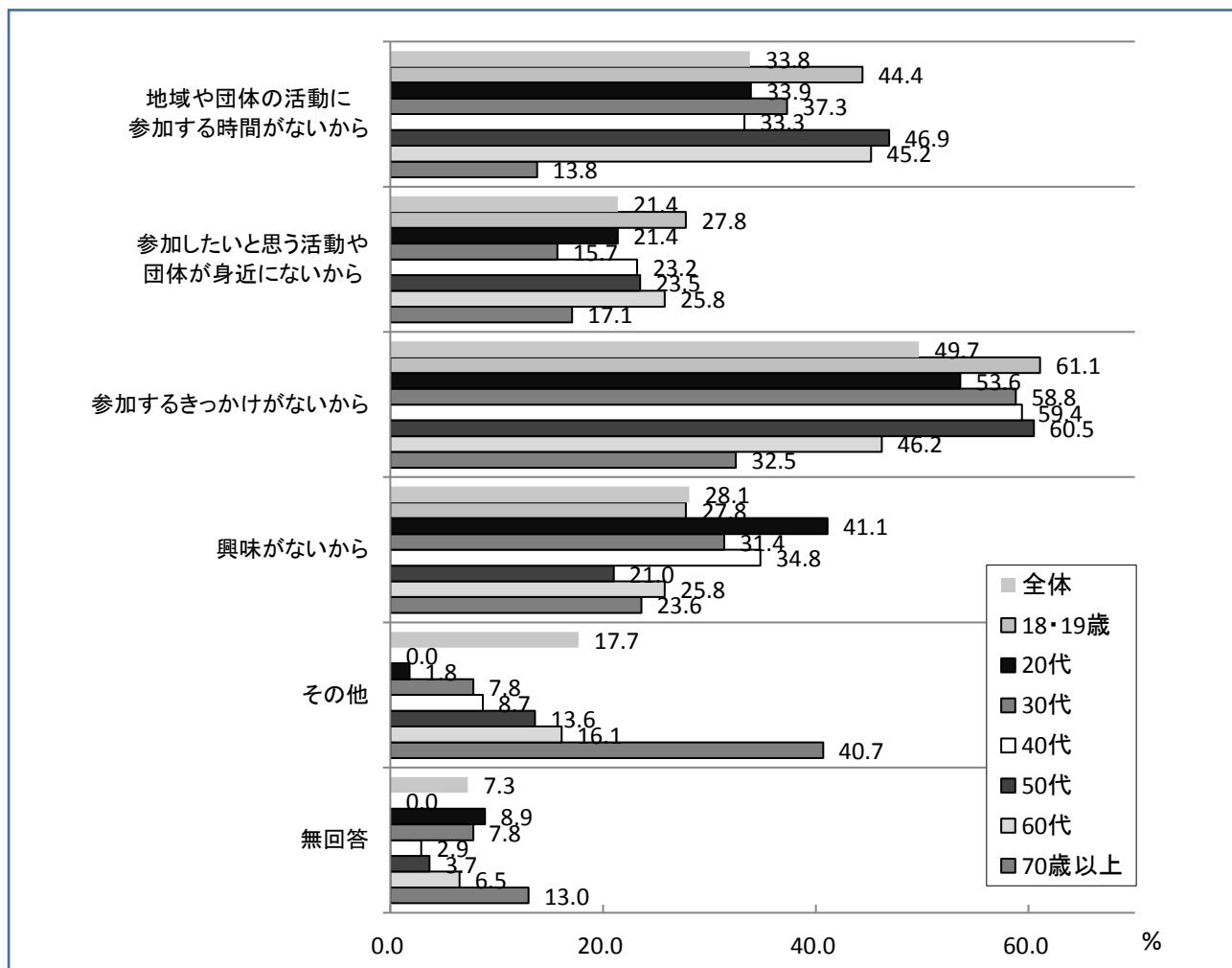
問8 問6で参加している活動はないとお答えいただいた方におたずねします。参加していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(n=491)

- 男女とも「参加するきっかけがないから」の割合が最も高くなっている。
- 「興味がないから」の割合は、男性34.1%、女性23.3%で、10.8ポイントの差となっている。

《 性別 》



《 性別 》

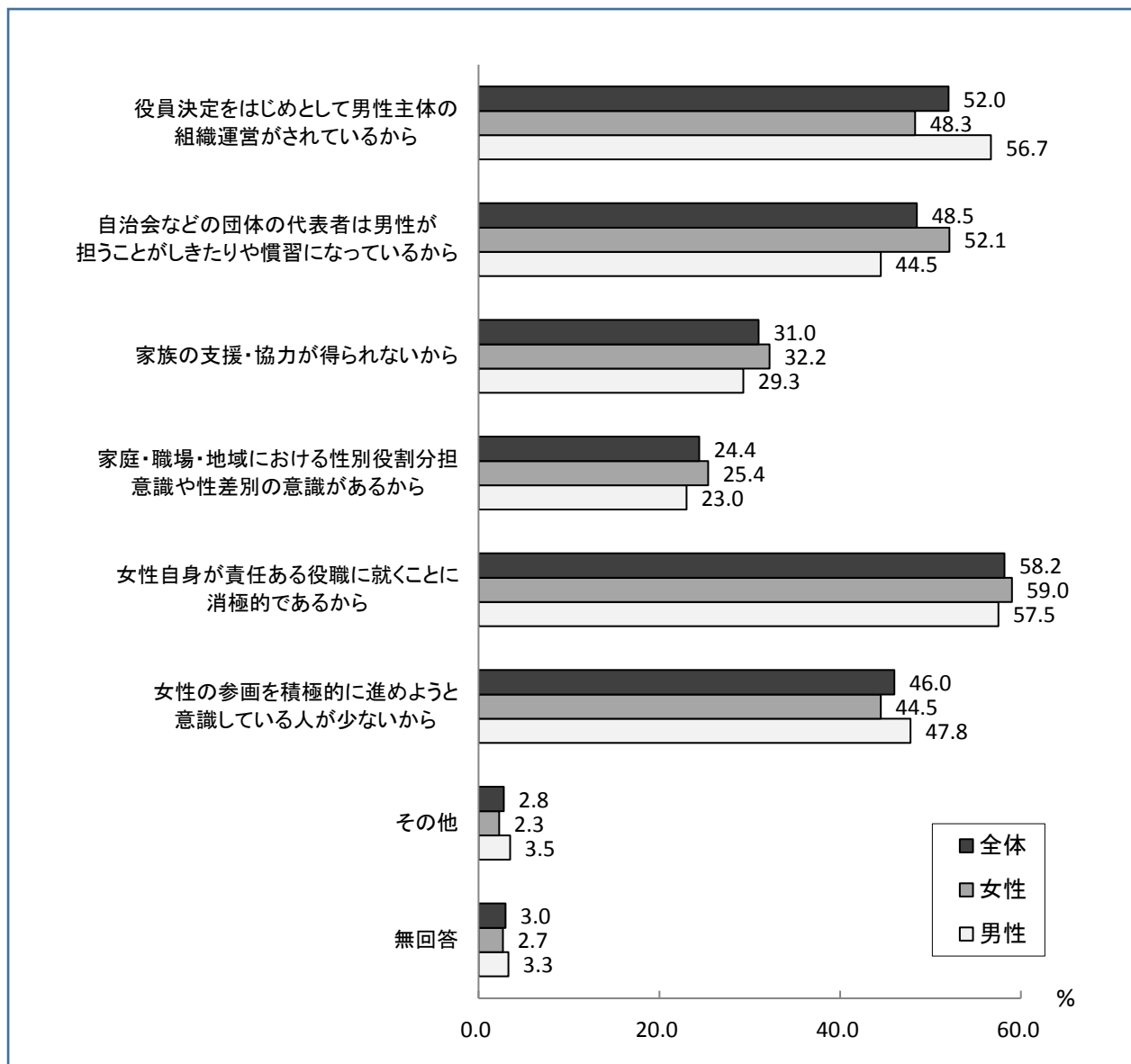


【4】政策・方針決定について

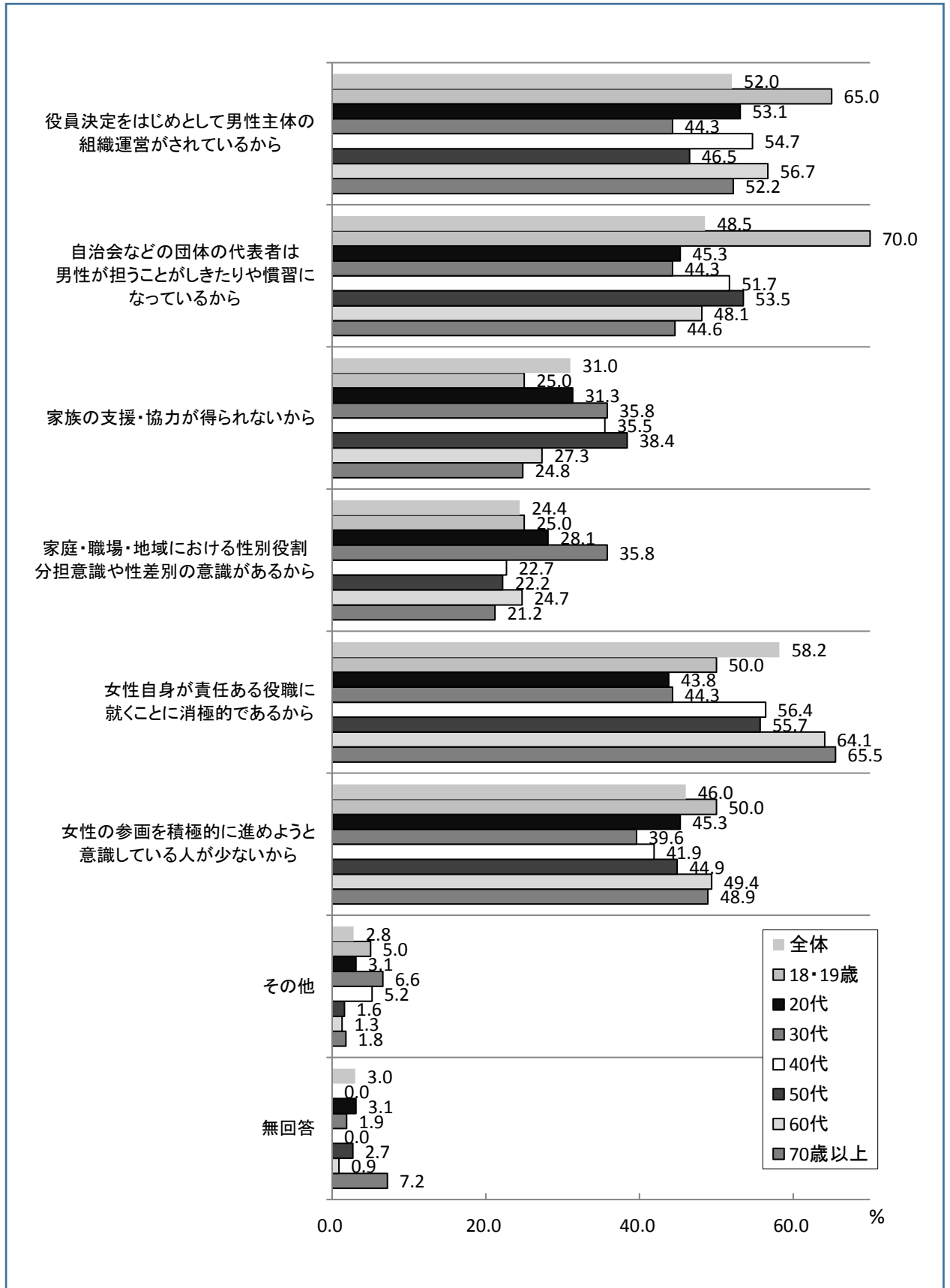
問9 女性の社会参画は進みつつありますが、町内会や自治会の長、PTA会長などには、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の過程に、女性が少ない理由は何だと思えますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- 男女とも「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」の割合が最も高く、次いで「役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから」の割合が高くなっている。
- 年代別では、20代で「役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから」、40代以上の全ての年代で、「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」の割合が最も高くなっている。

《 性別 》



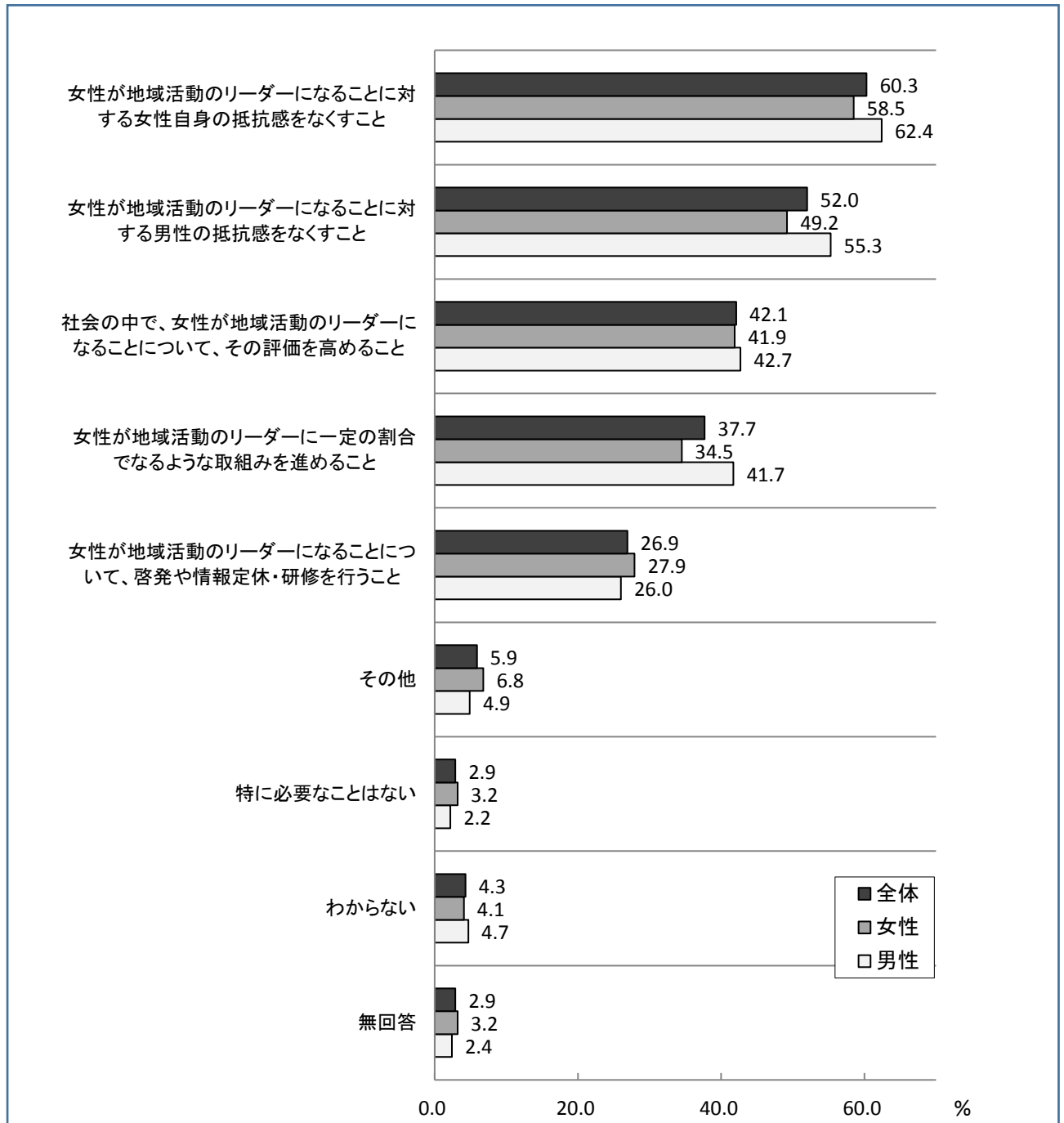
《 年代別 》



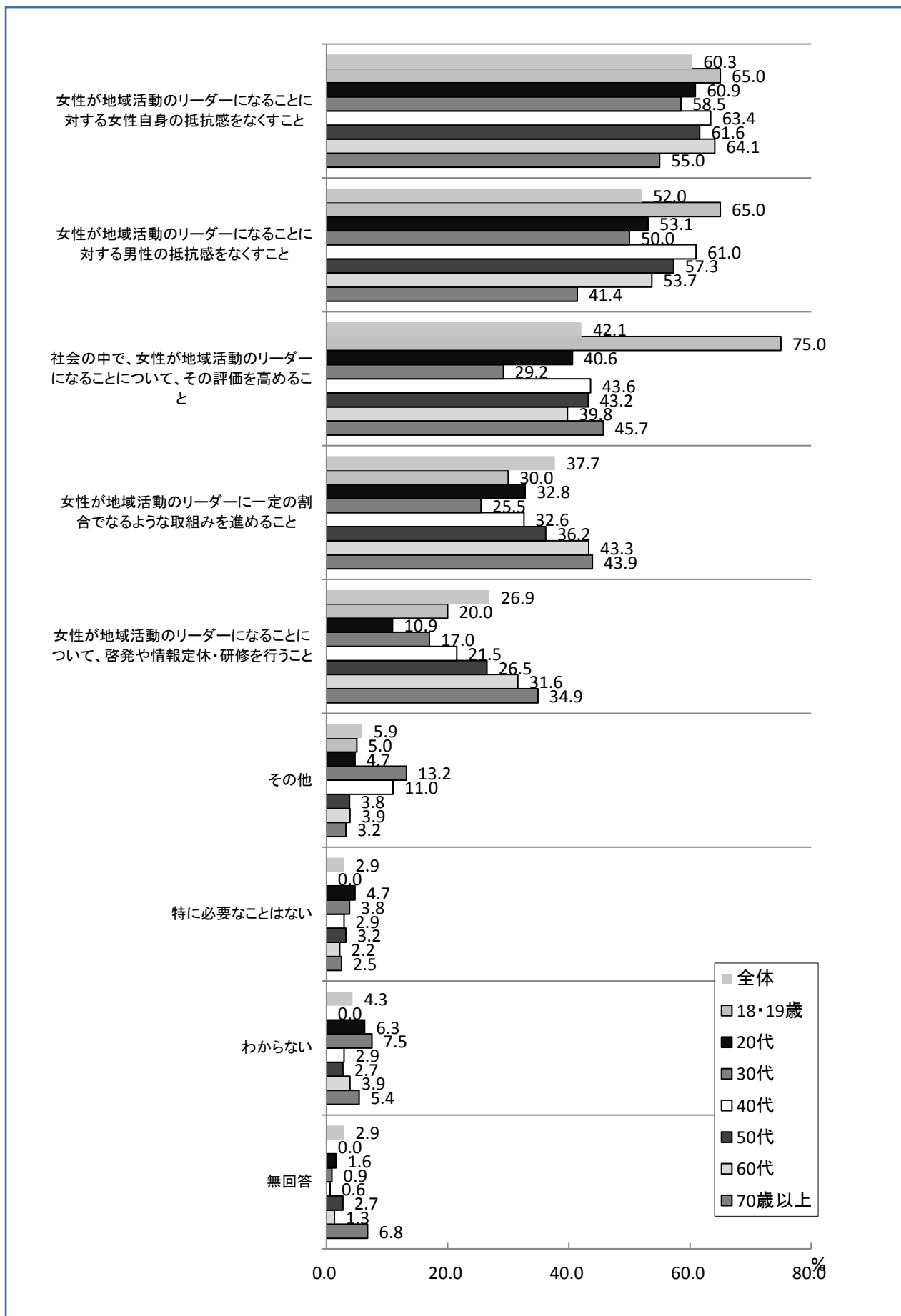
問10 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- 男女とも、「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が高くなっています。
- 「女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組みを進めること」の割合は、女性34.5%、男性41.7%で、7.2ポイントの差となっています。

《 性別 》



《 年代別 》

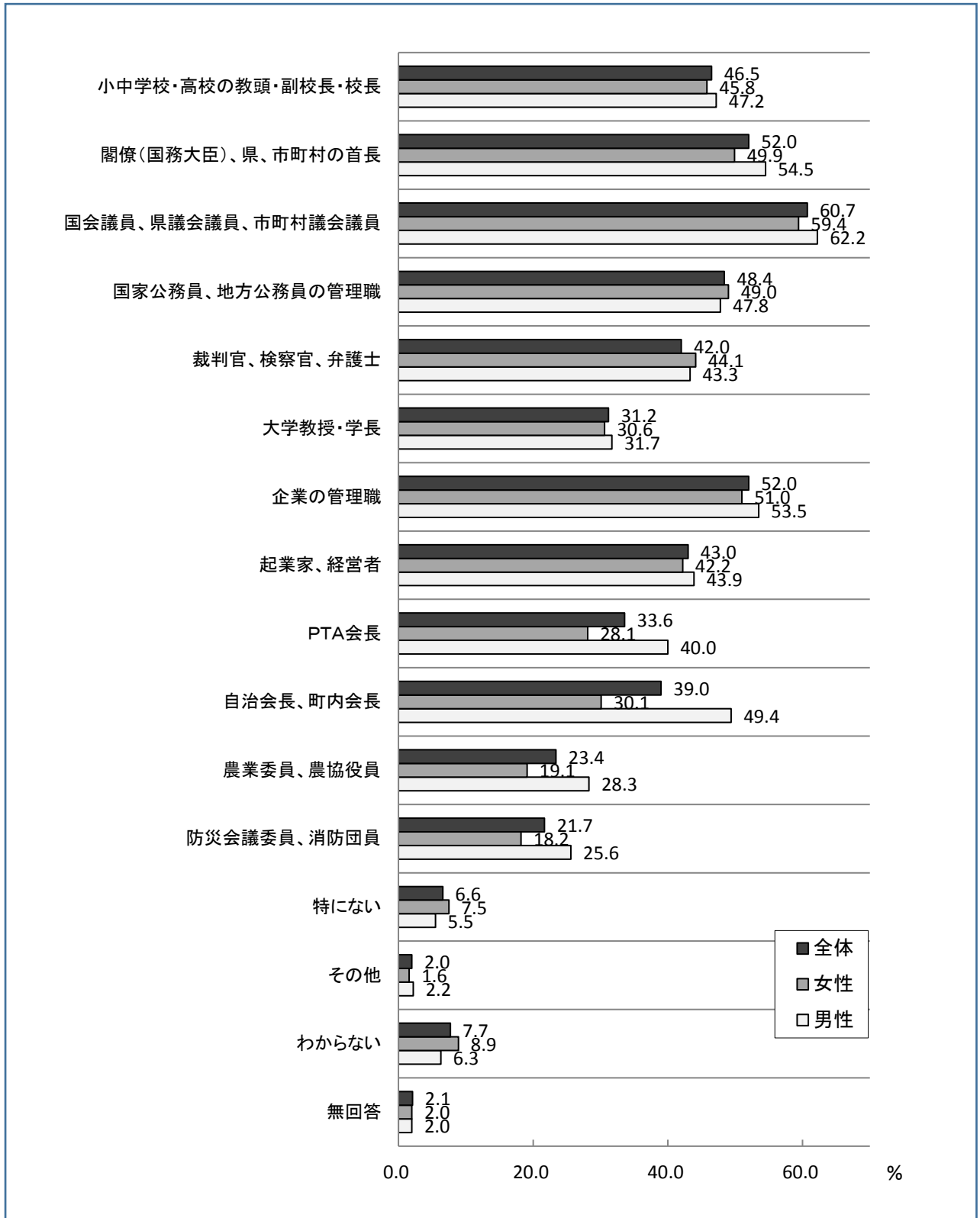


問11 あなたが、次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。この中からいくつでもあげてください。

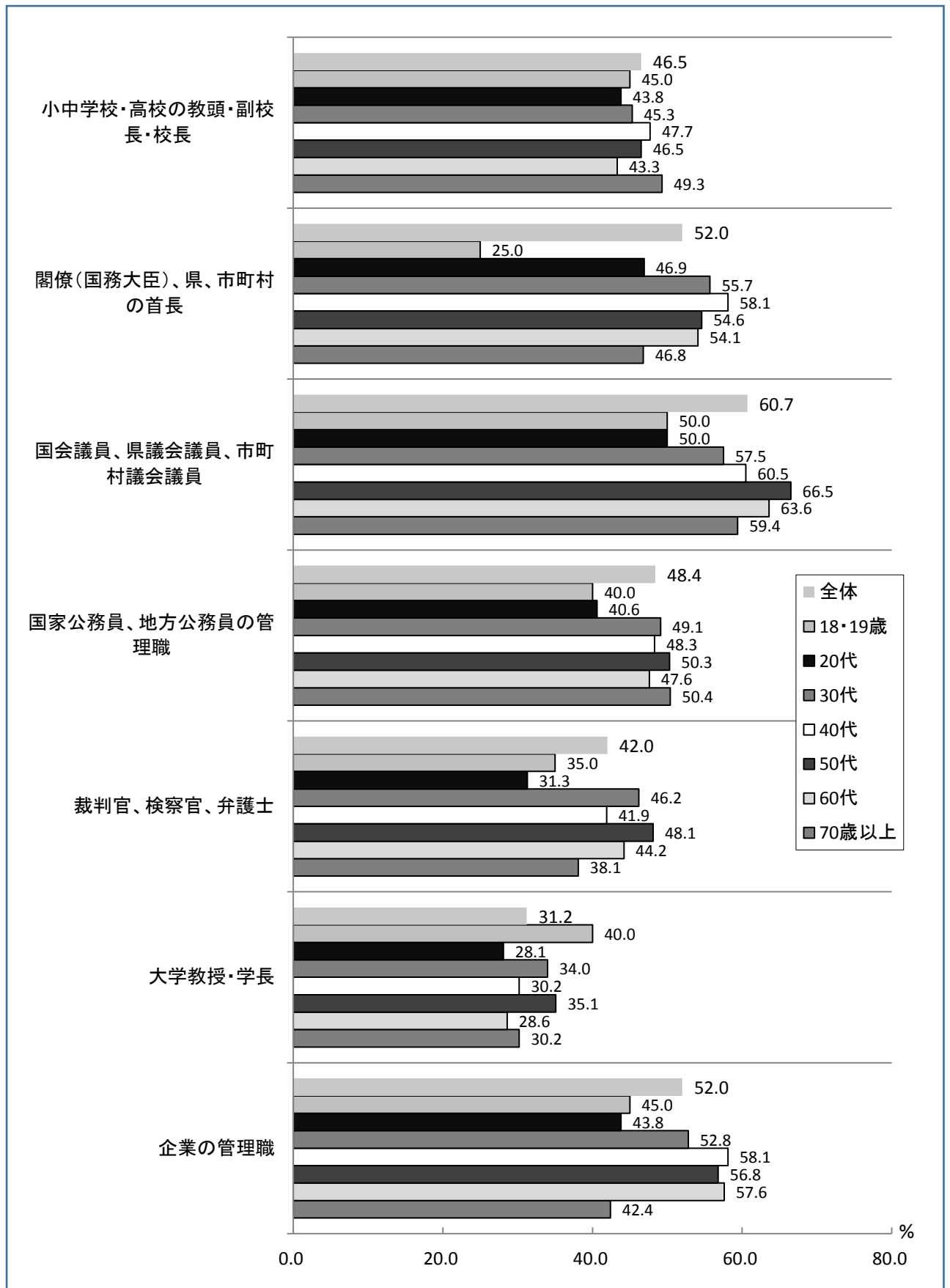
●男女別で割合の差が大きいものは、「自治会長・町内会長」で19.3ポイント、「PTA会長」11.9ポイントの差で、いずれも男性が女性より高くなっている。

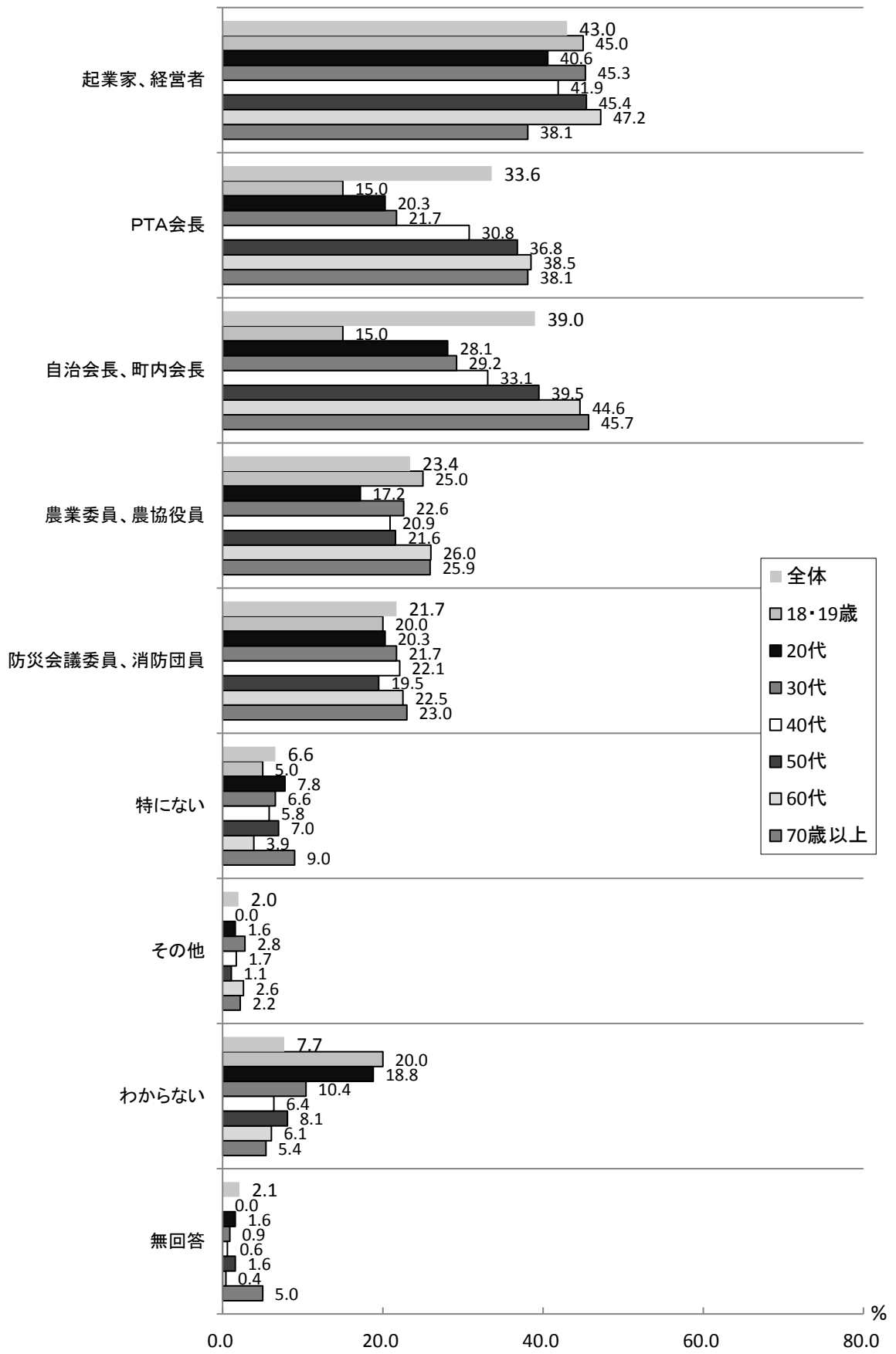
●「国家公務員、地方公務員の管理職」は、女性49.0%、男性47.8%で女性が男性より高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

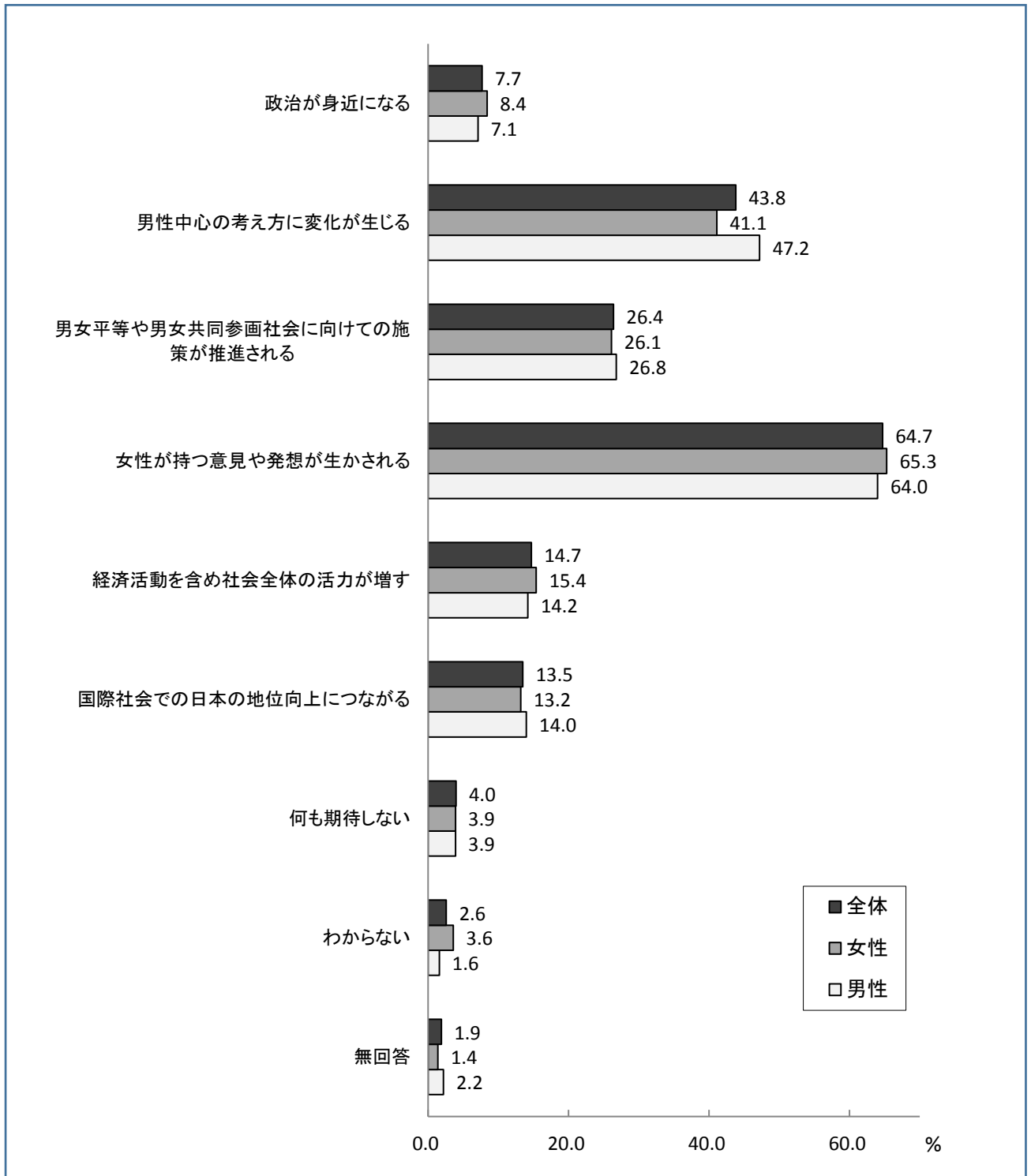




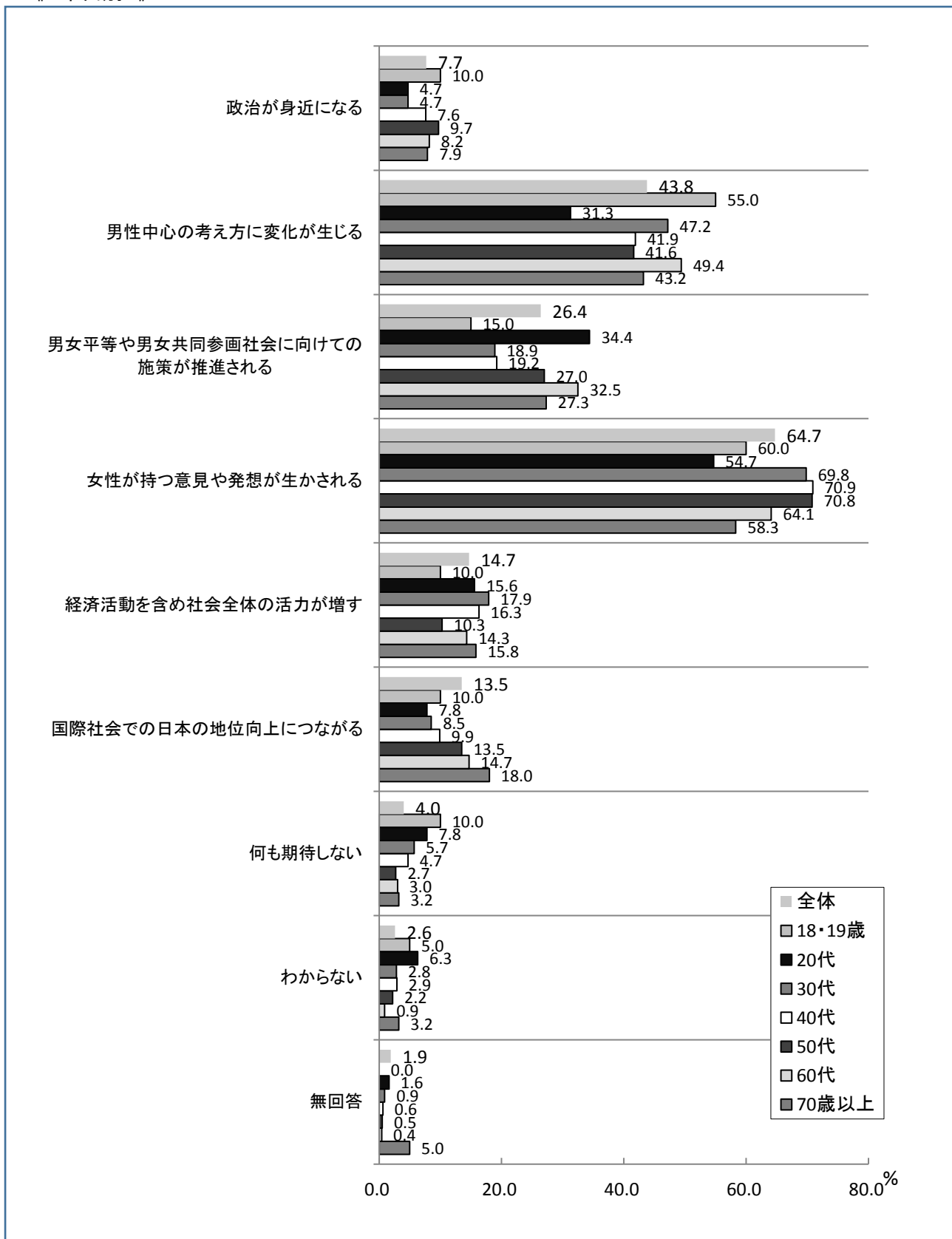
問12 あなたは、政策方針決定の場に女性が増えることで何を期待しますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを2つ選んでください。

- 男女とも「女性が持つ意見や発想が活かされる」の割合が最も高く、次いで「男性中心の考え方に変化が生じる」の割合が高くなっている。
- 年代別では、20代で「男女平等や男女共同参画社会に向けての施策が推進される」割合が34.4%と、他の年代より高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

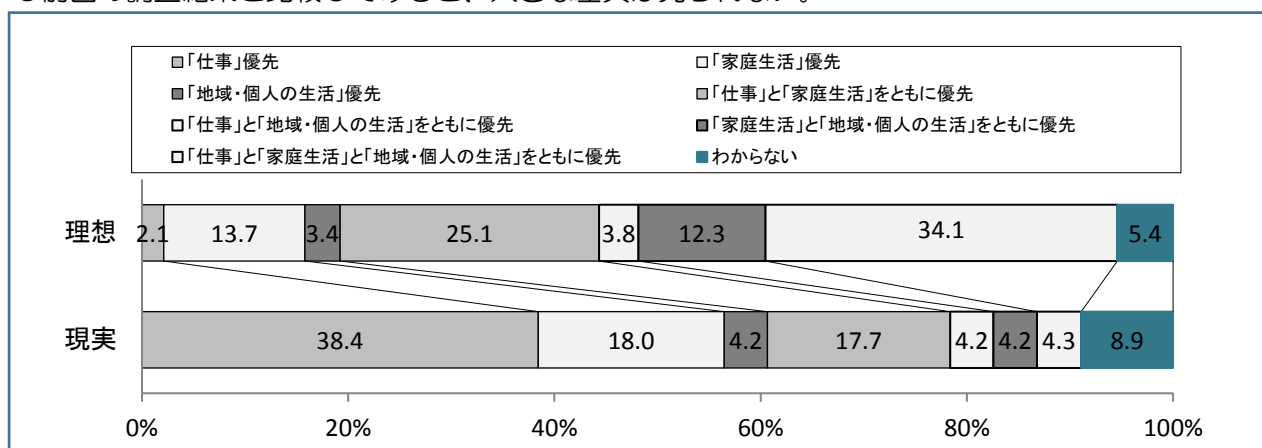


【6】ワーク・ライフ・バランスについて

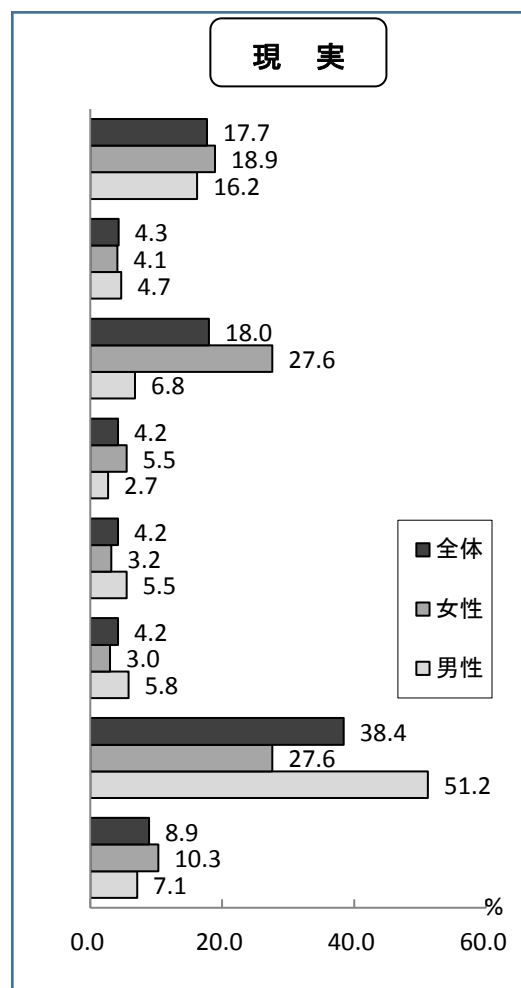
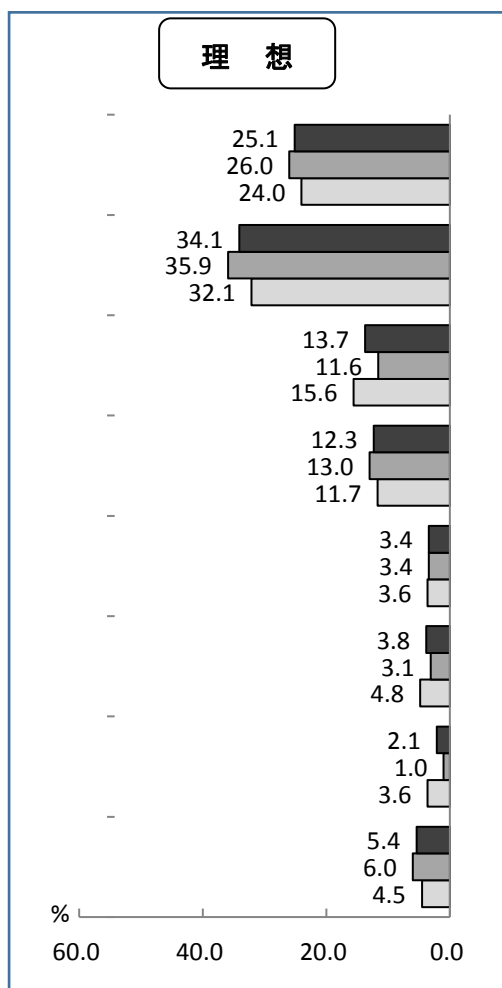
問 13 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についておたずねします。

- (1) あなたが理想とする（希望する）生活に最も近いものを1つ選んでください。
- (2) あなたの現実の生活に最も近いものを1つ選んでください。

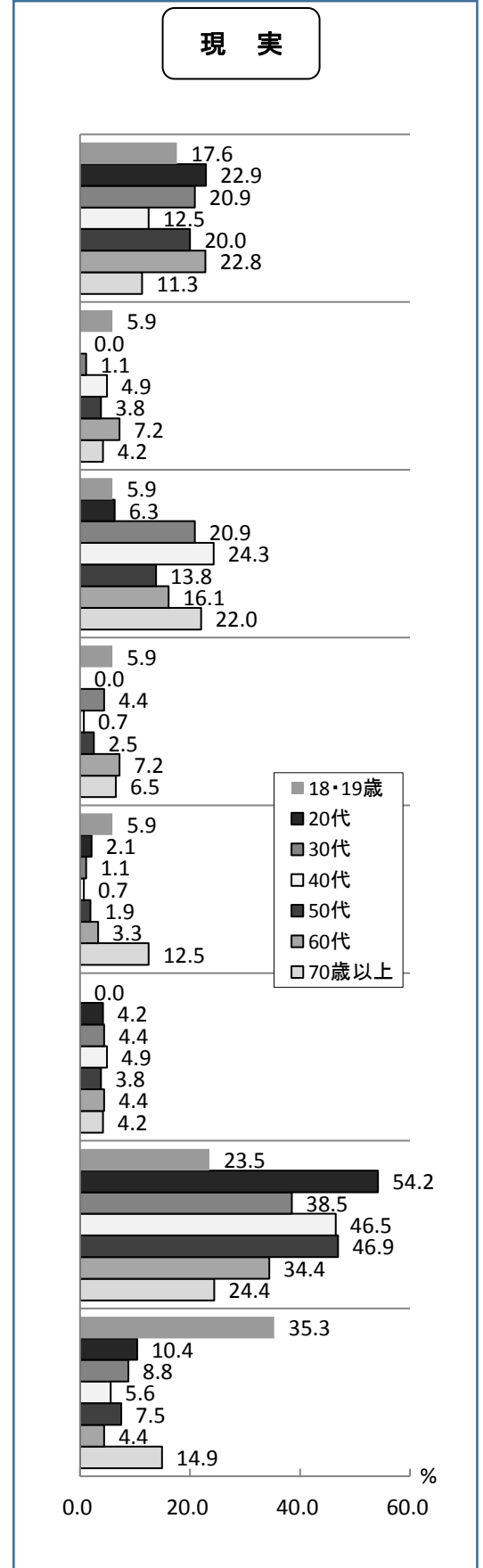
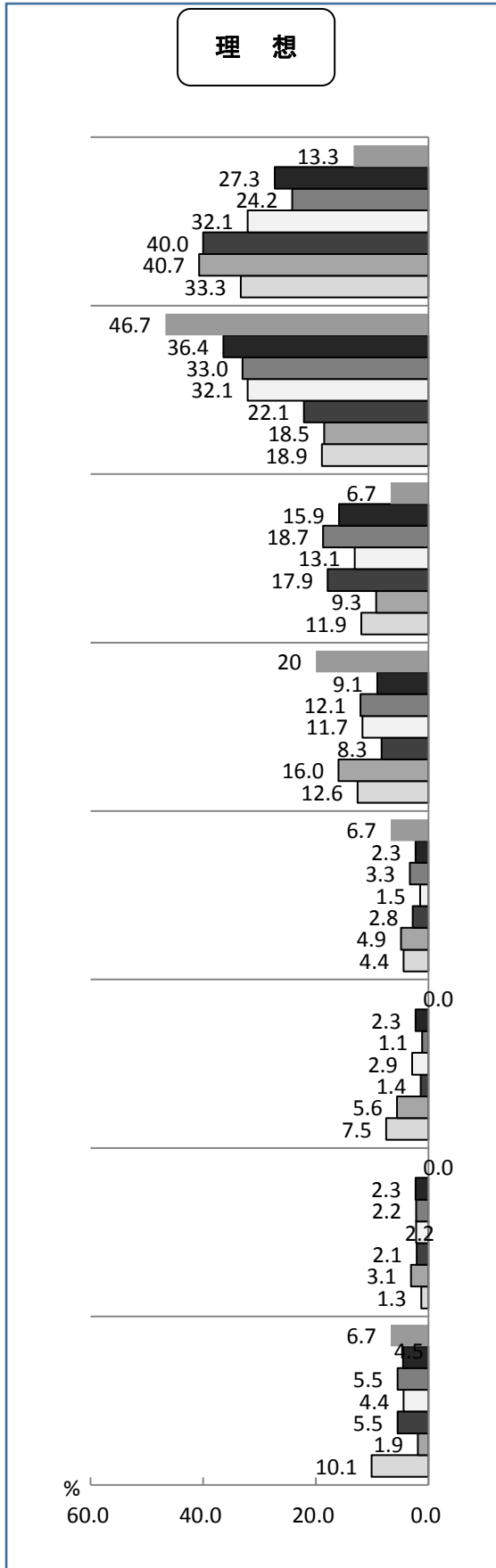
- 「仕事優先」を希望する割合は 2.1%であるが、現実には 38.4%が「仕事優先」となっている。
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」を希望する割合は 34.1%であるが、現実には 4.3%となっている。
- 前回の調査結果と比較してみると、大きな差異は見られない。



《 性別 》



《 年代別 》



《 性別・年代別 》

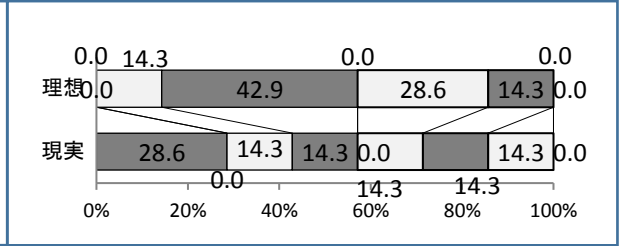
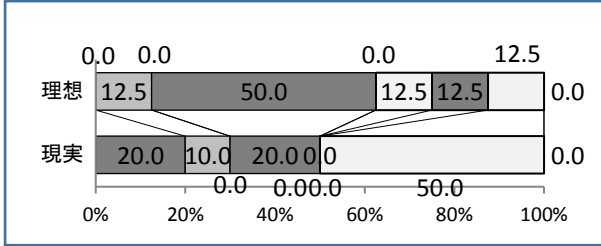
- 「仕事」優先
- 「地域・個人の生活」優先
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- 無回答
- 「家庭生活」優先
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- わからない

《 18・19歳 》

《 女性 》

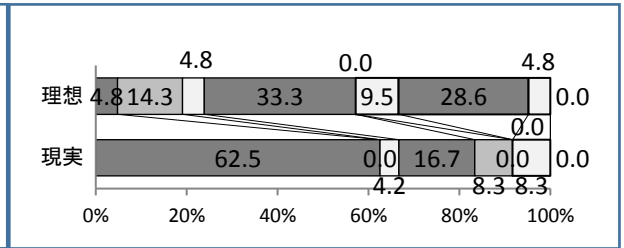
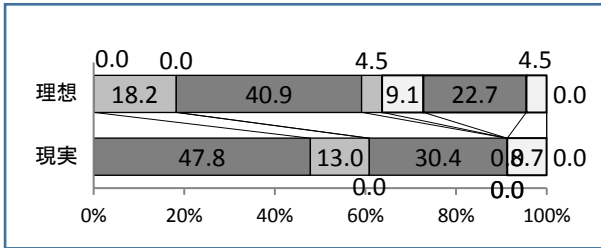
《 18・19歳 》

《 男性 》



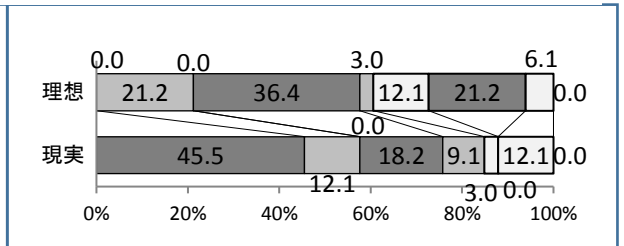
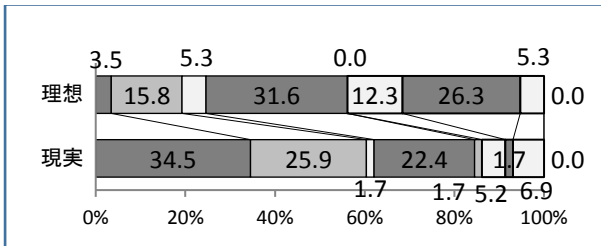
《 20代 》

《 20代 》



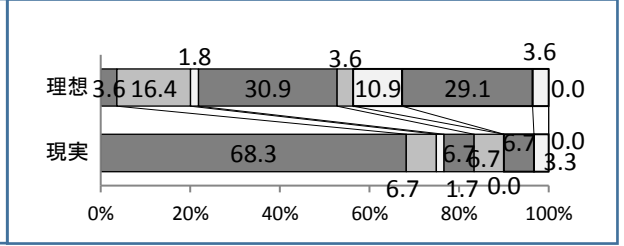
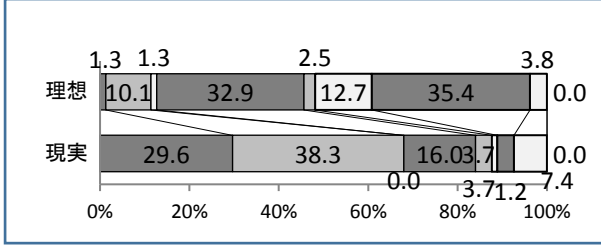
《 30代 》

《 30代 》



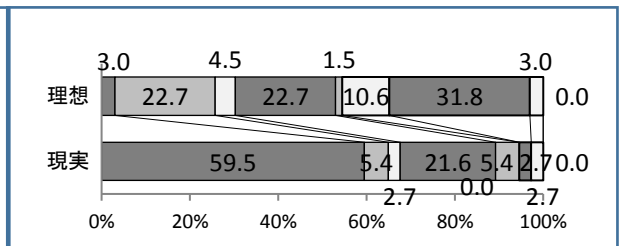
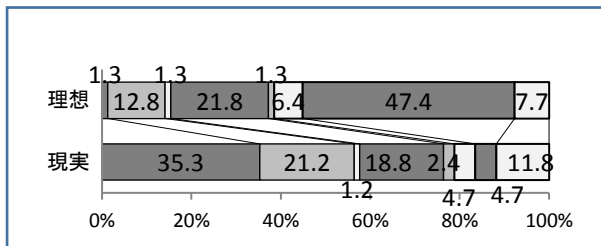
《 40代 》

《 40代 》

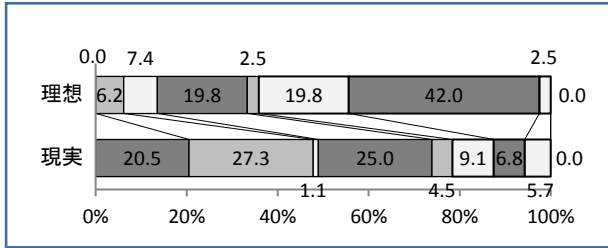


《 50代 》

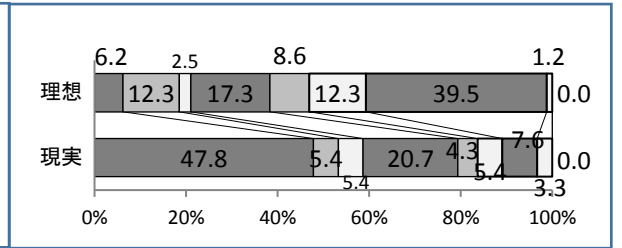
《 50代 》



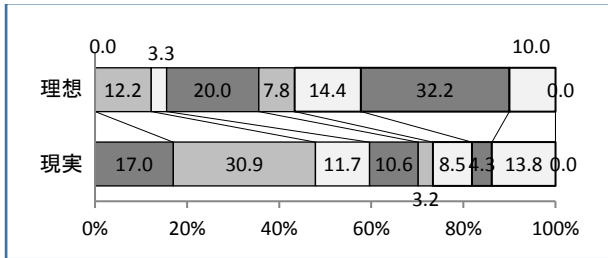
《 60代 》



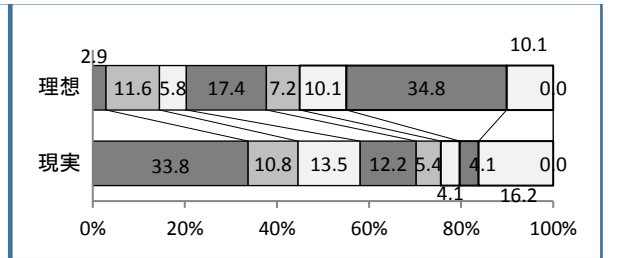
《 60代 》



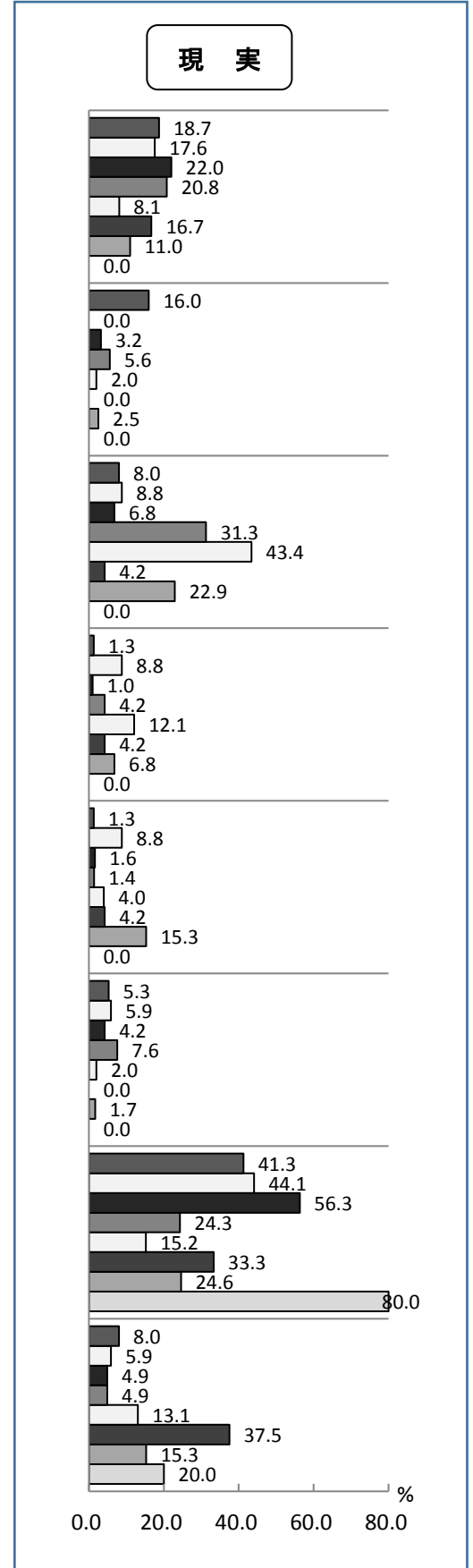
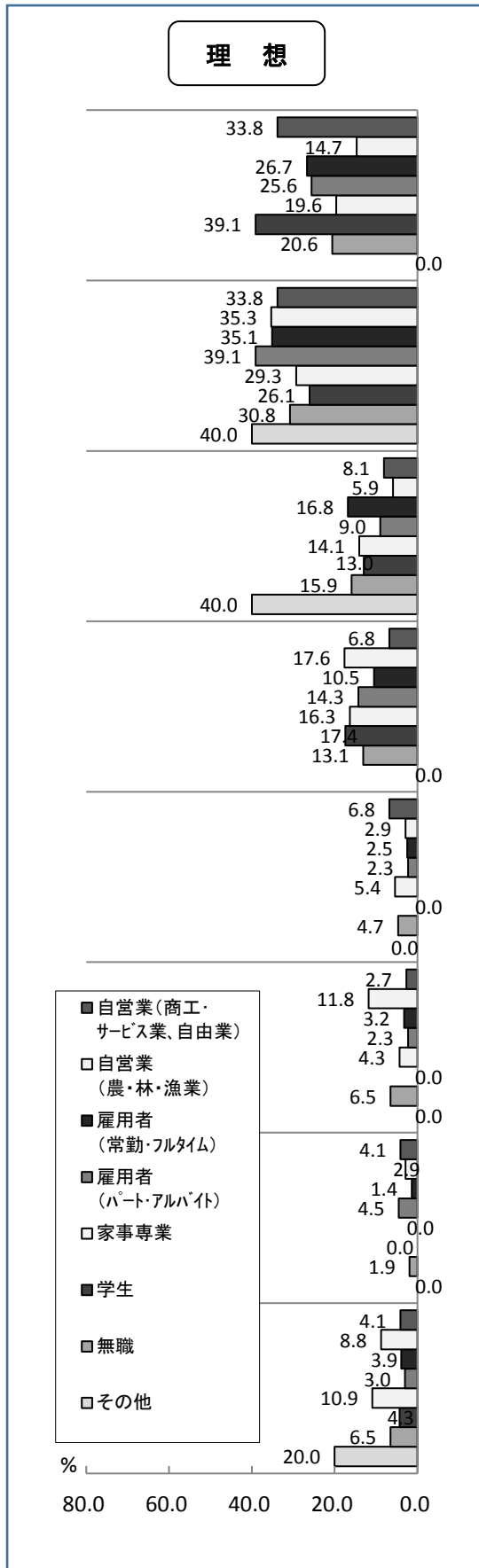
《 70歳以上 》



《 70歳以上 》



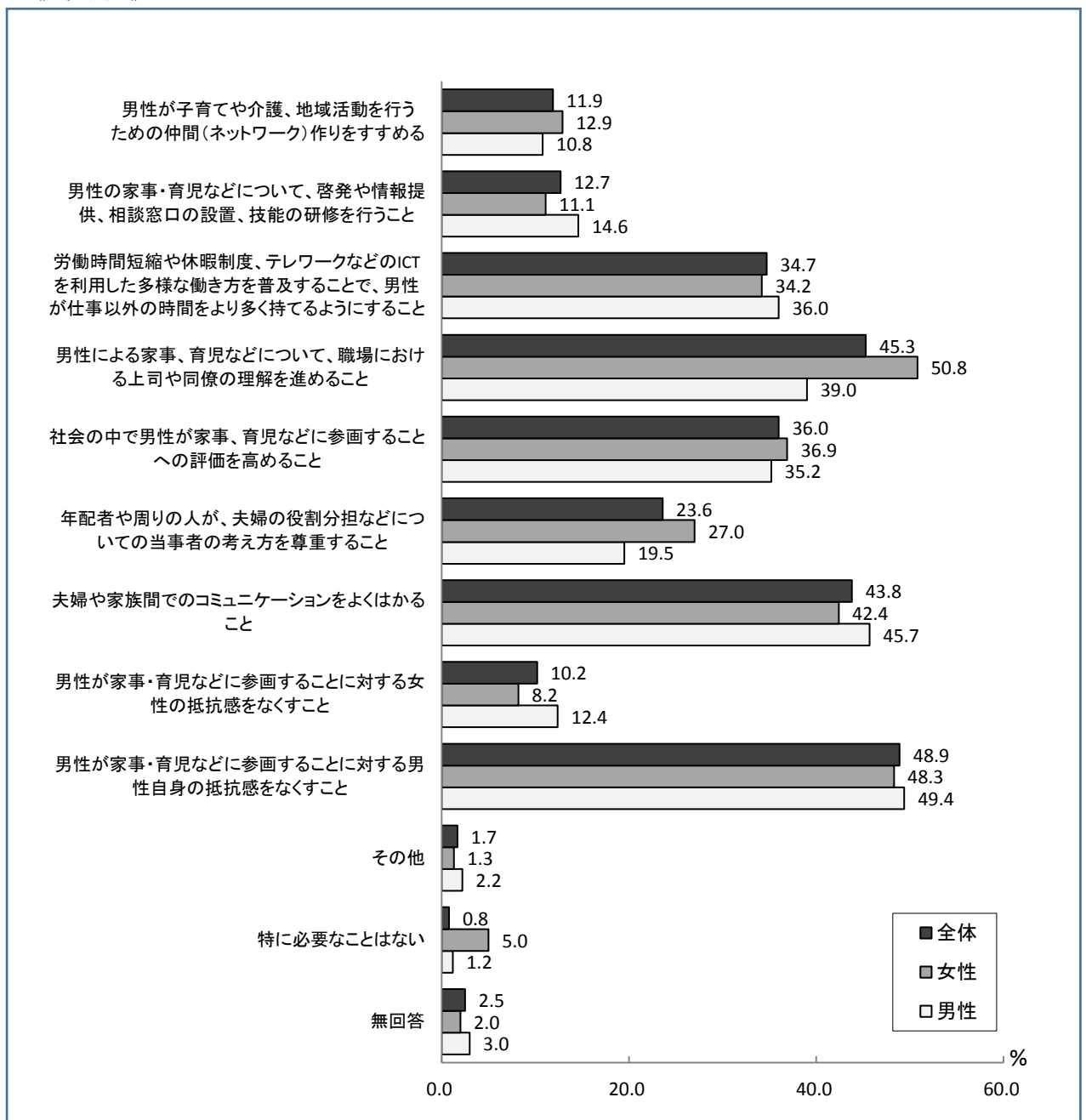
《 職業別 》 (n=808)



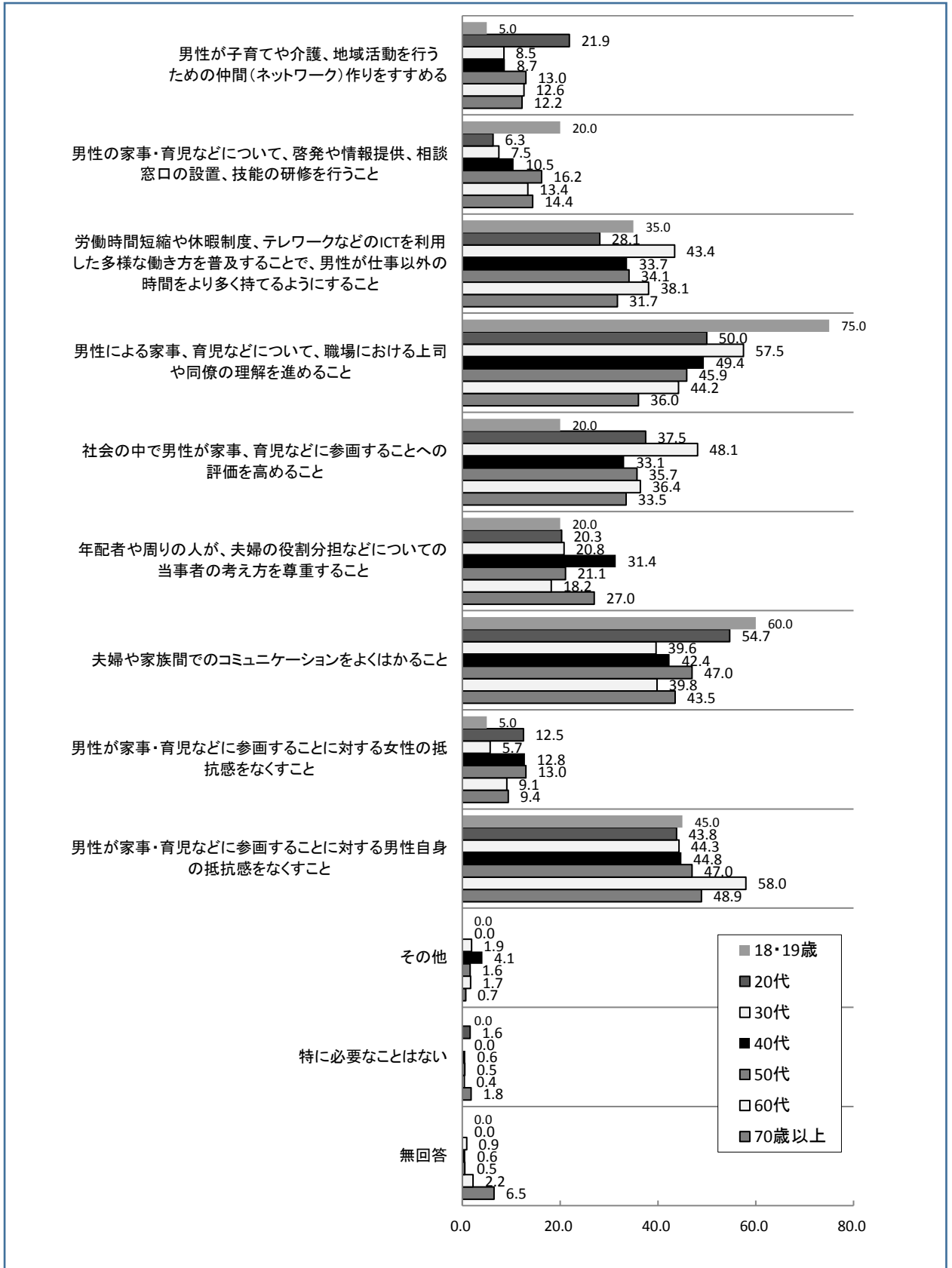
問 14 あなたは、現在、女性が分担する機会が多い家事、子育て、介護等に男性が積極的に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。
あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- 「男性が家事・育児などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が48.9%、「男性による家事、育児などについて、職場における上司や同僚の理解を進めること」が45.3%、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が43.8%となっている。
- 元年度全国調査では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が59.1%、「男性による家事、育児などについて、職場における上司や同僚の理解を進めること」が58.5%、「男性が家事・育児などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が56.0%となっている。
- 年代別では、子育て世代の30代・40代で「男性による家事、育児などについて、職場における上司や同僚の理解を進めること」の割合が高い。

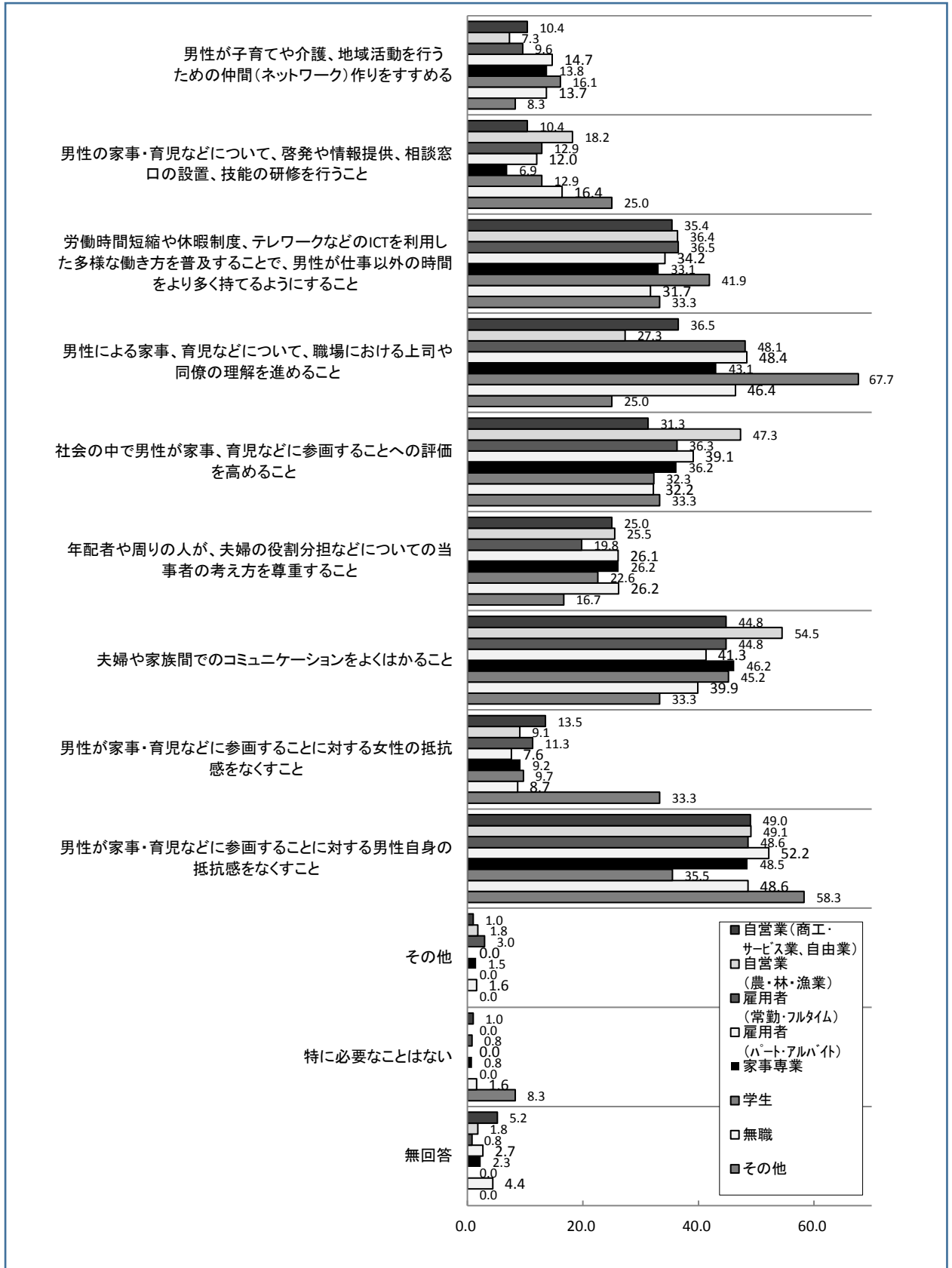
《 性別 》



《 年代別 》



《 職業別 》 (n=808)

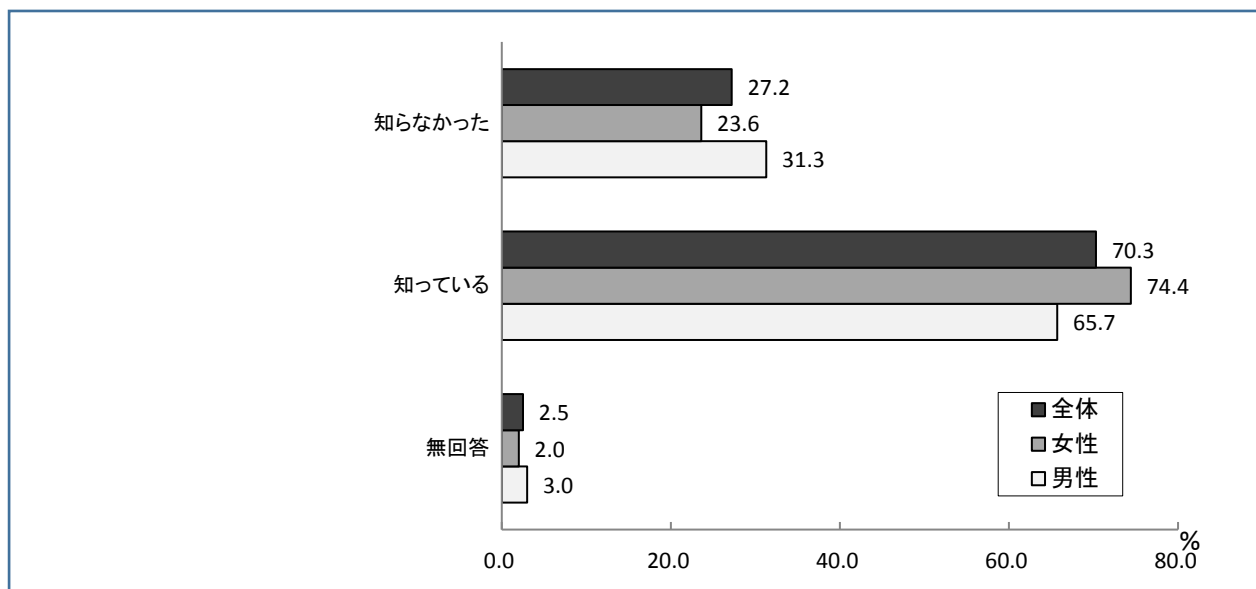


【7】男女間の暴力への対策について

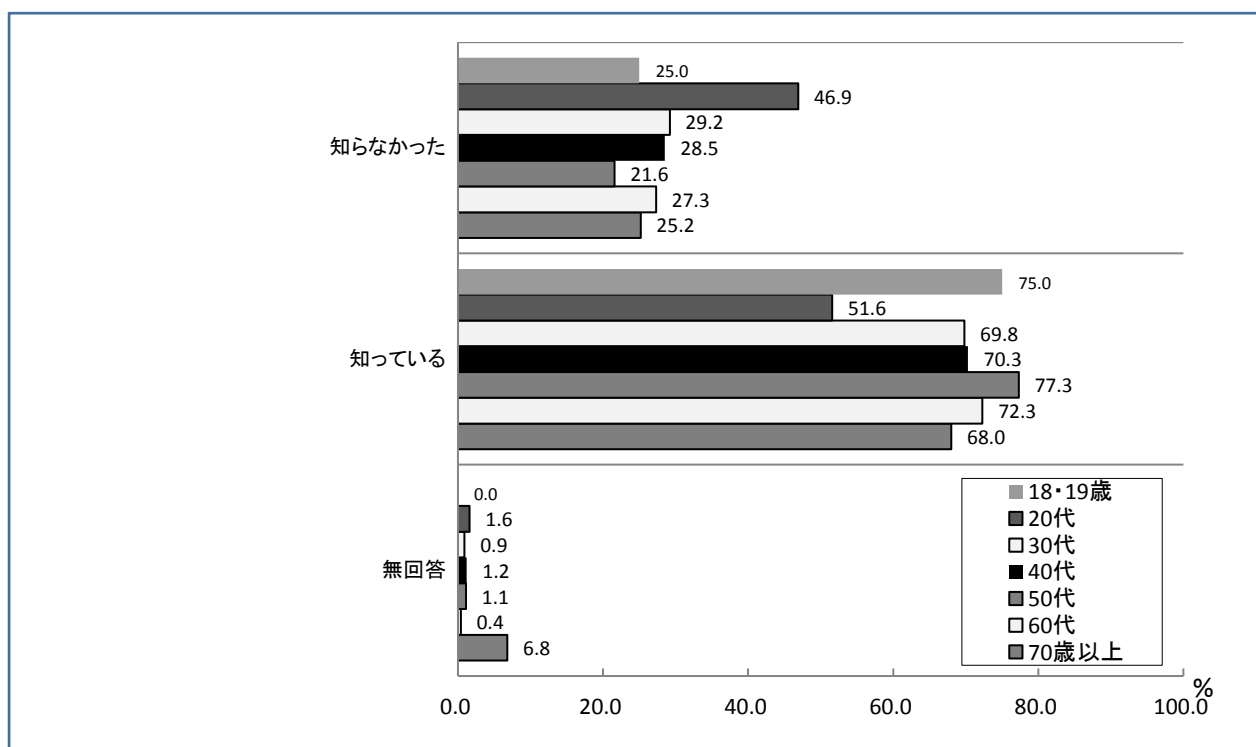
問 15 あなたは、配偶者からの暴力について、相談できる窓口があることをご存知ですか。

- 男女ともに、「知っている」とする割合は、7割を超えている。
- 「知らなかった」割合は、男性31.3%、女性23.6%で、7.7ポイントの差となっている。
- 年代別では、「知らなかった」割合は、20代で46.9%と最も高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》

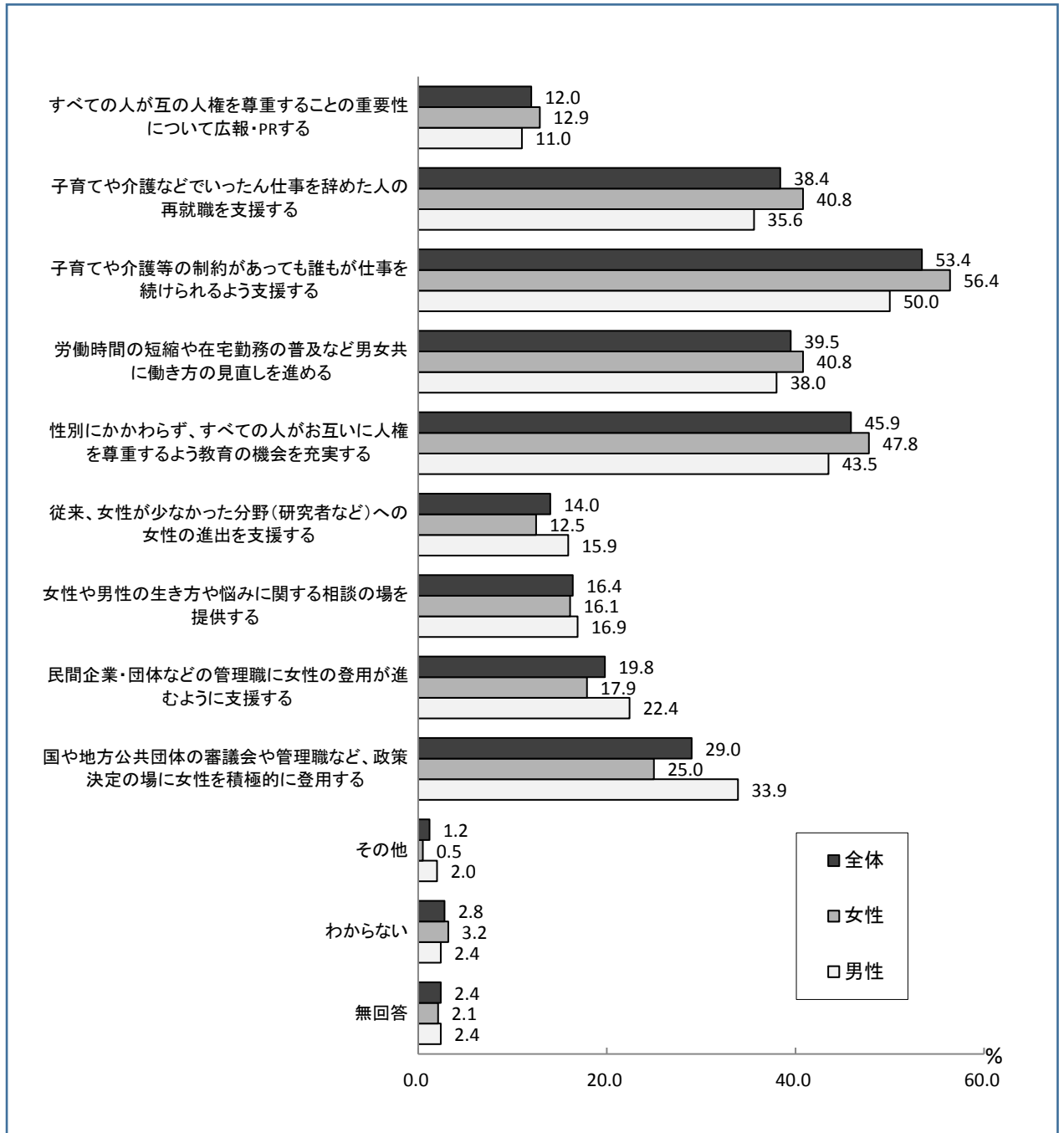


【8】男女共同参画社会の実現について

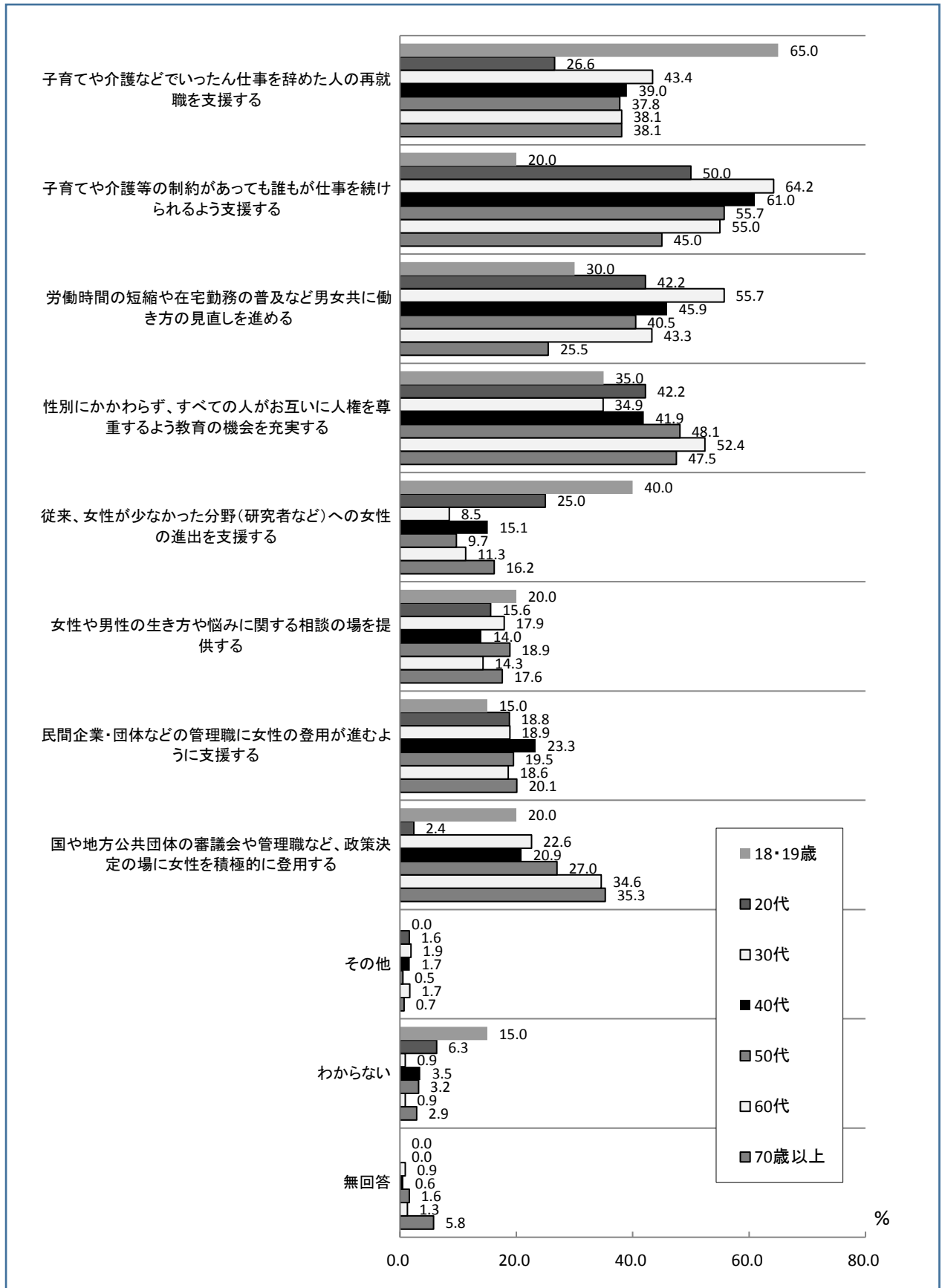
問 16 「男女共同参画社会」を実現するために、県はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

- 「子育てや介護等の制約があっても誰もが仕事を続けられるよう支援する」が53.4%と最も高く、「性別にかかわらず、すべての人がお互いに人権を尊重するよう教育の機会を充実する」が45.9%、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」が39.5%となっている。
- 年代別では、子育て世代の30代・40代で「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」の割合が高い。

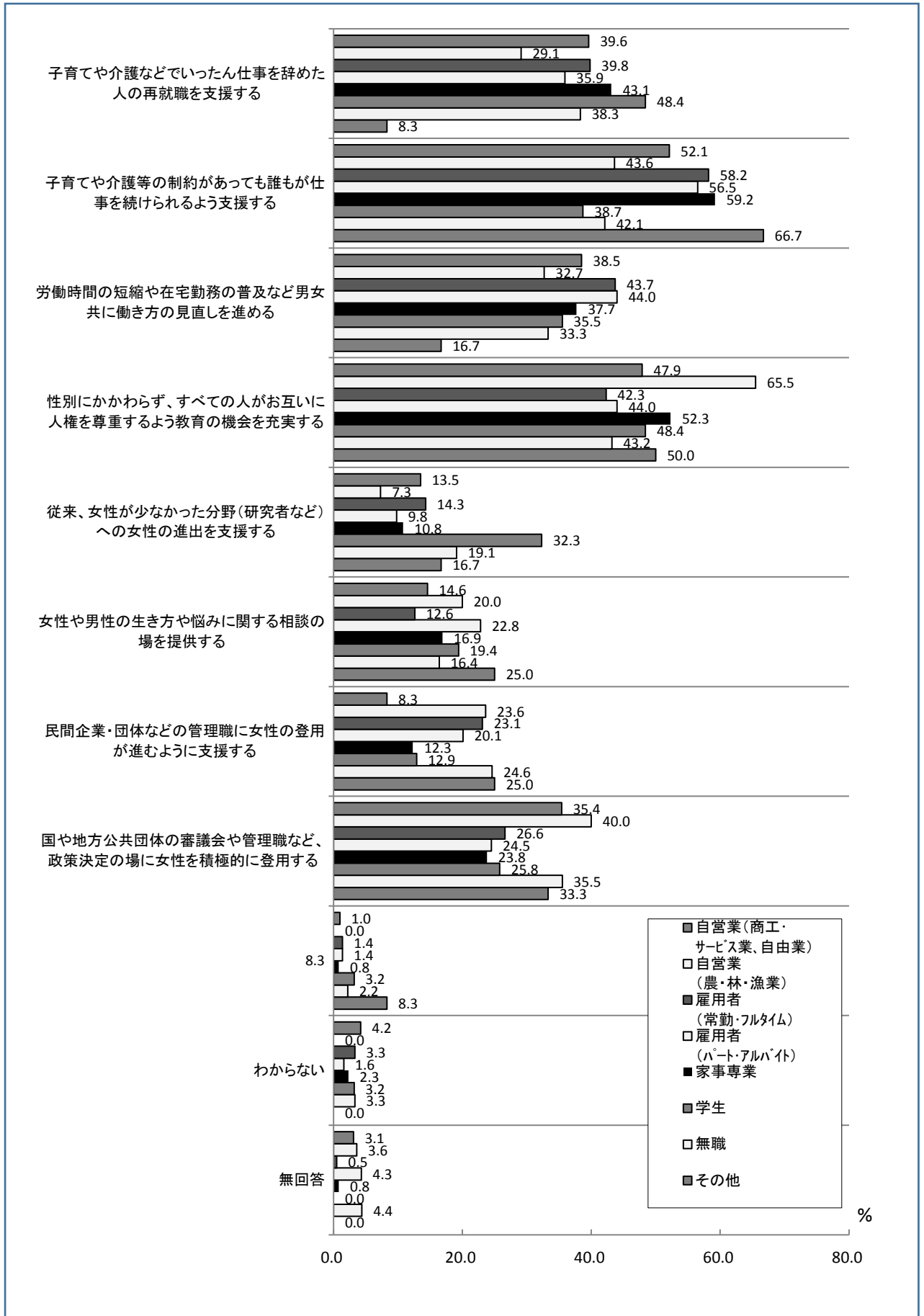
《 性別 》



《 年代別 》

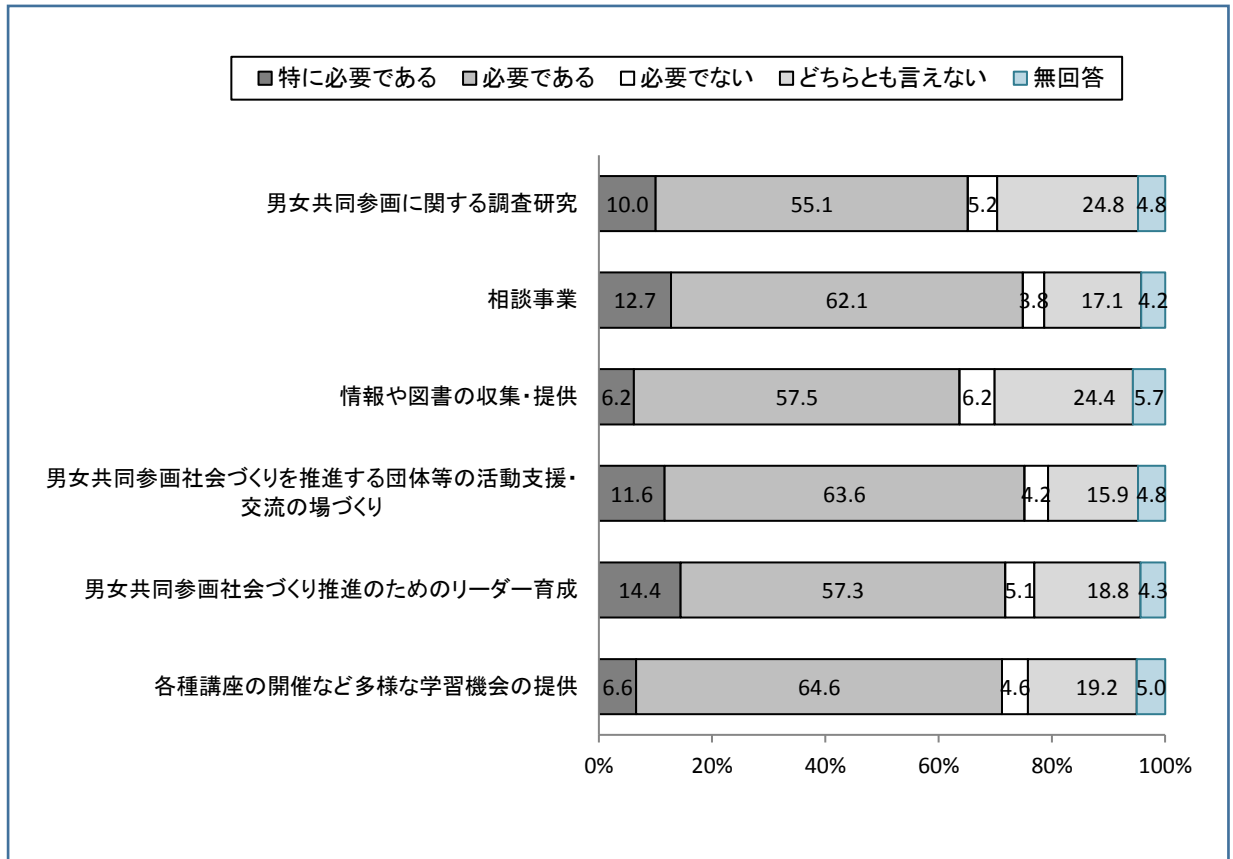


《 職業別 》 (n=1,055)



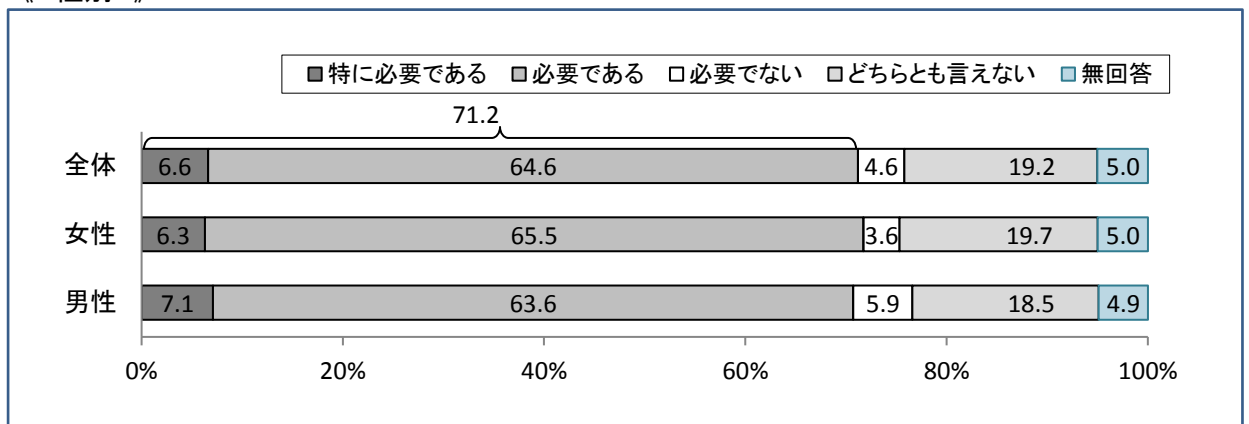
問 17 あなたは、「男女共同参画社会づくり」のために、次にあげる実施すべき県の事業についてどう思いますか。

●「特に必要である」または「必要である」割合は、「男女共同参画社会づくりを推進する団体等の活動支援・交流の場づくり」が75.2%、「相談事業」が74.8%、「男女共同参画社会づくり推進のためのリーダー育成」が71.7%、「各種講座の開催など多様な学習機会の提供」が71.2%、「男女共同参画に関する調査研究」が65.1%、「情報や図書の収集・提供」が63.7%となっている。

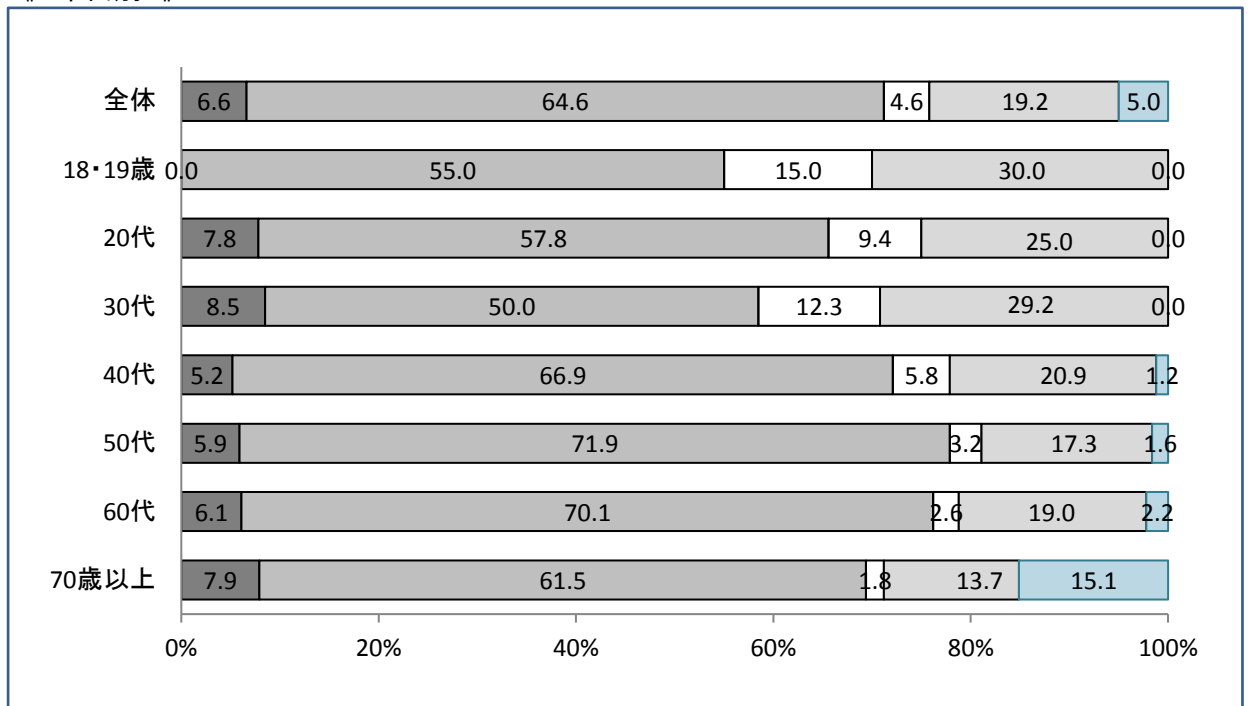


(1) 各種講座の開催など多様な学習機会の提供

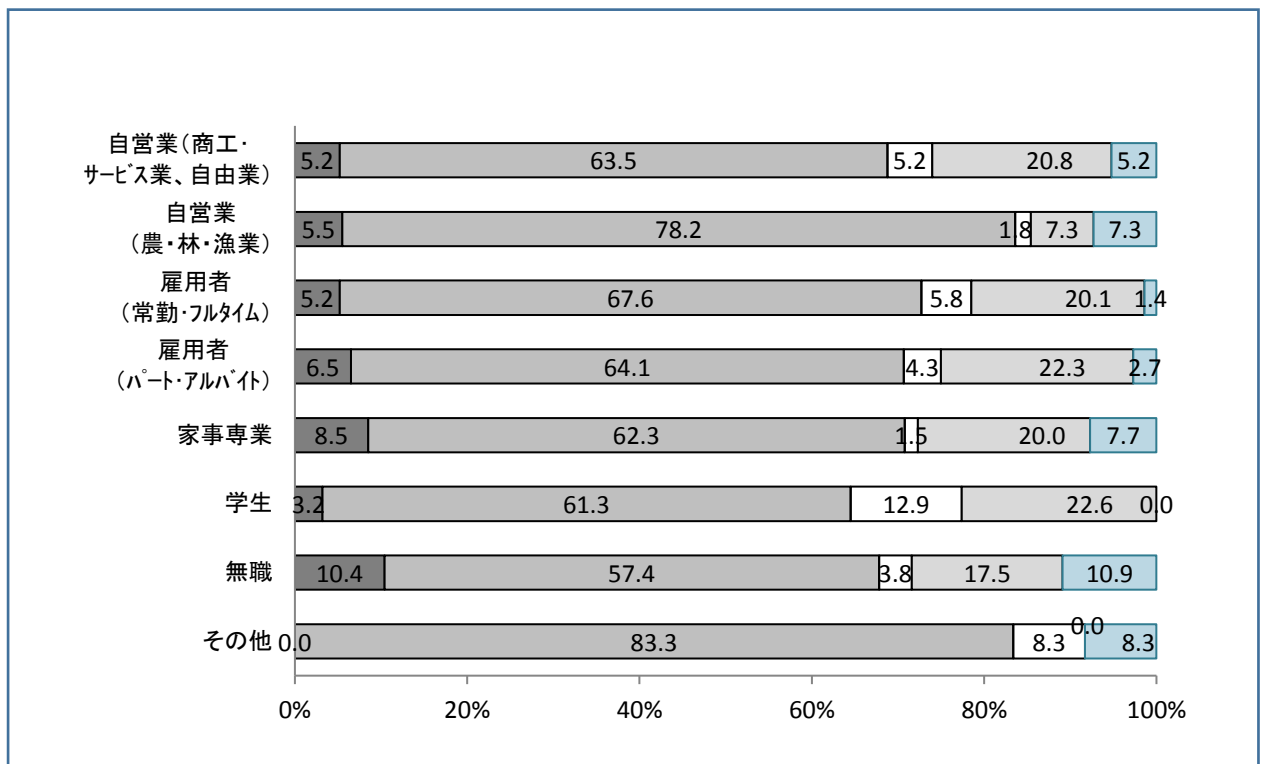
《 性別 》



《 年代別 》

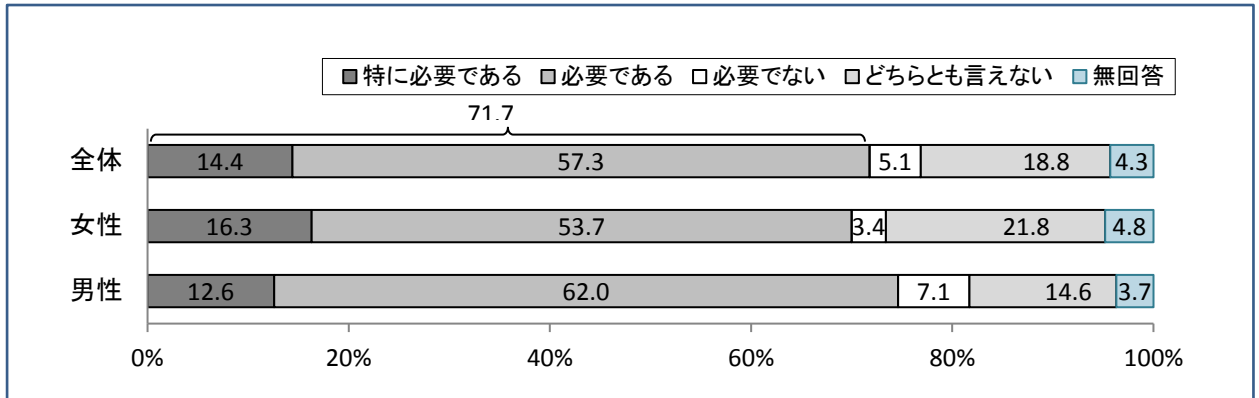


《 職業別 》 (n=1,055)

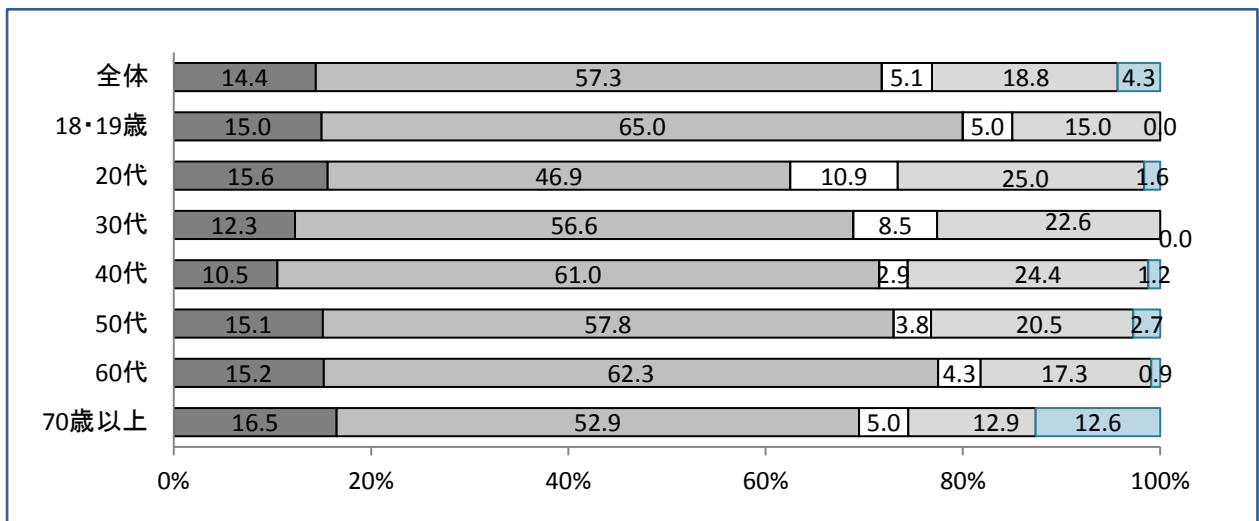


(2) 男女共同参画社会づくり推進のためのリーダー育成

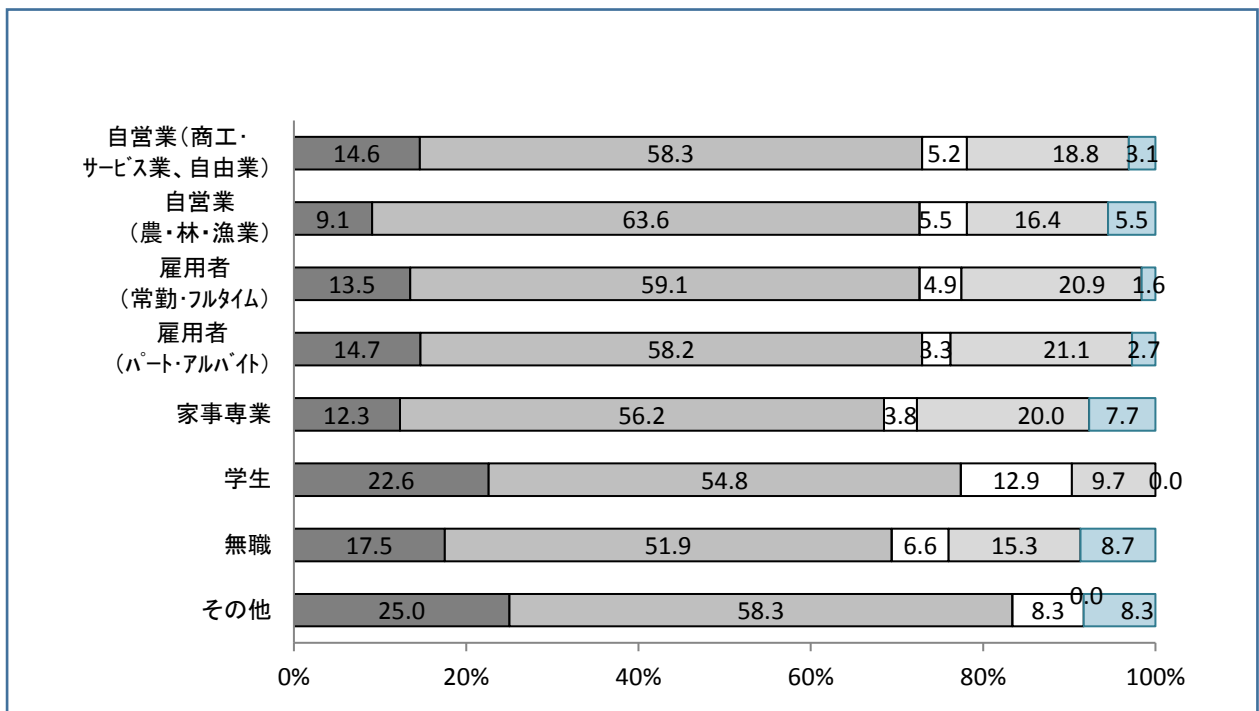
《 性別 》



《 年代別 》

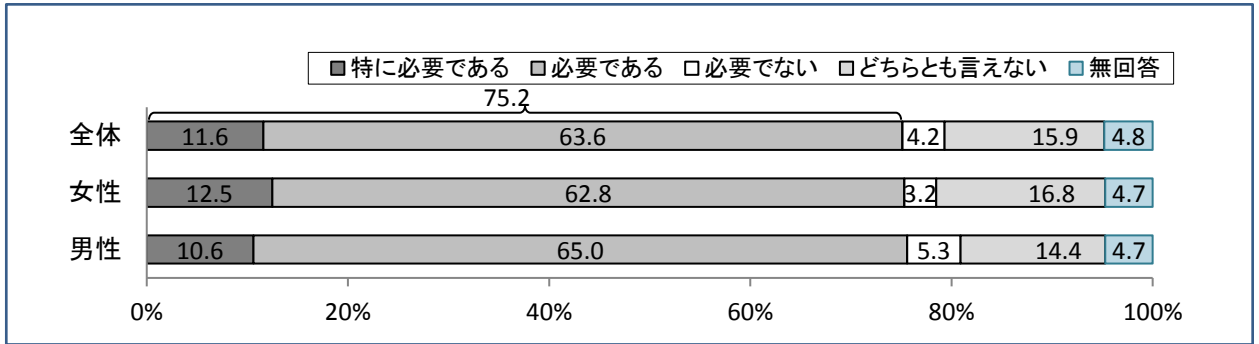


《 職業別 》 (n=1,055)

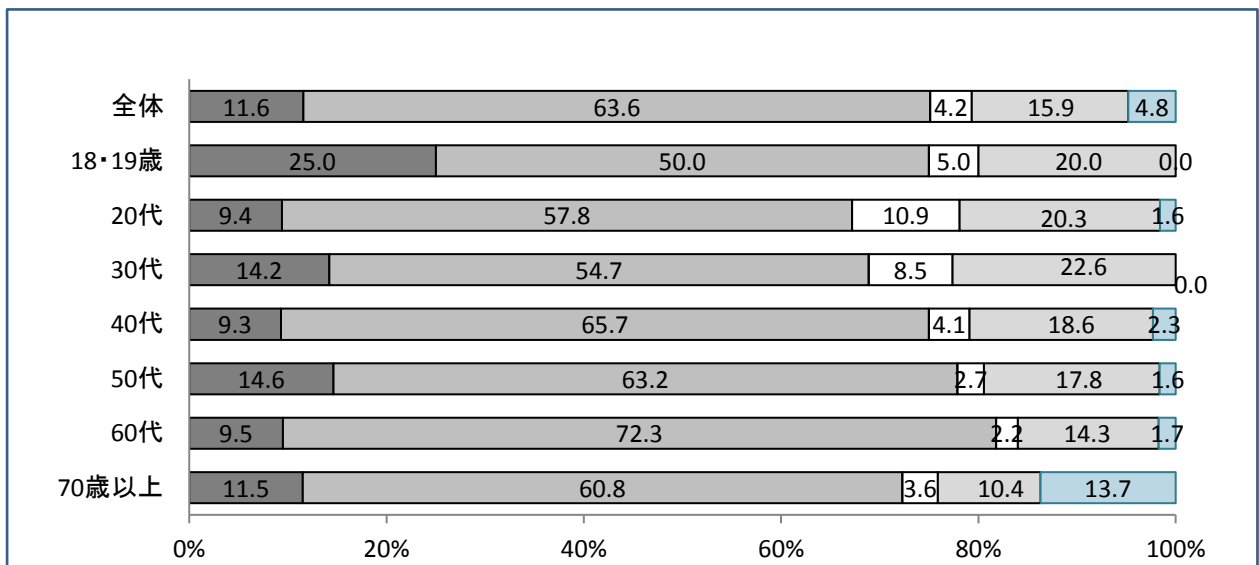


(3) 男女共同参画社会づくりを推進する団体等の活動支援・交流の場づくり

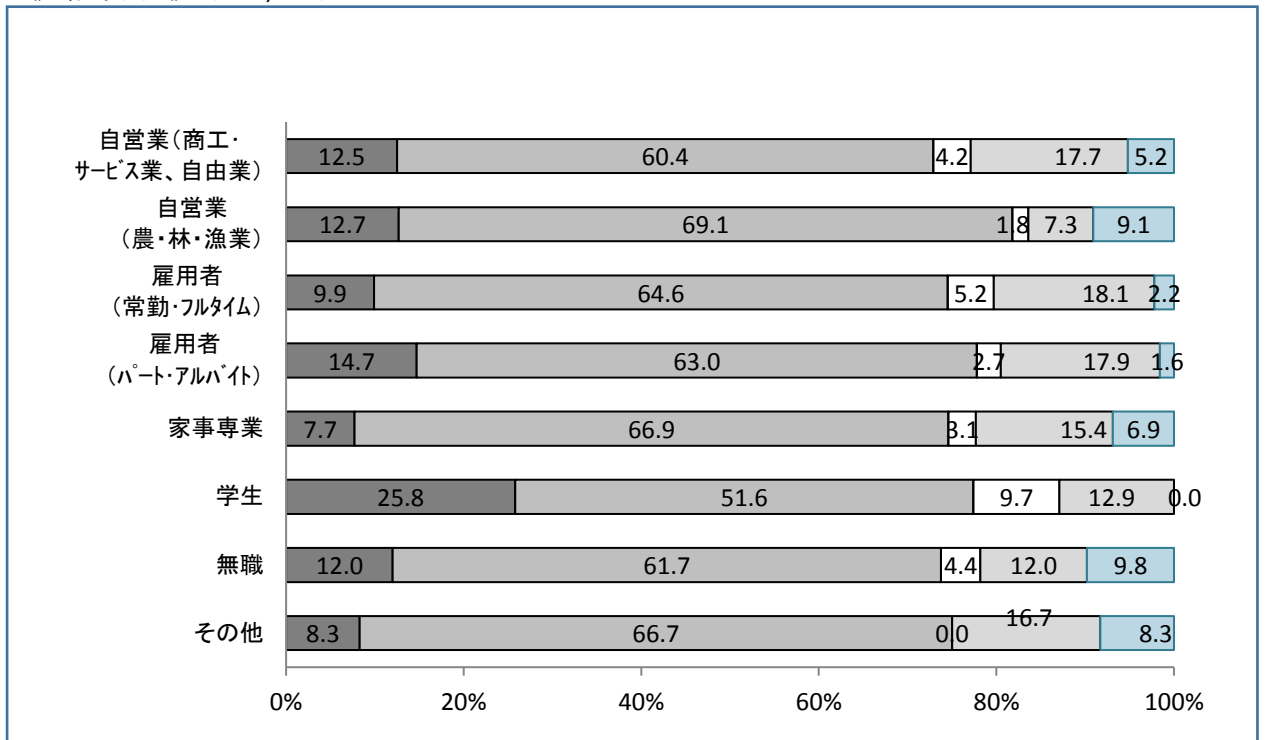
《 性別 》



《 年代別 》

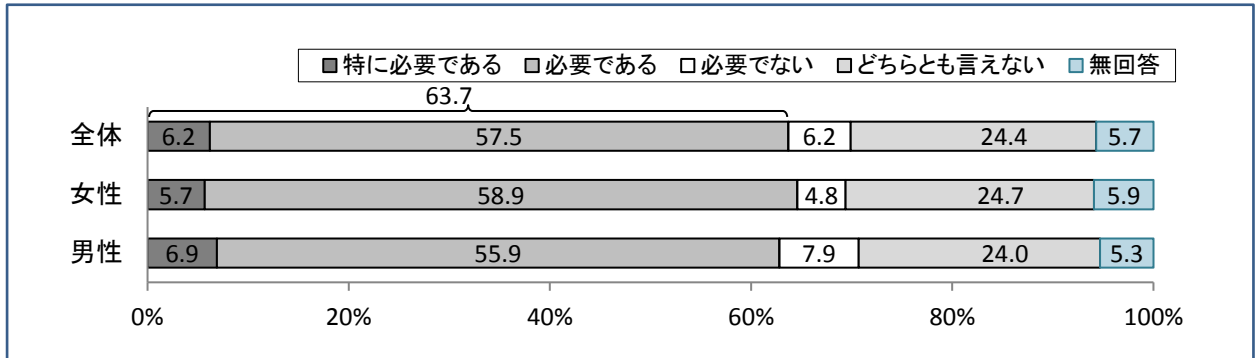


《 職業別 》 (n=1,055)

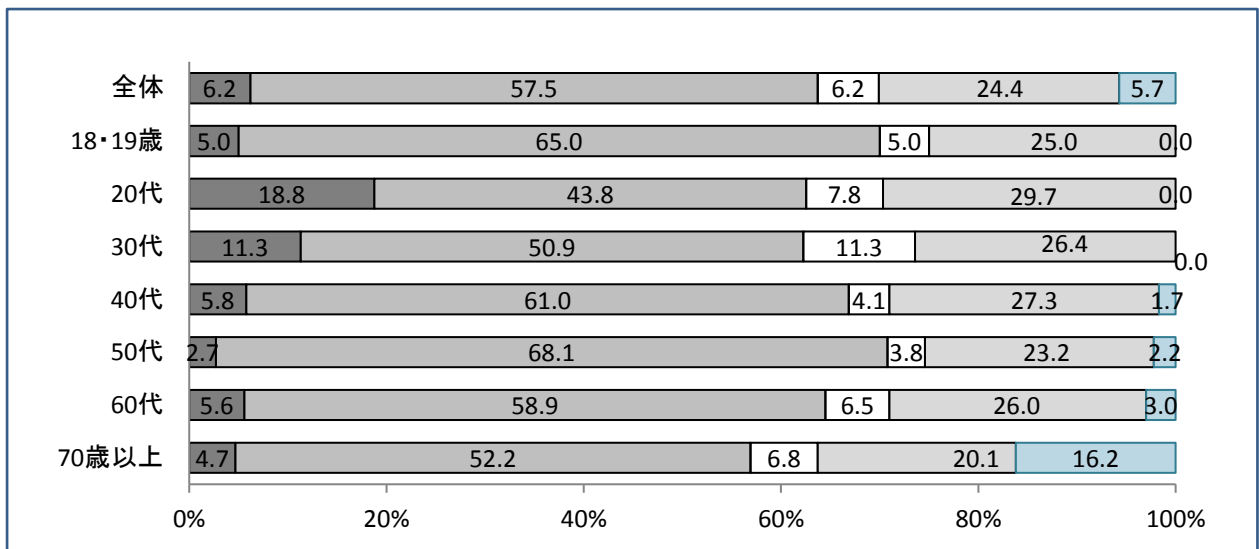


(4) 情報や図書の収集・提供

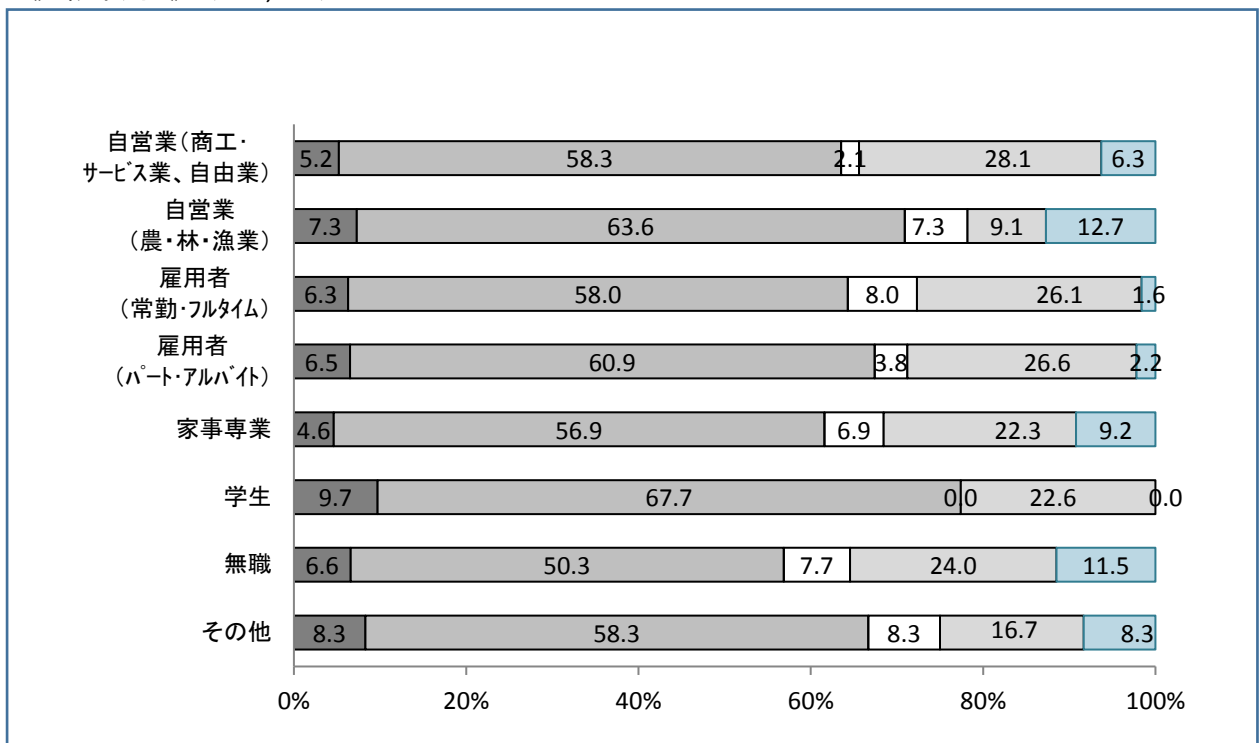
《 性別 》



《 年代別 》

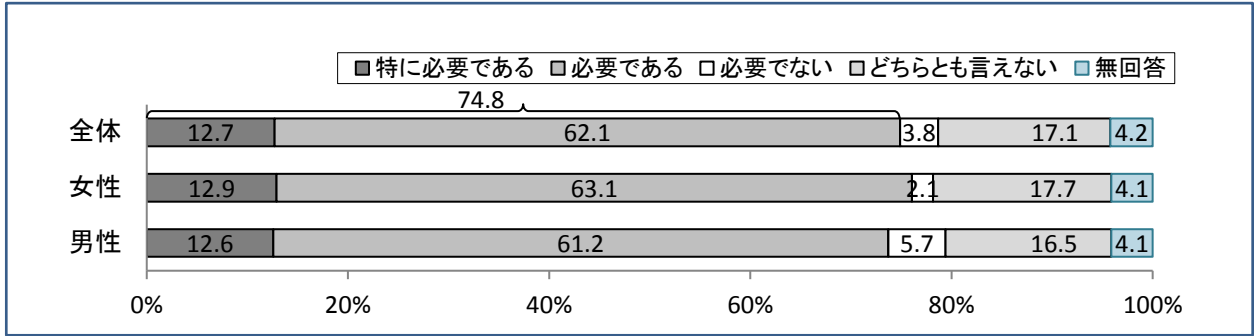


《 職業別 》 (n=1,055)

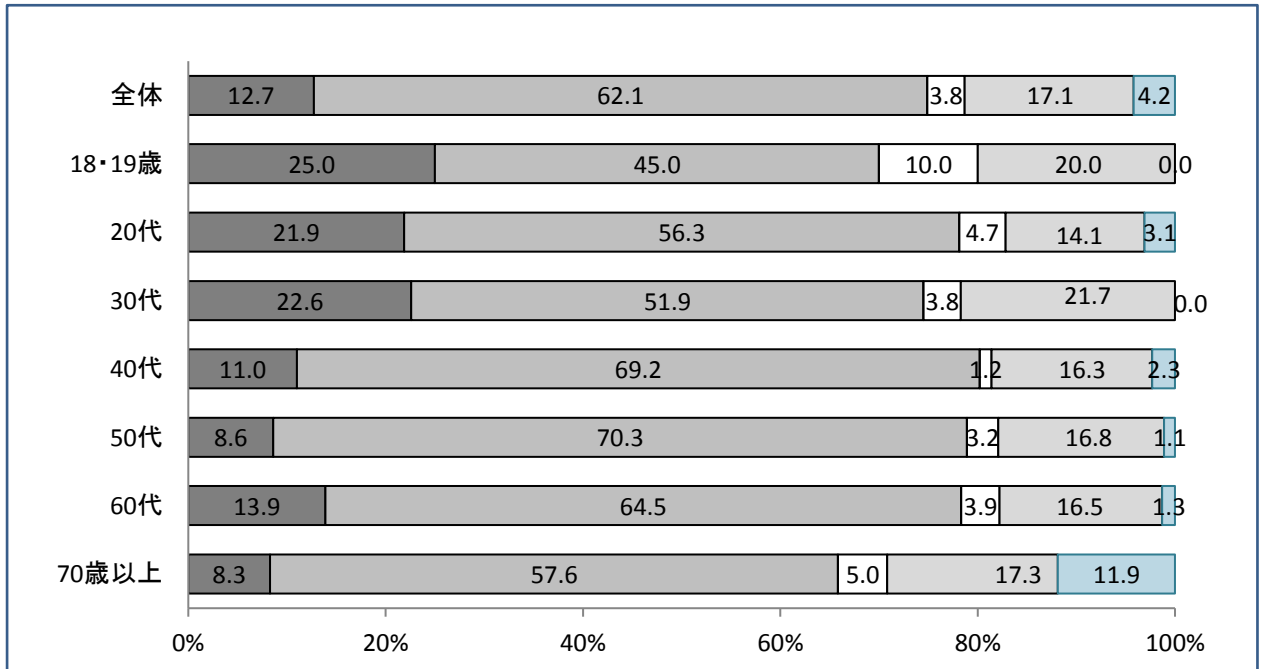


(5) 相談事業

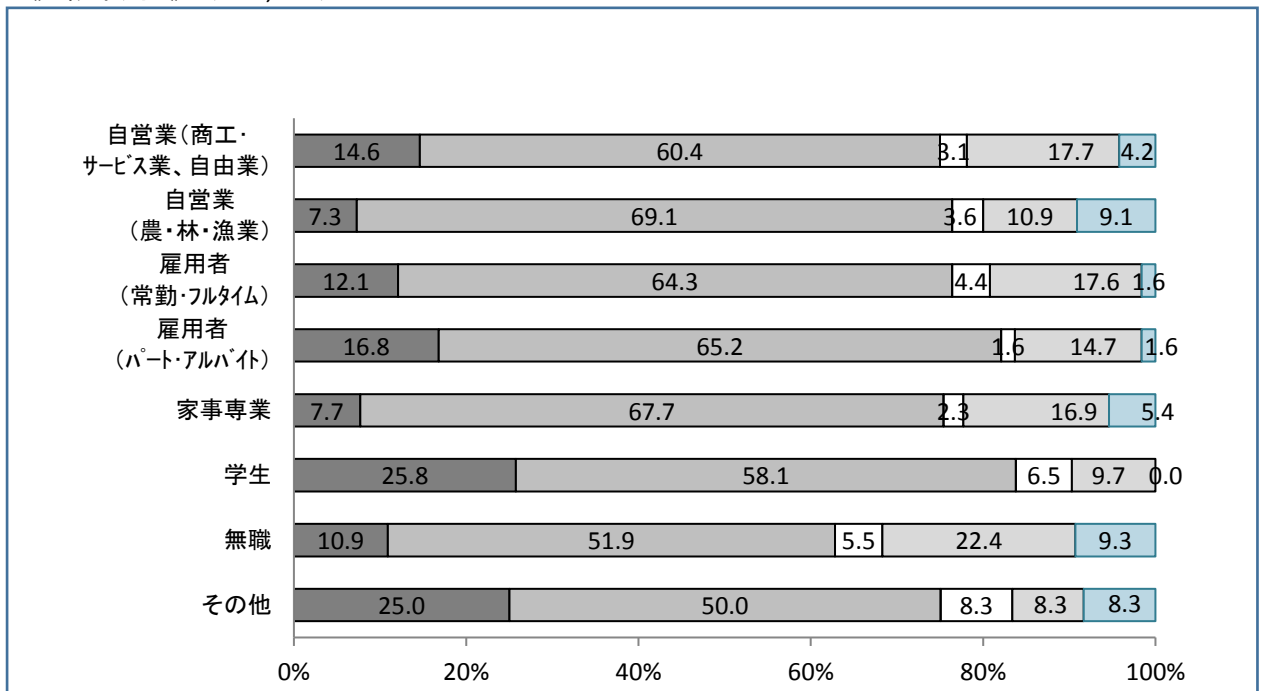
《 性別 》



《 年代別 》

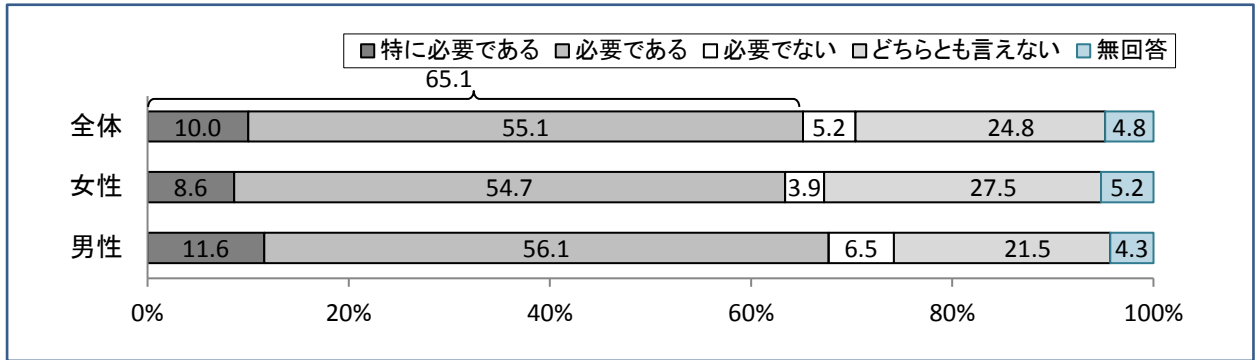


《 職業別 》 (n=1,055)

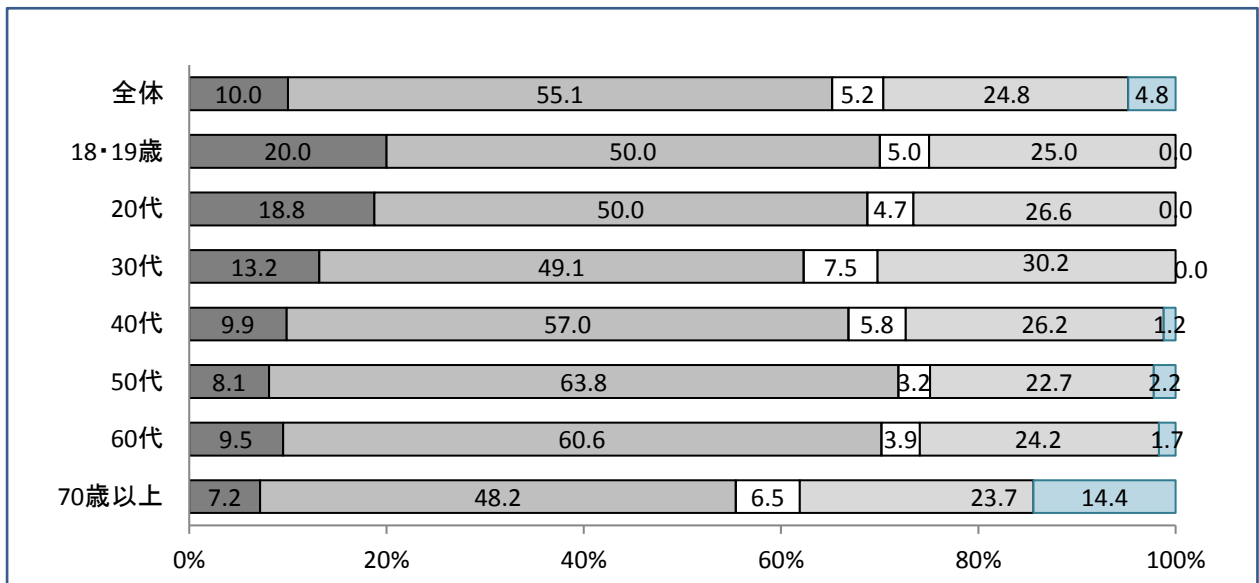


(6) 男女共同参画に関する調査研究

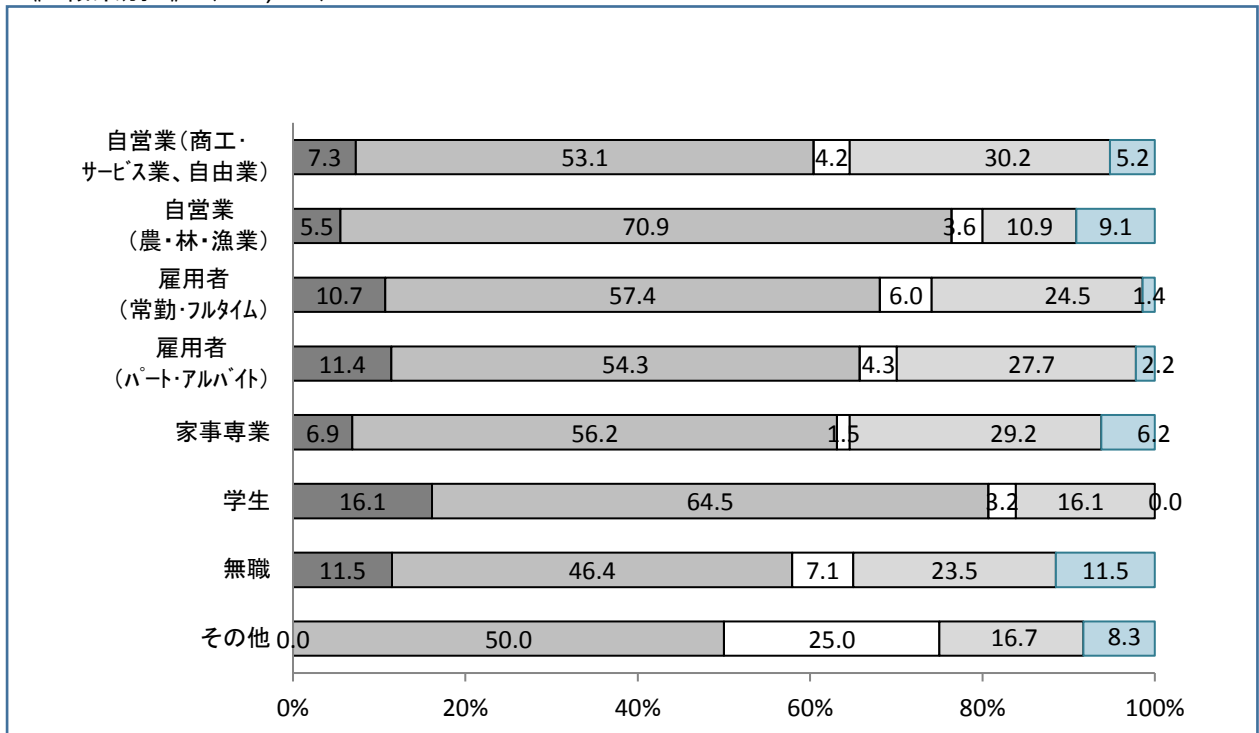
《 性別 》



《 年代別 》

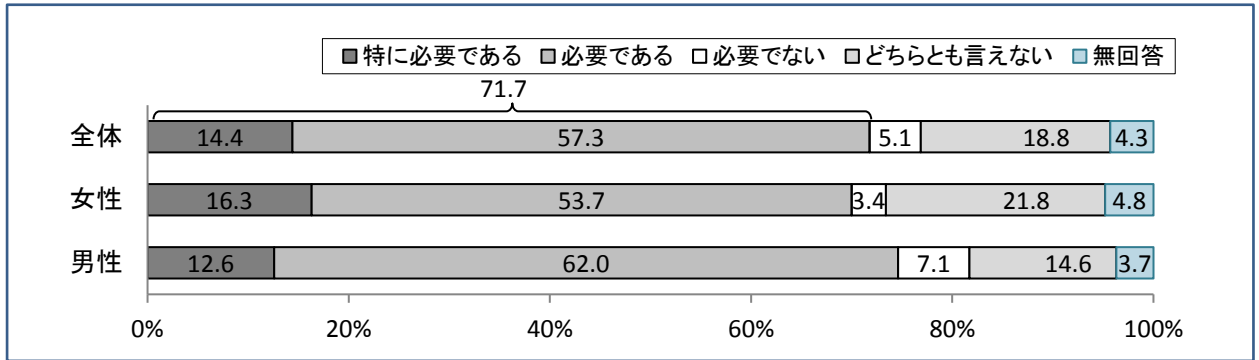


《 職業別 》 (n=1,055)

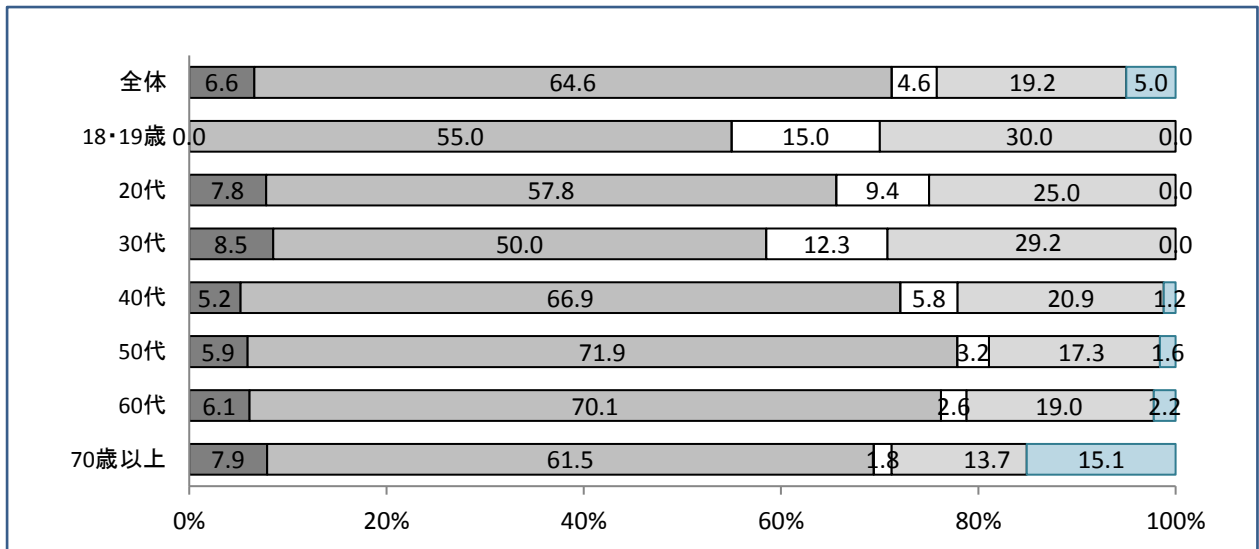


(7) 男女共同参画社会づくり推進のためのリーダー育成

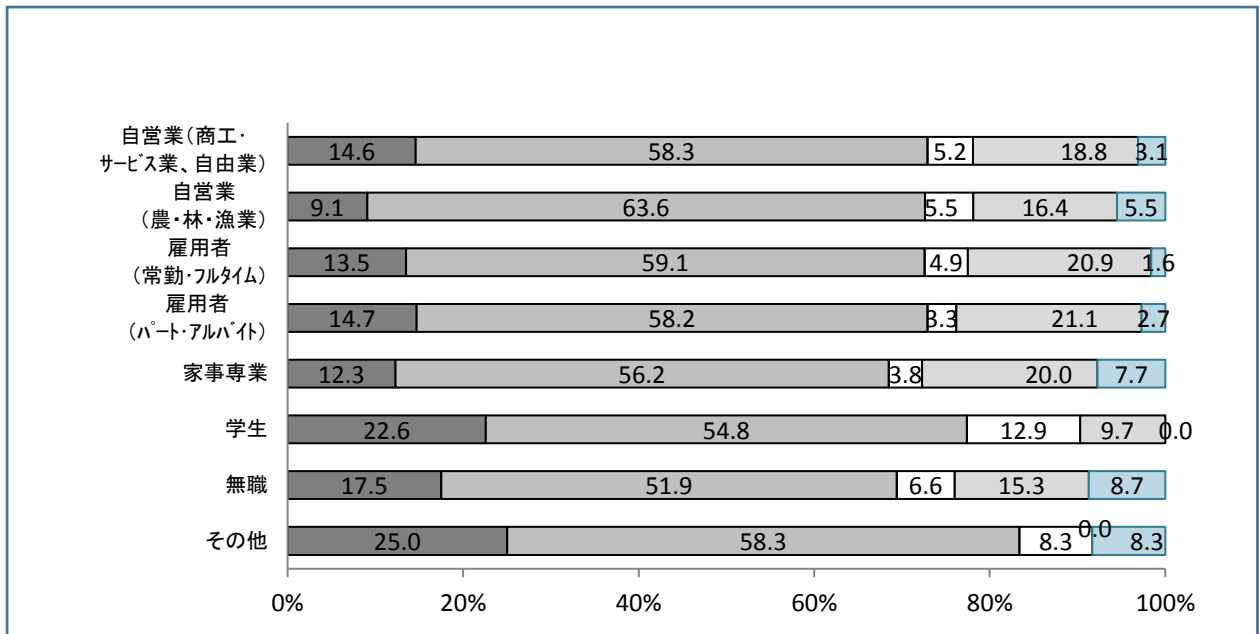
《 性別 》



《 年代別 》



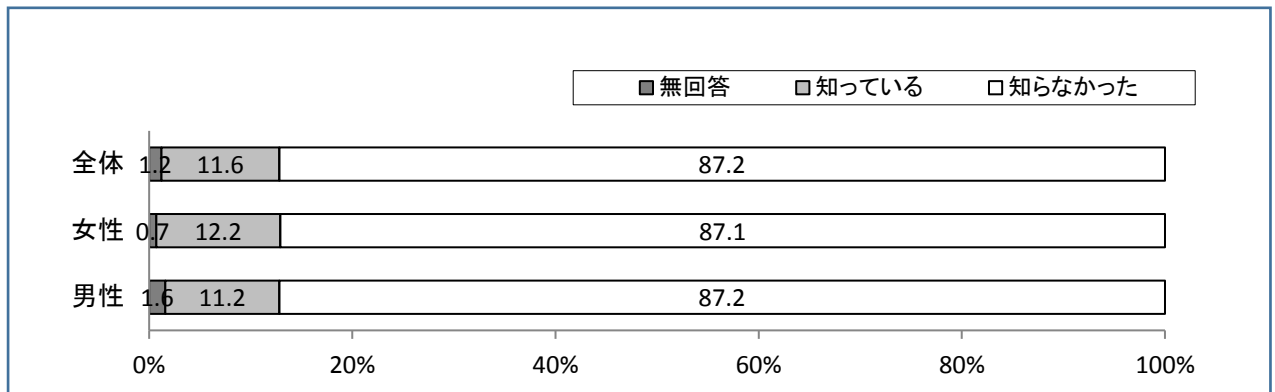
《 職業別 》 (n=1,055)



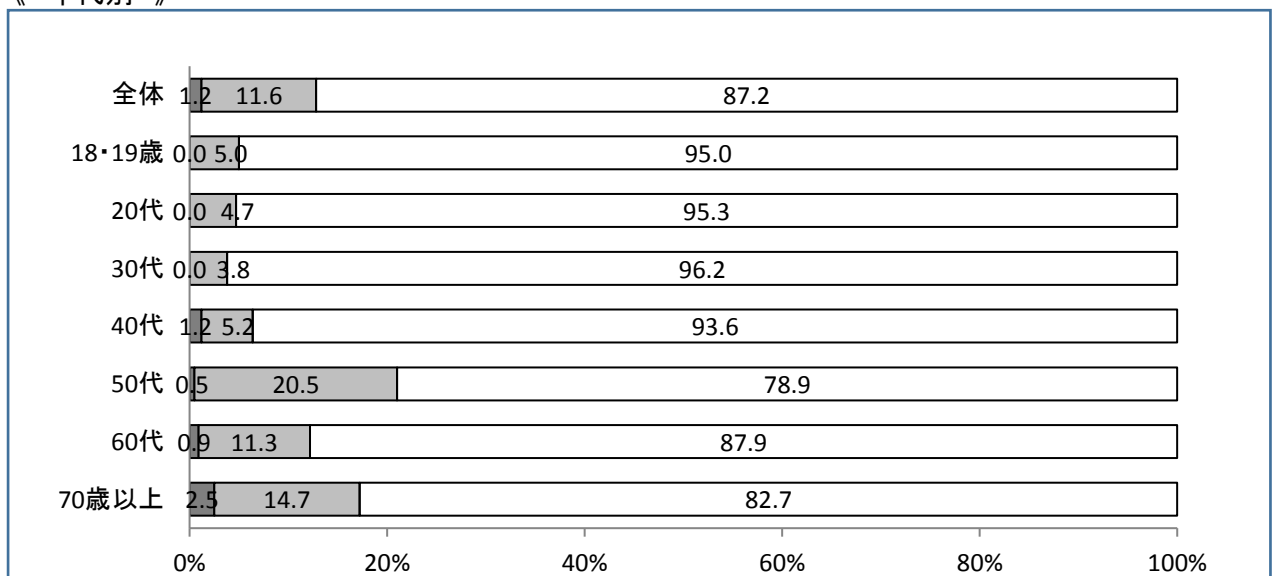
問 18 あなたは、岡谷市に男女共同参画社会づくりの拠点施設として、各種講座の開催や情報提供、女性相談などを行う長野県男女共同参画センター「あいとぴあ」があることをご存知ですか。

●男女ともに、「知らなかった」とする割合は、9割弱となっている。

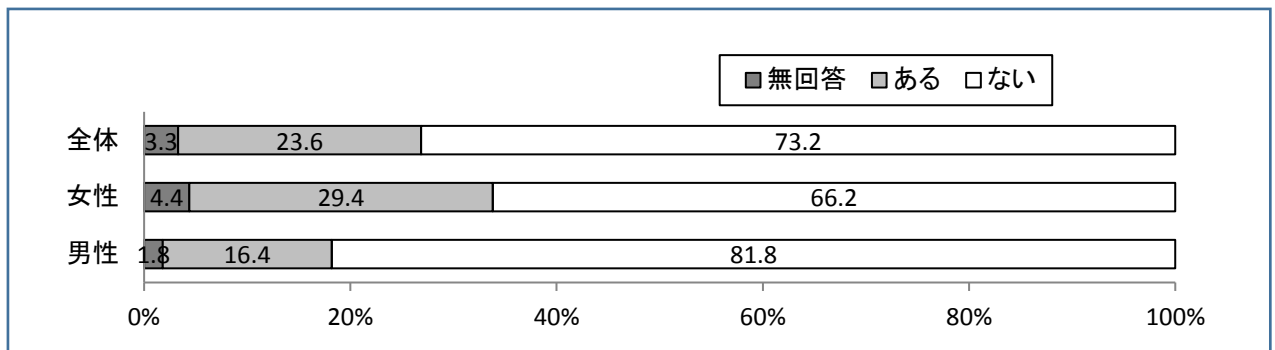
《 性別 》



《 年代別 》



問 19 問 18 で「知っている」とお答えの方におたずねします。過去に、この「あいとぴあ」を利用したことがありますか。



ご意見・ご要望

◆男女共同参画社会づくりに関する県の施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

内容	性別	年代	職業
各自意識はあると思うので、改めて何かをする必要はない。このような調査に係る経費が無駄だと思う	その他	40代	雇用（常勤・フルタイム）
性別など意味がない。人間力、地頭の良さ、柔軟な考え、これら全てを備える社会を作ることから始めなければならない。このアンケートがそもそも間違い	その他	30代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共に活躍する社会を作りたいのであれば、それに付随して起こる問題を広報しなくてはならない。取り組む際には、広い世代に影響力を持った人物との協力が必要。短期間で成果をあげたいのならば、一つ大きな取り組みで、県民をあっと言わせるくらいの活動が必要。また、県の活動などに関して、馴染みのない層に、どのように知らせるかが重要	その他	20代	学生
地域差というか町村へいくほど男女差を感じる。女性は家庭を優先にする土地柄が多く見られる。なかなか前に進まないのは、男性側女性側それぞれに理由があるように思う	女性	70歳以上	無職
今回の調査は「個人そのもの」が見えてこない。「団体あつての個人」という概念からは、そろそろ卒業しなければならないと痛感している。個人が自身を育てる途上で、同じ志を持つ者に出会い、学びあう結果、団体や集団が生まれるのではないか。このアンケートの結果を予想するに、個は集団の極めて小さな一部という考え方に固まっている印象を強く受けてしまう。ある意味、県の姿勢の一端を覗くことができたことに感謝する	女性	70歳以上	無職
若い人たちには男女共同参画社会を作っていって欲しい。我々は、昔の教えが残っているので難しい面もあるが、とても良いことだと思う	女性	70歳以上	家事専業
男女共同参画社会づくりと言われながら、あらゆる面でまだ改善されていないのは、女性がいまだ活躍できる社会になっていないのが原因だと思う。共同参画を叫ぶ前に、底辺の受け皿を整えるべきだ。そもそも共同参画は当たり前なこと	女性	70歳以上	無職
子どもの虐待が増えている。相談できる社会となることを望む	女性	70歳以上	家事専業
女性の就職をすすめて欲しい	女性	70歳以上	無職
男女共同参画の施策があることを知らずに暮らしてきた。知っていたら、もっと違った生き方ができたかもしれない。これからの人のためにも、もっと知らせて欲しい	女性	70歳以上	家事専業
地域の活動においても、リーダーなど全てが男性社会だと思う。子育てや育児休暇などをとれる男性は、ほんの一握りの大企業に勤務する人や公務員くらい。ほとんどの男性は育児休暇を取っていない。我が子なのだから、ほんのわずかな時期ゆえ、父親も子育てに参加すべきだと思う	女性	70歳以上	家事専業
日々変化している現代社会に乗り遅れることなく、社会の形成に手を抜くことなく、微々たる行動でも継続することが必要だと思う	女性	70歳以上	無職
男性向き、女性向きはあるが、一人一人は平等であるべき。特性を活かし、より良い毎日が送られる社会を希望する	女性	70歳以上	無職
とても良い政策だと思うが、それ以上に、家族のあり方や命の方が大切だと思う。親が子どもを、子どもが親を、兄弟が…。以前には考えられない事件が多すぎて怖い。平和な社会を祈る	女性	70歳以上	無職
女性が活躍するためには、高い教養を身につけて進んでいくことが必要	女性	70歳以上	家事専業

内容	性別	年代	職業
男女共同参画社会は確かに必要だと思うが、そのために、親の愛情を受けなければならない幼少時の子ども達に影響が及ぶかもしれないことが、とても心配で心が痛む。思い過ぎだろうか	女性	70 歳以上	無職
女性が安心、安定して働くことができる環境の整備と支援が必要。特に、子育て世帯への支援が必要だと思う	女性	70 歳以上	無職
今まで、男女共同参画について考えることが無かったため、難しい質問が多くて困った。昔から、男性は外で働く、女性は家事、育児が当たり前。ただ、その男性を育てているのも女性であり、子育てとは、なんと重要な仕事であろうと改めて感じた。やはり、男性も協力するべきだと思う。先日名古屋で、双子のベビーカーを押す女性が乗車拒否をされたニュースを聞き心が痛んだ	女性	70 歳以上	家事専業
相談事業はまだまだ周知されていないし、人員も十分ではないと思う。困った時にどこに行けば良いのかを、県民にもっと知らせることが大切だと思う。女性、女系天皇制度が出来れば、少しは皆の意識が変わってくると思う	女性	70 歳以上	無職
皇室のことであるが、男女平等であれば、法律がどうであれ、愛子様を皇太子から天皇にしてあげたらと思う	女性	70 歳以上	自営業（商工・サービス・自由業）
経済格差、人間上下、勝ち組、負け組など、男女共同参画社会づくりは難しいと思う	女性	70 歳以上	無職
幼い時より人間として男女平等、個性の尊重をしっかり学ばせること。そのための指導者の育成、施設（受け入れ）の充実、意識の改革が必須だと思う	女性	70 歳以上	家事専業
このアンケートをきっかけに、改めて社会が変わらなければならないと思った	女性	70 歳以上	雇用（パート・アルバイト）
76歳となった今、私に出来ることはあまりないが、地域の方との交流や互いに助け合うことを継続したい。女性がもっと社会に出て、その力が認められる社会、地域が活性化されること、子どもが安全に育つことを念じて、若い皆さんに声援を送りたい	女性	70 歳以上	家事専業
私達の時代は、夫が仕事をしていないと生活は成り立たなかったもので、男女共同参画の意味がよくわからない	女性	70 歳以上	家事専業
女性が働くためには、出産や育児において、本人はもちろん周りの人達にも負担をかけると思う。この点の改革が必要	女性	70 歳以上	無職
この施策が大いに推進されることを期待する	女性	70 歳以上	無職
「昔からの」という言葉をよく聞くことがある。より良い生活をするために、個人レベルの意識を少しずつ変えていくことが望ましいと思う	女性	60 代	自営業（農・林・漁業）
今の社会では女性が活躍するのは難しい。女性は、家庭生活や子育てなど非常に負担が大きい。何かを犠牲にしないと成り立たないため、私は睡眠時間を削って両立させていたが、仕事も家庭も不十分であったと今になって思う。男性の意識改革、社会の改革、女性自身の改革、全てが整うのはいつになるのか。日本の政治が変わらなければ、旗を揚げただけでは進んでいかない。仕事を終えた今だからこそ、冷静に、当時とは違う方向から見えてくることもある	女性	60 代	家事専業
「男女共同参画」と題する事業が硬くて取りつきにくい。役所的なお題目にしない事業が、自然に行われると参加しやすい	女性	60 代	雇用（パート・アルバイト）
共同参画の看板を見たことがあるくらいで、よくわからない	女性	60 代	家事専業
以前は女性が頑張ると、ウーマンパワーとかウーマンリブなどと、男性がバカにしたり嫌ったりしたが、現代は男女同権が当たり前になりつつあり喜ばしいこと。人権、憲法で守られるべき権利と義務を、県民に広く知らせて欲しい。余談であるが、ジェンダーとかDVなどカタカナ言葉がよくわからない。それを日本語訳すると意味が変わってしまったり	女性	60 代	家事専業

内容	性別	年代	職業
男社会の中で培われた既成の意識改革を促すためには、様々な取り組みが必要（広報・PR・楽しい研修など）。幼児期から男女平等を教え、学ばせ、実行させていくことが大事	女性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
今後、もっと情報（私達の声）を取り入れて欲しい	女性	60代	家事専業
男女が均等に意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会づくりのために、女性の活躍を推進する講座ばかり開催されるのが疑問。そもそも社会意識が改革されていくような呼びかけが必要なのか	女性	60代	家事専業
平成14年に条例が制定され、以降どのような場で運営の状況などを発信していたのか？岡谷市の施設がどこにあるのかも知らない。情報不足な感じがする	女性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
理想と現実を認識すること	女性	60代	無職
出産（産休・育休）は社会における制約ではなく、未来の労働者であり、納税者であり、有権者であり、社会を担う人々を産み出し、育てるといふ最も大切な役割であると思う。食事を作ること、快適で清潔な家庭生活を送ること、それらは生産性のないことなのか？落ち着いた家庭で両親仲良く互いの役割を尊重することが、社会の幸せであることを、教育の場で、未来の大人達に温かく大切に教育して欲しい。国や県の施策としては、男性が参観日や育休を取ることを、年間数日義務付けるなどの制度作りが急務であると思う	女性	60代	家事専業
初めて「男女共同参画」という言葉を聞いた時、違和感を覚えた。（他県から引っ越して来て）地域の自治清掃に参加してみると、役職を担っているのは男性ばかり。ただ、男女平等とは、男女が同じことをするというのではなく、むしろ役割分担をして平等にするという意味ではないか。このアンケートの質問には、とまどうことが多かった	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
県の施策がどんなものかがわからないので、誰もがかわる言葉で、理解しやすい情報を提供して欲しい	女性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
県の施策には大賛成。その実践、実現に向けて熱意ある取り組みを願う。男女共同参画とは名ばかりで、県、地域、一般の人々の意識は具体的な前進があまり感じられない。ただ、教育界においては、大きな前進を感じている	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
実際にどのような施策が行われ、どのように変わって来たのか。また、どのような時に市民が頼っていいのか。これらを知ることができる手段が欲しい	女性	60代	無職
参加しやすい環境作りが大切	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
以前は仕事をしていたが、10年ほど前から介護（主婦）の生活となり、この調査を記入することにより、気づかされることがあった	女性	60代	家事専業
性別に関係なく快適に暮らせる世の中になることを望む	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
問16—⑦のような件に県の施策があるのか。知らないのは私だけなのか。特に、介護のために職を失う問題は待たない状態。このアンケートはのんびりしている	女性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
会合に行くと、いつも同じ顔ぶれになっているのが残念	女性	60代	自営業（農・林・漁業）
安心して子どもを産んで、育て、預けられる社会をつかって欲しい。縁結びの企画を、もっともっとつかって欲しい。結婚しない、できない若者がたくさんいる	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）

内容	性別	年代	職業
意識改革をすることより、まずは、県としてシステム作りをして欲しい。女性を集めて勉強会をしたところで変わらない。それより、県、市町村、企業の上層部が変わって欲しい。そのためには、ある程度決め事が必要で、それを浸透させて欲しい	女性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
女性の家事、育児への理解や協力が少ない現状では、家族や社会が女性の負担を減らさない限り、女性の進出は難しいと思う	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
若者に向け男女共同参画社会をわかりやすく啓発していただきたい	女性	60代	家事専業
男女共同参画社会自体を知らなかった。今回少し勉強になった	女性	60代	家事専業
男女共同といっても、もともと男女は違うもの。身体の中身も違う。出産をした女性が3年程休んだ後、仕事に復帰できるような社会になれば良いと思う。現状、教師は3年の産休が可能だが、病院職員は1年程。子どもが3歳になるまで休むことができたならどんなに良いか。男性（夫）に特別給与が支給されれば良いが、現状では女性も働かなくてはならない。せめて、小学校入学までは、時短にして欲しい。女性の子育てを男性が理解しないと、共同はうまくいかないと思う	女性	60代	家事専業
先進国の中で日本は、「男女共同参画」という点で遅れているように思う。特に、政治の場で活躍する女性が少ない。国家元首や首相に、女性が就いている国々もある中で、まだまだ男性優位の世の中であると実感する。政治家、公務員、経営者など、見本となるような人材を育てる教育に、是非とも力を入れていただきたい	女性	60代	雇用（パート・アルバイト）
県職員が、男女共同参画にシフトすれば、民間にも浸透していくのではないかと	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
県の条例について今回初めて知った。拠点施設で催しがあっても、岡谷市（住まいから遠い）では参加しにくい	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
県だけでは限りがあると思うので、国へのアピールが必要	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
他部局との連携強化をより一層強め、リーダー育成及び若年層における学習会を実施し、全ての人々が個性と能力を存分に発揮できる社会を目指した事業や施策を求める	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
20年以上前、出産を機に会社を辞めてから、フルタイムの仕事がしたいと思うことは一度も無かった。家事や育児は大変な面もあるが結構楽しい。仕事だけしていれば良いと思っている夫に手伝って欲しいと思ったことがない（ろくな事にならない）。つまりのところ私は、夫の経済力（微々たるものだが）しか信用していない	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
「三つ子の魂百まで」ということわざがあるが、教育によって未来は大きく変わると思う。現代の大人が苦労した部分も、教育によってスムーズな改善が出来るかもしれない。子どもの時から、周囲の大人の適格な教えが重要だと思う	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男性は女性の、女性は男性の、互いの仕事の重要性をもっと知ることが大切だと思う。理解したつもりではなく、感謝の気持ちを持って、理解する努力が必要だと思う	女性	50代	家事専業
実りある施策となることを期待している。今現在、男女平等であるとはあまり感じていない。男女共同参画という言葉は、かなり以前から耳にするものの、自然と浸透し当たり前な世の中になるまでには相当な時間を要すると思うが、頑張っていたきたい。私は毎日男尊女卑と感じる会社で、お金のためと我慢して働いている	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画という言葉に具体的なイメージがわきにくい印象がある。どんな社会なのか、イメージしやすい表現はないものか	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
「あいとぴあ」をもっと多くの人に知らせること。岡谷市以外にも数か所設置し、身近なものにすることが必要	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
男女平等と言っても、男女それぞれの役割が違うこともある。互いにそれを認め合っていくこと。個性を尊重し、相手を思いやることのできる人格の育成に取組んで欲しい。円満な指導者に、人はついていくと思う	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
保育施設の充実。育児や介護は、男女差なく協力しあえる環境作りが必要	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
職場では、男女共同参画のセミナーがあるが、女性のみ参加を呼び掛けられる。男性の参加者がいないのは問題だと思う。実績作りの取組みが目立つ。そういうところに指導はないのか	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
県民への情報は、子どもからお年寄りまで、誰でも理解できるよう分かりやすい言葉で伝えて欲しい	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
育児や介護を終えた女性が就職しやすくなるよう、行政に支援して欲しい	女性	50代	雇用（パート・アルバイト）
男女には体力差がある。出産は女性にしかできないし、子育ても女性の方が向いている。完全に男女が同じになることは難しいと思う。ただ、性別の役割を尊重しながら、平等な立場で男女が活躍できる社会は理想である。そのために何が必要なのかは、自分にはまだわからないが、このアンケート自体は良いことだと思う	女性	50代	家事専業
男女共同参画社会づくりを周知させる土台作りが必要	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
今以上に女性が働きやすい社会になると良い。自治体によって差があるように思うので、統一された施策があると更に働きやすくなると思う	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画に対するリーダーの育成やPRなど、参画しやすい取組みを期待する。年齢に関係なく	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
最近、PTAや町内会で才能ある女性（主婦の方など）が、頑張っていることが多い。ただ、全くのボランティアではなく、少しは報酬があった方が良いのでは	女性	50代	家事専業
あらゆる事柄が多様化しスピードも増す中で、介護、家事、育児はいまだ女性の仕事という認識は、変化が緩やかであることの現れ。このような現状に女性は日々葛藤している。福利厚生が整っている公務員や大企業の方には、積極的な推進により男女共同参画社会を浸透させていただきたい。印刷物やネットによる広報ではなく、職場や地域でのミニ勉強会など顔が見える活動が効果的で経費面においても無駄が少ない（担当者の負担は増すが）のではないかと	女性	50代	家事専業
男女の性別に関係なく、個人のスキルを認めて、様々な活動に繋がる人材の発掘や、橋渡しになるようなきっかけの場（情報提示やSNSでの発信など）を提供して欲しい	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
私は現在、病院で介護職に就いているが、実際、介護や育児には、女性の細やかな配慮を必要とする部分が多い。また同時に、それらの負担を軽くする男性の協力や支えが必要と感じている。少子高齢化社会が進む中、草の根の声なき声を拾って、みんなで知恵を出し合い、より良い社会となることを望む。大好きな長野県、日本、そして世界のために	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
アンケートが活かされることを願う。知らなかった部分がたくさんあった。岡谷市に拠点施設があることを、県民に知らせて欲しい。一部が知っているのではなく、新聞、ちらしやオリコミなどで情報提供して欲しい	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
活動に参加するための支援があると良い。一般の会社員（公務員など以外）は、参加したいと思っても出来ないのが現状	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
女性が高い立場に就くのが難しい理由として、基本的に、家事や育児をしなければならない、するべきだという意識があるため。その意識を根本から変えないことには、男性優位の社会を変えることは難しいと思う。男女共に労働時間の短縮をすれば、家事や育児への互いの時間と余裕が得られると思う	女性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
建前だけではなく、実態を把握して踏み込んだ施策を期待する	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
古いしきたりで、女人禁制のお祭りや相撲の土俵に女性が上がれないなどあるが、そういったものを破ってまで「女性の参加」を進めなくても良いし、そういうことを「男女共同参画社会づくり」と考えるのは違うと思う	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
情報やPRが不足している	女性	40代	家事専業
「共同」と「均等」は違う。個性、性格、得意、不得意それぞれが共同して、うまく生活できたら素敵だと思う。「男女」という言葉を「共同」や「均等」と結びつけなくてもよい社会になれば、なお素敵だ	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
現在子育て中のため、空いている決まった時間に仕事をしている。主人も仕事が忙しく、ほぼワンオペ（子育てや家事など）。子供が病気の時は私が会社を休むべきとなり、主人が休むことは無い。近くに住む義父母にお願いすることもあるが、結局、会社からも身内からも矢面に立つのは私になる。主人の会社が、もう少し休むことに協力的であればと思う。休める会社づくりが必要	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
女性の数を増やすことに懸命になること、及び女性の意識を変えようとしていることは間違っていると思う。職場に残って自動的に昇進しているのは家庭や子供を持たない女性ばかりで、数合わせに女性だからという理由で昇進させることが男性の反感をかってている。本当に資質のある女性を昇進させるべきだと思う。また、全てを女性側の責任にするのではなく、まずは男性から意識の改革を徹底的にするべき。能力のある女性は多くがパートになっている現実をもっと見て欲しい。男女共同参画の実現も、男性の偉い人や公務員ばかりでは偏った意見になってしまうと思う	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
男女の平等はまだまだ、海外のようにはいかない。大和撫子の日本にあっては、無理矢理平等ではなく、男女はこうあるべきでもなく互いに良いところを伸ばしながら、その先の段階へ進むべきではないか。世の中の風潮に流されるまま平等を連呼するのはおかしいと思う。平等とは言っても、女性にしか、あるいは男性にしかできないことがあり、都合の良い時だけ性別を掲げる人たちが、いまだに多い時代だと思う	女性	40代	家事専業
ロールモデルとなる人（芸能人など著名な人）の任命、及びその方の後援会や啓蒙活動が必要と考える	女性	40代	自営業（農・林・漁業）
男女共同参画社会は、かなり以前からある言葉ではあるが、具体的なイメージを持たずにいた。アンケートに答えながら、何となくイメージすることはできたが、一般社会には、まだまだ浸透しておらず、世代間の意識のずれがあるように思う	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
女性がリーダーになる資質がないとは思わないが、いきなりキレイな地位につきたがるのが気になる。まず地位ありきではなく、仕事の適正が先。女性だからという理由でリーダーに推挙しても人はついていかない。ただ、男性が全て段階を踏んできていても言い難く、別の誰かの功績に胡坐をかいているのも事実。きつい、汚い仕事を経験した女性が増えれば、男性並みに胡坐をかいたリーダーになれるのでは	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
家事が得意な男性、有能でバリバリ働く女性。男女はこうあるべきという偏見から、個々の特性を活かすことが出来ない社会にはなつて欲しくない。どの集団であれ、昔はこうだったという考えに囚われる人が多いので、時代の変化に柔軟に対応するのが良い	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
子育てや介護は負担が大きいので、子育て支援や、介護施設の充実を望む。今後は、更に高齢化が進むので、介護に関する施策を考えて欲しい	女性	40代	家事専業
興味が無かったこともあるが、男女共同参画社会づくりについて、県が何をしているのか全く知らなかった。もっとわかりやすい発信があると興味が出るかもしれない	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
PR事業だけでは一人一人の意識改革は難しい。各種委員会や役員などに女性を登用（いつも決まった人達ではなく）していくこと。更に、研修などによるフォローアップ。多くの人が意見を言える場所作りをして欲しい	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
祖父母世代の考え方を何とかすべきだと思う。新しい考え方、古い考え方、互いが押し付け合わない双方理解のある社会を望む	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
学生時代に比べ、社会に出てからの方が男女の線引きを強く感じる。慣例に束縛されることなく、男女の別なく、個性を活かしていくことが合理的で生産性が高いと思う。時代に合わせて、社会が良い方向に変化していくような活動を願う	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
保育園などでも、保護者会長は毎年男性がやっている。私（女性）は数十年前に会長をやったが、母親にも出来るということを知って欲しかったから。1歳にならない子どもを抱えていても出来たことなので、まずは、性別に関係なく誰でも出来るということを知ってもらう必要があると思う	女性	40代	家事専業
介護は老人だけではない。障害児の介護もあることを理解して欲しい。特に、全介助を必要とする障害児を持つ母親は、働きたくても子どもを預ける場所がほとんどない（発達障害と言われる子はまだあるが）。子どもが丈夫ではないため休みがちになることを考えると、なかなか前に進めない。企業側の理解をもっと進めて欲しい。また、そういう子どもの預け先を増やして欲しい。あまりにも世の中の理解が無さ過ぎて、障害児を生んだ自分が悪いのだとってしまうことがある	女性	40代	家事専業
一般企業では女性の管理職は極めて少ない。私の会社では、勤続20年なのに役職がない事務の方がいる。その方がいないと会社の購買は成り立たないほどであるのに。現在私は正社員のフルタイムで、働きながら子育てをしているが、毎日が戦争。女性が全ての家事や育児をするのはおかしい。役割分担ができる風潮にならないものか。SDGsに長野県は力を入れている。県全体で取り組んで欲しい	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
行政が積極的にセミナーなど開催して欲しい。是非、参加したい	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
男性の意識改革、向上を願う	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
男女問わず一人一人の生活が充実して幸福であるためには、少数派である方の意見を聞くべきだと思う。団体に所属していない人、一人暮らしのお年寄り、子どものいない家庭など、多数派の生活からかけ離れている方々の支援が必要だと思う。男女共同参画社会の実現には、まずご年配の方々の意識を変えないことには子ども達が変わらず、社会も変わらない。現在県として、男女共同参画社会づくりにおいて活動していることがあれば知りたいと思う。男女ともに参加できるイベント（ウォーキング大会や意見交換会など）を月1ペースで開催するのはどうか	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
「あいとぴあ」のような施設を県内にもっと増やすか、県内各地で出張講座を開催すると良いと思う	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）

内容	性別	年代	職業
①子育てに協力的な男性と非協力的な男性、様々だと思うが、子どもの頃からの教育（性教育も含めて）が必要だと思う。そのような機会を是非作って欲しい。男女平等といっても、やはり性差があるので、それを配慮した社会になれば良いと思う。また、仕事で忙しいシングルマザーにも社会貢献する機会があると良い。その時間を作るためには経済的な余裕が必要となり、養育費を払わない元夫に対しての罰則を条例で制定して欲しい。 ②男女平等についての話はよく聞くが、LGBTQの方は置いてきぼりになっているので対策を望む	女性	40代	自営業（商工・サービス・自由業）
女性が仕事をするのは当たり前となったが、依然として食事の準備、家事や育児も女性がやるのが当たり前の世の中で、この上更に地域活動まで女性が主となるべきとはいかがなものか。家族や誰かの助けがないと不可能で、子どもが犠牲になる。本当に大変だ！核家族やシングルマザーの家庭が増えている中で、これ以上女性の負担を増やさないで欲しい。男性と同じように評価されたいと思っている女性が果たしてそれほどいるのか。そもそも、社会に出ていかないと評価をされないのか。元々男女は同じではないのに男女共同とは何か。それぞれの役割りを果たしていれば良いのではないか	女性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
女性が自信と誇りを持って就労できる機会を増やすべく、県だけではなく地域においても、就労に結び付くような講座の開催や、学習機会を提供して欲しい	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
男女共同参画という話になると、「男性だから〇〇、女性だから△△」「より一層女性が…」など、この時点で既に男女に分けてしまっている。人間として男女の性別を意識せず、その人物の人柄や能力を見るようにすることが大切だと思う	女性	40代	雇用（パート・アルバイト）
P T Aや仕事など女性を社会に出したがっているが、そもそも学校や保育所の（預かり）時間が短いのではないか。ベビーシッターの数は少なく、料金の問題もある	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
長野県に住んで2年弱、県の施策の特徴を感じない。首都圏と比べて、「女性は家庭がメイン、男性は仕事メイン」が当たり前で、一般的に、そう考えられている印象が強い	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
私自身、あまり理解できていない。女性が表立って前に出ることは勇気が必要。強い女性でなければ、まだ難しいのでは	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
女性が社会で活躍できるように、仕事の幅が広がることや、不当な差別がなくなることは大切なことだと思う。一方で、男女の性差があるのも事実。例えば女性の場合、生理や妊娠など身体にとって大事であると同時に辛い時期がある。そんな時、男性と並んで頑張ることが本当に良いことなのか？男女参画と言っても、性別上、十分な配慮が必要だと思う	女性	30代	家事専業
今回のアンケートで、条例が制定されていたことや、存在を初めて知った。私の周りの人も同様に知らなかった様子だ。認知度が低いから、施策と言われても正直何も浮かばない。まずは、存在や正しい意味を県民に知ってもらうことから始めるのが必要だと思う	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
60代以上の方々の理解が難しいと思う。地域の決め事も、昔ながらのやり方が続いている（たとえ今の時代に合わなくても）。ただ、田舎においては、村八分的になりたくないがために続けているのが理由。女性には活躍して欲しい	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
「男女共同参画社会」という硬い言葉よりも、そのような社会になるために、どうするのかを大切にしたい。女性が社会に出てリーダーになればわかりやすいが、それが大事なのではなく、「性別に関係なく」という点が多くの方に伝わるよう、また実感できるようにしたい	女性	30代	その他
県民に、もっとわかりやすく情報を広めて欲しい	女性	30代	家事専業

内容	性別	年代	職業
女尊男卑を推奨するくらいなら、何もしない方が良い。それに使う予算があるのならば、台風の復興支援に回して欲しい	女性	30代	家事専業
県ができることは、あまり無いように思う。日本全体が変わるように、会社制度の見直しや法律改正など、根本的な改革が必要だと思う。また、日本人の意識改革のためには、義務教育において男性も育児や介護をする、女性も働くなどの擦り込みが良いのではないか	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
無理に女性を一定数起用するなどは、逆に嫌悪感がある。女性の能力を発揮できるポジションを考えれば良いと思う	女性	30代	自営業（商工・サービス・自由業）
政策や法律上の話ではなく、現実問題として有給消化が出来るようにすべき。働き方改革により、残業時間は変わらないのに、規定内の残業代しか出なくなり、給与が下がったという話をよく聞く	女性	30代	自営業（商工・サービス・自由業）
県の施策というよりは、個人の考え方によるものである気がする。女性を下に見ている男性（余程のことが無い限り考え方は変わらない）はたくさんいるし、一方で、女性を尊ぶ男性（もっと増えていく世の中になって欲しい）もたくさんいるように	女性	30代	雇用（パート・アルバイト）
「あいとびあ」での活動を広報して欲しい。それらが、図書館など文化施設に置いてあると、手にとって見やすい	女性	30代	家事専業
問17の事業は、あまり必要性を感じない。県内の雇用について言えば、製造業の管理職には、非公開ながら男性を募集しているのが現実。男女平等とは言えないこの現状は、雇用の場で顕著で、意識の低さは明確。県が実施すべきは、このような県内企業の経営者への指導が急務と考える	女性	30代	無職
女性は、細やかな気配りや気づきを持っている方が多い。また、男性の中にも、スウェーデンのように子育てに協力的な方が増えている。様々なコミュニティから、意見を聞くと良いと思う	女性	30代	自営業（商工・サービス・自由業）
女性は、どんなに大変でも感謝の言葉が一言あると頑張れるもの。家事や育児への女性の負担は変えようが無いのだとしたら、その労をねぎらうサポートがあると良いと思う	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
今回初めて知った。お互いの欠点を補う意見のすり合わせをして、男女が、ではなく人間が生きやすい社会になると良い	女性	30代	雇用（パート・アルバイト）
年配の男性が、無意識に女性を下に見る感じがイラっとする	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
社会や職場における認識に変化が起こらなければ、相談窓口や情報があっても、行動には移りづらいと思う。育児休暇を実際に取れる会社は少なく、女性への負担は依然大きいと思う。実際、有給休暇すら取れないような現状では、まったくの理想論でしかなく、実現化されるまでには、まだまだ長い年月が必要だと思う	女性	30代	家事専業
男性が育児や介護に参加できるように、職場での待遇改善など、県から推し進めて欲しい。女性ばかりが、家事、育児や仕事の負担がある気がしてならない	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
女性が出産後、安心して仕事復帰できるよう、子どもを預ける保育園の設備や保育士さんの質を充実させて欲しい。同時に、病児保育の受け入れを拡大して欲しい。男性が子育てに関することで、仕事を休むことが当たり前認められる社会になって欲しい	女性	30代	雇用（パート・アルバイト）
出産を機にパート社員は仕事を辞めなければならない。加えて、子どもが3歳になるまで保育園には入れづらいので、生活がギリギリになり、とても辛い。正社員であっても、育休が長くなると周りの人が冷たいと感じている人もいる。働きたい気持ちは山ほどあっても、子どもの病気などで休みが取れるのを心配して踏み出せずに困っている	女性	30代	家事専業

内容	性別	年代	職業
女性の社会進出を推進することだけが重要なのではなく、これまで家庭でしていた仕事も、十分大切な仕事であることを認識させて欲しい。外で働いていないと、社会の一員としての自覚が持てないような風潮を助長するような取組みであってはならない	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
地域の方が気軽に相談できる場所やセミナーなどを充実させると良いと思う	女性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
母から話を聞くことがあるが、女性への差別は無くなっていないように感じる	女性	20代	学生
男性の育児休暇や産後（前）休暇をもっと取得しやすい社会になると、女性も社会に出やすいと思う	女性	20代	雇用（常勤・フルタイム）
現在働いている会社では残業が蔓延化し、上司など男性社員は、家庭を奥さんに任せっきりという印象がある。個人的には、このような家庭を持つことは望んでいない。また、社内では、職種によってばらつきがあり、いまだ女性はお茶くみをしていればOKという人もいるので、もっと活躍して欲しいと思う	女性	20代	雇用（常勤・フルタイム）
女性は出産や子育てで、社会とのコミュニケーションが途切れやすく、高学歴でもないと再就職が難しい。出生率の低下を問題視するのなら、まずは女性の社会進出を考えていただきたい。出産して、働いて、家事をしろというのは、いささか無理がある	女性	20代	家事専業
性別による差別の無い社会になることを願っている	女性	10代	雇用（常勤・フルタイム）
資料やパンフレットなど積極的な啓蒙活動をすべき	男性	70歳以上	自営業（農・林・漁業）
男女共同参画センターが1か所のみ？もう少し増やしたらどうか	男性	70歳以上	無職
男女間の体力差をどう解決するのか。その対策（精神的、化学機動的に）をしっかりと考えて欲しい	男性	70歳以上	無職
国や県の指導ではなく、自ら自己を磨くような日常的な学びの時間が大切。そのためには、くだらないテレビは遠ざけ、中央から優秀な女性を招いた番組で刺激ある意見交換の場を共有するようにしたらどうか	男性	70歳以上	無職
社会や会社において、現状、女性が前面に出る必要はないと思っている人が多い。そのために女性は、機会があっても目指さないことが多いと感じる。そのような中で、人数だけ女性を増やすなどの考えはどうかと思う。形だけ整えても意味が無い	男性	70歳以上	雇用（常勤・フルタイム）
男女平等の意識、生活の確立を図ること	男性	70歳以上	無職
女性自身のやる気や能力があれば、何でもやれる時代になっていると思う。広報活動を絶えず行い、推進していくことが重要だと思う。このアンケートでは繰り返し質問しているが、もっとわかりやすくすべき。短期間でやろうとせずに、長い時間をかけることが必要	男性	70歳以上	自営業（農・林・漁業）
機会あるごとに啓発活動を行うこと	男性	70歳以上	自営業（農・林・漁業）
男女共同参画社会づくりは大変重要な施策ではあるが、我々一般人にとっては、内容も方法も知らない。これを機に、勉強してみたいと思う	男性	70歳以上	無職
トップダウンは好ましくない。地域参画が可能な仕組みづくりが必要。小さなグループから中央へ、中央で検討して企画を立て、そして実施。底辺の活動が主軸となるように	男性	70歳以上	無職
私の地区では、次期区長のなり手がなく困っている。それこそ、女性が区長になってくれないかと切に願う。協議会では、臨時総会で対応していくという。何か良い方法はないものか	男性	70歳以上	自営業（農・林・漁業）

内容	性別	年代	職業
年配女性のゴルフ愛好家が増えるなど、女性の進出は各分野で進んでいる。同時に、男性の考え方も変わってきている。あえて言うならば各家庭の事情が優先されていると思う。男女も個性として捉え急がず変化していけば良いと思う。寿命にしても差があるように、全てにおいて平等にはできないこともある	男性	70歳以上	無職
今まで女性は社会活動の経験が少なく、急に男女平等の立場で活躍することに抵抗があるかもしれない。しかし、今後は経験する機会を多くすべきだ	男性	70歳以上	無職
もっとPRが必要。県や市町村の説明が不足している	男性	70歳以上	無職
男女平等とはいえ、社会はまだ男性優位であるのが現実。時代とともに、男女の格差は少しずつ改善していくべきだと思う	男性	70歳以上	無職
高齢者の世界では、どこの地域でも、講座、体操教室や音楽鑑賞に女性の方がかなり積極的に参加している。つまり、できる人がいながら力を出せていない気がする。県がもっと強く共同参画社会に取り組むべきだと思う	男性	70歳以上	無職
この事業はかなり前から進められているが、なかなか社会に浸透しない。身近な市政の中で呼びかけ、公演や情報提供がなされているにもかかわらず。失礼ながら、担当の方の取り組みが型通りでなぞるだけ、無難に乗り切る姿勢が見え見えで、熱意が薄いと以前から強く感じている	男性	70歳以上	無職
長時間労働を無くし、家庭や地域にもしっかり目を向けられる社会環境をつくる必要がある。同時に、命を大切にする教育、最大の人権侵害である戦争を無くすための平和教育が必要	男性	70歳以上	自営業 (農・林・漁業)
男女が平等であることはわかるが、男性には男性の役割があり、女性も然り。例えば力仕事！自治会役員は、側溝を直したり穴を掘るなど力仕事が多い。女性にはやはり無理がある。また、女性も積極的に役員になろうとしていない。やっても他の役員の負担になる	男性	70歳以上	自営業(商工・サービス・自由業)
男女共同参画センターが各市町村にあることが理想と思うが、難しいであろう。拠点施設の増加を希望する	男性	70歳以上	自営業 (農・林・漁業)
男女共同参画社会の最小単位、家庭(家族)における日々の生活の中で、共同参加の精神が、どう実践されているのかに目を向けて欲しい。子どものうちから共同参画の精神を体得していく必要があると感じている	男性	70歳以上	その他
問16の選択肢⑨が重要で、県民の意識改革が必要。従来の風習から脱皮するには長い時間がかかる(田舎ほど)。日常生活に密着した足元からの改革が有効であると思う。このアンケートを機に、更に前進することを願っている	男性	70歳以上	無職
その趣旨をより理解し、改めて認識を高め、微力ながら推進、向上を目指したい。男女共同参画社会づくりの施策を、今後とも見守るつもりだ	男性	70歳以上	無職
日本も、日常の生活経験を大切にするところから始めるべき	男性	70歳以上	無職
男性優位の意識が残されている社会で、女性が生き生きと活動的な社会生活を送ることは、なかなか難しい面がある。男性の意識改革を図り、男女が平等な立場で意見を出し合う社会に向けて、幼少時からの教育の実施と社会の仕組みづくりが必要	男性	70歳以上	無職
大切な施策なので、期待すると同時に私自身も努力したい	男性	60代	雇用(パート・アルバイト)
県の施策が県民に伝わっているのか疑問。社会への啓発と同時に、制度(数字)で枠にはめることも必要。国が及び腰であるならば、県が先駆けたら良い	男性	60代	無職

内容	性別	年代	職業
観念に囚われない自由な考え方が必要	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
公立高校の教員をしていた。学校現場では、男女の区別や差別などは存在していない。むしろ積極的に、男女共同参画事業を推進している立場であった	男性	60代	無職
中小企業の経営者が、男性社員の育休に対応できるような経営状態にあるか否かが一番重要と思われる。官庁関係であれば、経営的問題はないので実施できると思うが、民間の経営者との話し合いが重要である	男性	60代	無職
目標は意識改革。真の男女平等のためには、現在の思い込みを変えさせること。女性の積極的活用も。但し、数値目標はナンセンス	男性	60代	無職
最近、垣谷美雨の「避難所」を読んで、つくづく男の身勝手を知った。このような女性視点に立った作家の著作などの紹介や、公演なども男性にとっては「目からうろこ」になるかもしれない。小難しい（したり顔）有名人の退屈なアレコレより、ずっと有効な手段かもしれない	男性	60代	雇用（パート・アルバイト）
県の男女共同参画課のみではなく、多くの部署で取組みを進めて欲しい	男性	60代	自営業（農・林・漁業）
最近、無理矢理女性を登用させる流れを感じる。「性別にかかわらず」という意識が必要だと思う	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
差別はよくないが、区別は必要。まったく平等はあり得ない	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
県が行っていることを知らなかった。県の職員は、もっと現場に出てみてはどうか	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
女性特有の性質が仕事の場で活かされると会社も変わると思う。もっと多くの女性に機会を！	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画社会の形成により、自立した女性が増え、独身者が更に増える。あるいは、共働きによる子どもの（学力は別としても）人間形成などに、不安ばかりがよぎる	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
広い長野県で、それぞれの地域ごとに捨て難い習慣やしきたりがある。それらは地域の個性を示す重要なもの。男女共同参画は総論賛成、各論反対になりやすい課題。また、実績づくりで自己満足になりやすい面もある。地道な努力の積み重ねしかない分野に携わる苦労が偲ばれる。実を結ぶ日が早からんことを切に願う	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
岡谷市に拠点があることを知らなかった。県の広報やHPに情報提供していると思うが、見る人は少ないだろう。私自身、広報はできるだけ見ているつもりだったが、知らなかった。テレビやラジオで情報提供が必要と考える	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
ふだん我々は共同参画を常に意識しているのではなく、社会生活上自身の必然性の中で、行動、言動している。結果として、男女共同の姿が望ましいが、各場面や分野での必然性を高めていき、戦略、予算やアクションが重要と感ずる	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
女性自身の参画意識を高める施策を作らないと前に進まないと思う	男性	60代	無職
広く県民全体に考えてもらえるように、もっと広報、PRをして欲しい	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
行政が何かをする必要は無い問題だと思う	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
子どもの頃からの刷り込みが支配する部分があり、その時代からの学習が必要だと思う	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
一般市民の末端まで浸透するような広報や施策が必要だと思う。言葉は知っているが、具体的な取組みが見当たらないため現状維持の状態になっている	男性	60代	無職
知ることは理解するための必要な一歩。ただ、介護も子育ても男性にはハンディが有りすぎる。男性に強制するのではなく、必要な知識を提供されるよう希望する。職場での立場が守られれば、大きく変わると思う	男性	60代	無職
県が重点を置くことは、男女個々の「おもしろい」を考えさせること。そうすれば、共同参画は進むと思う	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
区長や自治会長に女性になることを嫌がる風潮があるのが現実。ただ、女性をもっと地域活動に積極的になって欲しいとも感じる	男性	60代	自営業（農・林・漁業）
研修会など教育的な会合ではなく、具体的で体験的、実用的な行動を起こせる支援が必要。座学ではないリーダー教育を望む	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
県の施策を知らなかった。もっと目立つように、かつシンプルに広報して欲しい	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
問17の選択肢にあるように、男女共同参画社会づくりを推進する団体などの活動支援・交流の場づくりを更に推進し、意識の底上げと改革、及び活性化を県民全体で取り組むことが大切だと思う	男性	60代	無職
子育てと仕事のバランスをどうとるのが問題	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
男女共に様々なタイプの人がいるので、一律に考えるのではなく、ケースバイケースで男女共同参画社会を提案していくべきではないかと思う	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
共同参画の意義が分からないので、要望もできない	男性	60代	その他
男女共に意識を高め、協力して生きていくことが重要だと思う。施設の配置や様々な講座を開催したところで、意識が低く協力的ではない男性に何の効果があるか。まずは、考え方を変えることが必要。ただ、そのきっかけ作りのための施設や講座開催だとは思いますが、なかなか変えられない人が多いのが現実だ	男性	60代	自営業（商工・サービス・自由業）
もっとPRが必要	男性	60代	雇用（常勤・フルタイム）
県政の男女共同参画社会づくりに期待する	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
なぜ必要なのか。その根本を周知する必要がある。男女共同参画が実現しないと、今後の社会において、構造的に大変な事態が訪れるなど、危機感を感じないと人は動かないと思う	男性	50代	自営業（農・林・漁業）
目に見える形（県、市や公共団体で女性リーダーが増えるなど）にならないと認知されない。また、女性が働きやすい環境がないと変わらない。子供を預ける場所が増えないとダメ！昔のように2世帯以上の住宅環境が増えれば良いと思うが	男性	50代	無職
男女共同参画について性急に成果を求めず、地道に取り組むの良いのではないか。人の意識は一朝一夕には変えられないので、徐々に浸透させるのが近道ではないかと思う。性別に関わらず、一個人として社会参画できることが大切。女性の社会参画に対して、女性自身の意識改革も必要ではないか。質問及び選択肢の内容を、もう少し検討していただきたい	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男性、女性の区別をすることが必要であるのかを考え直すべきだ。分ける必要など無いのではないか	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
姨捨山の時代ではない！とっくに、そんな時代は終わっている	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
性における区別・差別がなるべく無くなるような施策を、継続して実行することを希望する	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
県の施策に触れる（知る）機会が少ない	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
ストレスの無い社会を望む	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
一朝一夕には難しい問題。社会の成熟と共に変わっていくのではないか。逆に、女性を参画させようとするあまり、無理をして制度の趣旨をゆがめてしまわないか心配。昔よりだいぶ女性が元気になっているように思えるのは、一つの成果の現れではないか	男性	50代	自営業（商工・サービス・自由業）
PR活動をもっとすべき	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
平等であることを一人一人意識することが出来れば、県が何かをすることは無いと思う	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画社会づくりは、県の施策だけでは実現が難しいと思う。国の施策として、社会の仕組みだけではなく、教育の場で考え方を浸透させ、時間をかけて取組んでいかなければならない	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
数字で目標設定するのではなく、正当な評価の結果として女性登用率を上げて欲しい	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
芸術（音楽や映画など）の分野において、男女の能力は、最も平等に評価されていると思う。政治の場や企業では、依然男社会であるという要因も大きいですが、そもそも女性に能力向上や仕事に対する積極性が欠けているとも思う。いずれは主婦になり、平凡な家庭を築きたいという女性がまだまだ多いのが現実。女性の意識改革が必要だと思う	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画社会づくりのために、県が今、何を取り組んでいて、どこまで進んでいるのかがよく分からない	男性	50代	雇用（常勤・フルタイム）
男女が平等ではない現実を知っている県民は少ないのではないか。小・中学校の授業、県の職員による企業への説明など知ってもらう活動を強化すべき。「政治の場に女性を」とあるが、その前に、県民が投票すること（投票率の上昇）を進めていかなければならないのでは	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
PRが不足しているのではないか。多くの機会を通じてPRすることが大事。知らない人が多いのでは？PR方法の検討が必要	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
福祉や保育など、女性が多い職場の給料をアップすることで、やる気や働きやすさが生まれるのでは	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
県職の方が制度のモデルになるのはいかがか。女性職員もたくさんいるが、圧倒的に男性社会なのではないか？そういう場からスタートすると良いアピールになると思う	男性	40代	雇用（パート・アルバイト）
まずは、台風19号の被害者支援を最優先でやって欲しい。この調査の案件は、その後に入れば良い	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
男女共同参画社会という言葉自体が、男女差別を連想させてしまう感がある。もっと良い名称を県民に公募してみるのはいかがでしょうか	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
大事な問題ではあるが、まずは、男性が子育てや介護に携われるような（認める）企業の推進、雇用や給与の増加がなければ何も進まない	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
男女の生物としての違いや特性、それぞれが持っている社会的役割を考慮した社会づくりが必要	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
企業の中には、女性管理職を増加させること自体を目的にしているのではないと思われるケースがある。役割やリーダーシップ、それらの能力に男女差は無いが、手段と目的をはき違えているのではないと思われるケースも少なくない。私は男女共同参画社会づくりには賛成だが、本人の資質、能力、意欲、所属先の理解や環境整備、そして世の中の理解が一体となって進めていかないと、いつまでも手段と目的が正しい形にならないのではないかと思う	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
むしろ逆に女性が優遇され、男性が虐げられるケースも多く存在するように思う。例えば、この仕事は女性じゃないと、男性には繊細なことは無理など。古い役所のような場所に限って、こういうことを言う割に男性中心であるのもまた事実である	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
政府が企業に対して、子育てや介護に対する男女共同参画社会を指導しないとダメだと思う	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
自分にできることがあれば協力したい	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
問17の設問は、施策が市民に求められているということを狙った作爲的なものであると感じた。必要か否かで判断すれば必要ではあっても、他の施策等と比較して優先度が高いものではなく、また、投入されている公的資金に対して、その効用が低いものが多いという印象がある。男女共同参画社会推進に関連する政策や施策は、その目指すべきものに対して、どのようなアプローチが適切であるのかある程度B/Cも意識しながら（性質上、他の課題と比較して絶対的な指標とはならないが、規模感が大きいいため無視すべきではない）見直すことが必要だと思う	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
時代の流れはあるが、昔からの風習や習慣を変えていくのは、周囲の理解と本人（女性）の意識改革が必要。それをわかっているが、風習や習慣に縛られているのが現状。仕事においても、まだまだ男性優先の現場をよく見る。共同参画は、小学生から理解させていくための教育があると、流れが大きく変わっていくのはでないか	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
産める性と活動、働き続けられる性、互いの良いところを認め合うこと。一生の中で、社会活動に積極的に参加できる時期に、適切な活躍と学習の機会を設け、それを知らせていくことが良いのでは	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
子育てに対する金銭的な負担への支援が必要。保育士、幼稚園教諭の処遇改善。リモートワーク、テレワーク実施企業へのインセンティブ施策の実施	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
成功例を県民が共有できるような仕組みが必要ではないかと思う	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
男性の地域活動への参加の負担が多すぎるので、むしろ女性にも協力して欲しい。女性が積極的に様々な場所に参加すれば、人手不足が解消されるのではないか。	男性	40代	自営業（商工・サービス・自由業）
子育て世代の女性の社会復帰などによる労働人口の確保が、今後の重要課題になると思う	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
性別による地位の配置より、脳力による配置を考えて欲しい	男性	40代	雇用（常勤・フルタイム）
相談窓口の設置	男性	30代	雇用（常勤・フルタイム）
正直、県が男女共同参画社会づくりに関する施策で、どのようなことを行っているのかわからない。一部の関係者だけではなく、一般人にも周知、理解できる手立てが必要（ツイッター、インスタ、フェイスブックなどSNSを利用するなど）	男性	30代	雇用（常勤・フルタイム）

内容	性別	年代	職業
男女など、ことさら性別を話題にしたり、お題目にした事業をあまり行わない方が良いと思う。やっているアピール（仕事を）は出来るであろうが、そこでダメな例として挙げられた方はどう思うか。個人を尊重し評価していくこと、ネガティブにならないことが大事だと思う。適材適所！	男性	30代	その他
昔より、政治の場では女性議員が増えた気がするので、彼女たちの頑張りによって更に増えると思われる。憧れる存在が必要。10～20代の若者に興味を持ってもらわないといけない。学校で記憶に残るような男女共同参画授業を継続してやるのはどうか	男性	30代	自営業 (農・林・漁業)
職場では、男性に責任がある仕事が多い。現状は、女性が優遇されていると思うが	男性	30代	雇用(常勤・フルタイム)
真の意味で「文化県長野」となるように、行政の場に生きる皆さんの変化に心から期待する。上を変えることに挑戦し続けて欲しい	男性	30代	自営業(商工・サービス・自由業)
県の施策を知らなかったのもっと情報発信して欲しい。女性が社会進出出来ない要因をもっと精査して欲しい。男性側や社会の考え方もあるが、もっと大きな要因があると思う。社会で活躍する機会がある人たちは、時間的にも金銭的にも余裕のある人が多いと思う。若い人たちに対して、そのようなところに役所のフォローが必要だと思う	男性	30代	雇用(常勤・フルタイム)
長野県がどのような施策をしているのか幅広く認知されるよう、様々な場所でPRした方が良いと思う	男性	30代	雇用(常勤・フルタイム)
能力がある者は男女問わず活躍できる職場(社会)が必要	男性	30代	無職
産休制度の充実	男性	20代	雇用(常勤・フルタイム)
長野から全国へ発信できるような取組みを積極的に行って欲しい	男性	20代	雇用(常勤・フルタイム)
女性だからという視点で何かをするのではなく、人間として互いに尊重しあえる社会になって欲しい	男性	20代	雇用(常勤・フルタイム)
私の年代では、女子が生徒会長や委員長をすることが当たり前なので、親の世代のことはわからない	男性	20代	学生
生まれた時から男女平等の社会だったので、現状、性別に対する不平等さはほぼ感じていない。道徳を守れる人を増やすことができれば、差別は減ると思う	男性	10代	雇用(常勤・フルタイム)

「男女共同参画に関する県民意識調査」 ご協力をお願い

令和元年 11 月
長野県

この度の台風 19 号により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

皆様には日頃から、県政に対しましてご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本県では平成 14 年に、県民一人ひとりが性別によって制約されることなく、よりのびやかに暮らせる社会を目指して「男女共同参画社会づくり条例」を制定いたしました。

本調査は、この条例に基づき県内にお住いの 2,000 人の方々を対象として実施するもので、男女共同参画社会づくりのための施策に役立てることを目的としております。

今回、あなた様に調査をお願いすることになりましたのは、お住まいの市町村の選挙人名簿閲覧から無作為に選ばせていただいた結果です。

この調査は、無記名の調査であり、お答えいただいたことはすべて統計的に処理し、ほかの目的に使用されることはありません。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入いただきましたアンケートは、同封の封筒にて 11 月 20 日（水）までに、ご投函していただきますよう、お願いいたします。

＜ご記入にあたってのお願い＞

- ◇ 封筒の宛名に書かれたご本人様のご回答をお願い致します。
- ◇ ご回答は、右端の枠の中に該当する番号をご記入いただくものと、選択肢番号に○を付けていただくもの、直接ご記入いただくものがあります。
- ◇ ご回答の内容によって、質問をとばしていただく場合があります。その場合は、指示に従ってお進みください。
- ◇ 「その他」に該当する場合は、() の中に具体的内容をご記入ください。

なお、この調査は、一般社団法人長野県世論調査協会に委託して実施します。ご不明な点につきましては、下記までご連絡ください。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

＜お問い合わせ先＞

長野県県民文化部人権・男女共同参画課
男女共同参画係

電話（直通） 026-235-7102

ファクシミリ 026-235-7389

E-mail n-danjo@pref.nagano.lg.jp

「男女共同参画に関する県民意識調査」調査票

はじめに、ご回答いただきましたことを統計的に分析するために、
あなたご自身について、お尋ねします

F 1 あなたの性別

- ① 女性 ② 男性 ③ 答えたくない、その他

F 2 あなたの年齢

- ① 18・19歳 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70歳以上
④ 40代

F 3 あなたのご職業

- ① 自営業（商工・サービス業、自由業）
② 自営業（農・林・漁業）
③ 雇用者（常勤・フルタイム）
④ 雇用者（パート・アルバイト）
⑤ 家事専業
⑥ 学生
⑦ 無職
⑧ その他（具体的に ）

（F 4は配偶者がいる方にお尋ねします。いない方は、次のページにお進みください）

F 4 配偶者のご職業

- ① 自営業（商工・サービス業、自由業）
② 自営業（農・林・漁業）
③ 雇用者（常勤・フルタイム）
④ 雇用者（パート・アルバイト）
⑤ 家事専業
⑥ 学生
⑦ 無職
⑧ その他（具体的に ）

問 1 あなたは、次の言葉やことがらについて、ご存知ですか。あるいは、聞いたことがありますか。A～Fそれぞれにつき、該当する番号に○を付けてください。

		知っている	聞いたことがある	知らない
A	男女共同参画社会	①	②	③
B	ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	①	②	③
C	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	①	②	③
D	男女雇用機会均等法	①	②	③
E	D V（配偶者からの暴力）	①	②	③
F	ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	①	②	③

問 2 あなたが考える「男女共同参画社会」は、どのような社会ですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを、3つまで選んでください。

- ① 法律や制度の上で男女の差がない社会
- ② 行政機関の重要な役職や企業の管理職などに一定の割合で女性が就任している社会
- ③ 男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会
- ④ 新たなアイデアや色々な考え方が活かされる社会
- ⑤ 男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を發揮することができる社会
- ⑥ 男女を取り巻く偏見や昔からの決まり、慣習、しきたりなどが解消された社会
- ⑦ 自分の生き方を自身で設計・実現でき、一人ひとりが自立した豊かで活力のある社会
- ⑧ その他（具体的に

問 3 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Hそれぞれにつき、あなたのお考えに近いと思う番号に○を付けてください。

		男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
A	家庭生活	①	②	③	④	⑤	⑥
B	学校教育の場	①	②	③	④	⑤	⑥
C	職場	①	②	③	④	⑤	⑥
D	地域活動の場(自治会やNPOなど)	①	②	③	④	⑤	⑥
E	政治の場	①	②	③	④	⑤	⑥
F	法律や制度上	①	②	③	④	⑤	⑥
G	社会通念・慣習・しきたり	①	②	③	④	⑤	⑥
H	社会全体として	①	②	③	④	⑤	⑥

問 4 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。

- ① 賛成
- ② どちらかといえば賛成
- ③ どちらかといえば反対
- ④ 反対
- ⑤ わからない

問 5 あなたは、次のような考え方について、どう思いますか。A～Gそれぞれにつきあなたのお考えに近いと思う番号に○を付けてください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
A	男性は外の仕事、女性は家事・子育て・介護に向いている	①	②	③	④
B	男女とも仕事を持った方がよい	①	②	③	④
C	家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ	①	②	③	④
D	子どものしつけや教育は、母親の責任である	①	②	③	④
E	子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい	①	②	③	④
F	子どもは、女の子は優しく、男の子はたくましく育てた方がよい	①	②	③	④
G	しきたりや慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ	①	②	③	④

問 6 あなたが、現在参加している活動についてお尋ねします。次の中から、あなたが参加している活動を全てあげてください。

(該当する番号の左側に○を付けてください)

<input type="checkbox"/>	① 町内会・自治会・公民館など地域組織の活動	①～⑦のいずれか、 あるいは複数に ○を付けた方は →問 7、9へ →問 8、9へ
<input type="checkbox"/>	② P T A などの子育てや教育に関する活動	
<input type="checkbox"/>	③ 農業関係団体などの農業・農村振興に関する活動	
<input type="checkbox"/>	④ 食生活改善などの保健・福祉に関する活動	
<input type="checkbox"/>	⑤ 環境保全や自然保護などの環境に関する活動	
<input type="checkbox"/>	⑥ N P O の活動	
<input type="checkbox"/>	⑦ その他の活動 (具体的に)	
<input type="checkbox"/>	⑧ 参加している活動はない	

問 7 (問 6 で①～⑦のいずれか、あるいは複数に○を付けた方にお尋ねします)
あなたが参加している団体の活動方針や政策に、ご自分の意見は反映されている
と思いますか。

- ① 反映されている
- ② どちらかといえば反映されている
- ③ どちらかといえば反映されていない
- ④ 反映されていない
- ⑤ わからない

--

問 8 (問 6 で「⑧ 参加している活動はない」とお答えの方にお尋ねします)
参加していない理由は何ですか。次の中から、2つまで選んでください。

- ① 地域や団体の活動に参加する時間がないから
- ② 参加したいと思う活動や団体が身近にないから
- ③ 参加するきっかけがないから
- ④ 興味がないから
- ⑤ その他 (具体的に)

(全員の方にお尋ねします)

問 9 女性の社会参画が進みつつありますが、町内会や自治会の長、PTA会長などには、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の過程に、女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- ① 役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから
- ② 自治会などの団体の代表者は、男性が担うことがしきたりや慣習になっているから
- ③ 家族の支援・協力が得られないから
- ④ 家庭・職場・地域における性別役割分担意識や性差別の意識があるから
- ⑤ 女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから
- ⑥ 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから
- ⑦ その他 (具体的に)

問10 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思えますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- ① 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
- ② 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
- ③ 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
- ④ 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
- ⑤ 女性が地域活動のリーダーに一定の割合いであるような取組みを進めること
- ⑥ その他 (具体的に)
- ⑦ 特に必要なことはない
- ⑧ わからない

問11 あなたは、次にあげる職業や役職において、今後、女性がもっと増えた方がよいと思うものはどれですか。全てあげてください。
(該当する番号の左側に○を付けてください)

<input type="checkbox"/>	① 閣僚（国務大臣）、県、市町村の首長
<input type="checkbox"/>	② 国会議員、県議会議員、市町村議会議員
<input type="checkbox"/>	③ 国家公務員、地方公務員の管理職
<input type="checkbox"/>	④ 裁判官、検察官、弁護士
<input type="checkbox"/>	⑤ 大学教授・学長
<input type="checkbox"/>	⑥ 小中学校・高校の教頭・副校長・校長
<input type="checkbox"/>	⑦ 企業の管理職
<input type="checkbox"/>	⑧ 起業家、経営者
<input type="checkbox"/>	⑨ 自治会長、町内会長
<input type="checkbox"/>	⑩ P T A会長
<input type="checkbox"/>	⑪ 農業委員、農協役員
<input type="checkbox"/>	⑫ 防災会議委員、消防団員
<input type="checkbox"/>	⑬ 特にない
<input type="checkbox"/>	⑭ その他（具体的に)
<input type="checkbox"/>	⑮ わからない

問12 あなたは、政策方針決定の場に女性が増えることで、何を期待しますか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

- ① 政治が身近になる
- ② 男性中心の考え方に変化が生じる
- ③ 男女平等や男女共同参画社会に向けての施策が推進される
- ④ 女性が持つ意見や発想が生かされる
- ⑤ 経済活動を含め社会全体の活力が増す
- ⑥ 国際社会での日本の地位向上につながる
- ⑦ 何も期待しない
- ⑧ わからない

問13 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）、この3つの優先度について、お尋ねします。

A 次の中から、あなたが理想とする（希望する）生活に最も近いものを、

B 同じく次の中から、あなたの現実（現状）の生活に最も近いものを、

A・Bそれぞれに付き、該当する番号の左側に1つずつ○を付けてください。

A理想	B現実	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	① 「仕事」優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	② 「家庭生活」優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③ 「地域・個人の生活」優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④ 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤ 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥ 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑧ わからない

問14 あなたは、現在、女性が分担する機会が多い家事、子育て、介護等に男性が積極的に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- ① 男性が家事・育児などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- ② 男性が家事・育児などに参画することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- ③ 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- ④ 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
- ⑤ 社会の中で男性が家事・育児などに参画することへの評価を高めること
- ⑥ 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
- ⑦ 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT(情報通信技術)を利用した多様な働き方を普及することで、男性が仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- ⑧ 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
- ⑨ 男性が家事・育児などを行うための仲間(ネットワーク)作りを進めること
- ⑩ その他(具体的に)
- ⑪ 特に必要なことはない

問15 あなたは、配偶者からの暴力について、相談できる窓口(※)があることを、ご存知ですか。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

--

(※)窓口とは、配偶者暴力相談支援センター(女性相談センターや男女共同参画センター)、警察、法務局・地方法務局、民間の専門機関など

問16 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。「男女共同参画社会」を実現するために、県はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、あなたが、特に重要だと思うことを3つまで選んでください。

- ① 国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- ② 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する
- ③ 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- ④ 従来、女性が少なかった分野(研究者など)への女性の進出を支援する
- ⑤ 性別に関わらず、すべての人が互いに人権を尊重するよう教育の機会を充実する
- ⑥ 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- ⑦ 子育てや介護等の制約があっても誰もが仕事を続けられるよう支援する
- ⑧ 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- ⑨ すべての人が互いの人権を尊重することの重要性について広報・PRする
- ⑩ その他(具体的に)
- ⑪ わからない

問17 あなたは、「男女共同参画社会づくり」のために、次にあげる実施すべき県の事業についてどう思いますか。A～Fそれぞれにつき、該当する番号に○を付けてください。

		特 に 必要 である	必要 である	必要 でない	ど ち ら も 言 え な い
A	各種講座の開催など多様な学習機会の提供	①	②	③	④
B	男女共同参画社会づくり推進のためのリーダー育成	①	②	③	④
C	男女共同参画社会づくりを推進する団体等の活動支援 ・交流の場づくり	①	②	③	④
D	情報や図書の収集・提供	①	②	③	④
E	相談事業	①	②	③	④
F	男女共同参画に関する調査研究	①	②	③	④

問18 あなたは、岡谷市に男女共同参画社会づくりの拠点施設として、各種講座の開催や情報提供、女性相談などを行う長野県男女共同参画センター「あいとぴあ」があることをご存知ですか。

- ① 知っている ➡ 問 19、20 へ
- ② 知らなかった ➡ 問 20 へ

問19 (問18で「① 知っている」とお答えの方にお尋ねします)
過去に、この「あいとぴあ」を利用したことがありますか。

- ① ある
- ② ない

(全員の方にお尋ねします)

問20 男女共同参画社会づくりに関する県の施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

<調査にご協力いただきまして、ありがとうございました>